レーザビームプリンタ

Satera LBP5500

ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

設置ガイド

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

かんたん操作ガイド

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

ユーザーズガイド（本書）

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS 機能ガイド

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書

オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

第１章　お使いになる前に

必ずお読みください

第２章　プリンタの使いかた

必ずお読みください

第３章　給紙・排紙のしかた

必ずお読みください

第４章　日常のメンテナンス

第５章　困ったときには

第６章　付録

おもな仕様、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを掲載しています。

目次

第３章　給紙・排紙のしかた

第 4 章　日常のメンテナンス

第 5 章　困ったときには

第 6 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP5500 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例： [OK]
  　　 [設定]

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

  例： [オンライン]
  　　 [ユーティリティ]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
キヤノン内蔵型プリントサーバ NB-5F：	プリントサーバ NB-5F

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

MaxiMem は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、EtherTalk、Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

IBM、AT、PowerPCは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Novell, NetWare® は、米国 Novell, Inc. の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

NetHawk は、キヤノンイメージングシステムテクノロジーズ株式会社の商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

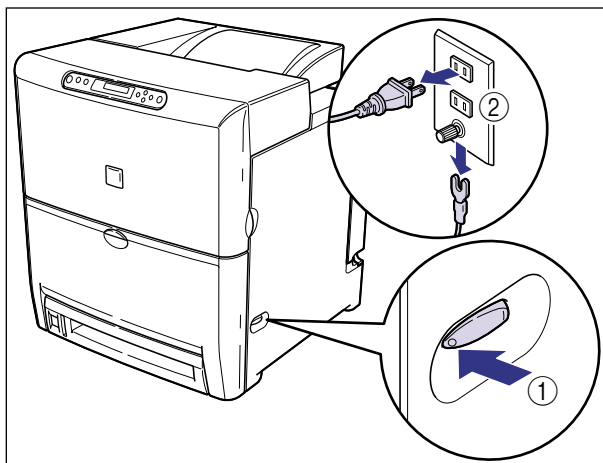
関係法律		
	● 刑法	● 郵便法
	● 著作権法	● 郵便切手類模造等取締法
	● 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし ①、電源プラグを抜いて ②、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  ・アクセサリーなどの金属物
  ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  ・湿気やほこりの多い場所
  ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所

・雨や雪が降りかかるような場所
・水道の蛇口付近などの水気のある場所
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・火気に近い場所

- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→プリンタを移動する：P.4-46）

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

［アース線を接続してもよいもの］
・電源コンセントのアース線端子
・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

［アース線を接続してはいけないもの］
・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

- 延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
- 使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
- 延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

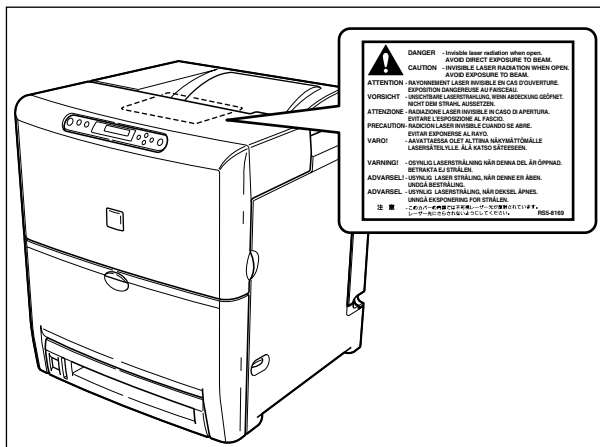
取り扱いについて

警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブル接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

注意

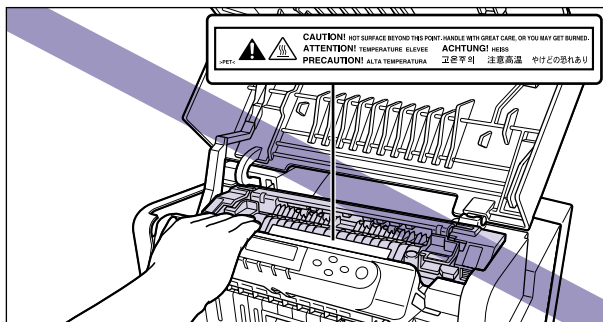
- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。

- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
  - ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのカートリッジや ETB ユニットを火中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- カートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- カートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

カートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

警告

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

・本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

1

CHAPTER

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ **高品位 A4 フルカラープリント**

データ処理解像度を 600dpi ／多値処理とすることで、高画質フルカラープリンティングを A4 サイズで実現しました。また、メモリを画像処理用とスプール用とで独立させることで、データ量が白黒に比べて格段に大きいフルカラープリントを標準メモリで実現します。

■ **高速プリント**

高性能 RISC プロセッサや「スーパー・レーザショット・チップ」などの強力なハードによりコントローラ処理時間の高速化を実現。さらに現像ドラムを 4 つ持つことで、従来モノクロプリントの 4 倍の時間を要したカラープリントが、モノクロプリント同様のスピード（毎分 17 枚）で行うことが可能になりました。

■ **省エネ・長寿命の高性能トナー定着**

新開発の薄肉 IH（Induction Heating：誘導発熱）ゴムスリーブの採用により、従来のヒートローラ定着方式に比べ、ウォームアップタイムの大幅削減、すなわちファーストプリントタイムの短縮化を実現しました。さらに、エネルギーの消費効率がアップし、耐久性も約 1.5 倍になり、省エネ・長寿命の定着を実現しました。もちろん、S トナーを使用したオイルレス定着器であるためオイル補給を必要とせず、安定した“ギラつき”のない画像が得られます。

■ **イージーメンテナンス**

トナーとドラムが一体化したシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色のカートリッジにより、手を汚しやすいトナーの補給や面倒なドラムの交換がなくなり、このカートリッジを交換するだけで簡単に日常のメンテナンスが行えます。さらに、大型カバーが前面に配置されているため、カートリッジなどの交換が簡単に行え、用紙が機器内部につまったときも簡単に取り除けます。これは、給紙・現像・転写・定着というプロセスをすべてプリンタの前面で行わせ、用紙の搬送経路を簡略化することで可能になりました。

■ ユーザフレンドリー

プリンタをより使いやすくするソフトウェアを用意しました。

印刷したい設定をメニューで簡単に選択できる「お気に入り」メニューや、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」など、機能満載のLIPS IVドライバを同梱しています。

また、パソコン上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」、「NetSpot Console」と、プリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをパソコン画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」を同梱しています。

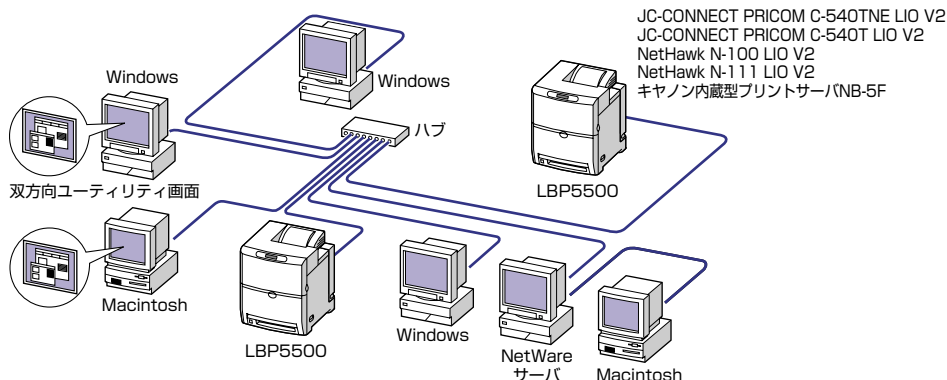
■ 簡単操作のカラーコントロール

カラーマトリックスを使ったユーザインタフェースにより直観的でわかりやすい色調整を実現。しかも調整前と調整後の画像サンプルを1枚の用紙に出力するサンプルプリント機能により好みの色を簡単・確実に確認できます。

また、カラーページを自動的に判別するオートカラー機能により、白黒モードとカラーモードをいちいち切り替える必要がなくなりました。もちろん期待通りの色再現を実現する、キヤノン独自のカラーマネジメントシステム「ColorGear」も搭載。ドキュメントを構成する文字、写真、絵の各要素毎に最適な色補正を行うカラーマッチングを簡単操作で実現しています。

■ ネットワーク対応プリンタ

オプションの内蔵型プリントサーバを取り付ければ、Ethernetのネットワークプリンタとして使用できます。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、EtherTalkのマルチプロトコル対応により、Windows、Macintosh、UNIX、NetWareなど幅広い使用環境に対応します。

また、ネットワークの初期設定を簡単に行えるユーティリティソフト「NetSpot Device Installer」がプリンタに標準添付されています。

メモ　本プリンタに付属されているソフトウェアの対応OS、インストールのしかたや詳細については、付属の「LIPSソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ ネットワークスキャナで実現する多様な拡張性

オプションのネットワークスキャナを本プリンタに取り付けると、ダイレクトに文書を読み込みプリントするコピー機能が使用可能となり、ローコストでハイパフォーマンスを実現します。また、ネットワークスキャナはスキャンした文書を様々なファイル（PDF、JPEG、TIFF）に変換し、電子メールで送信する機能も備えており、多様なニーズにお応えします。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

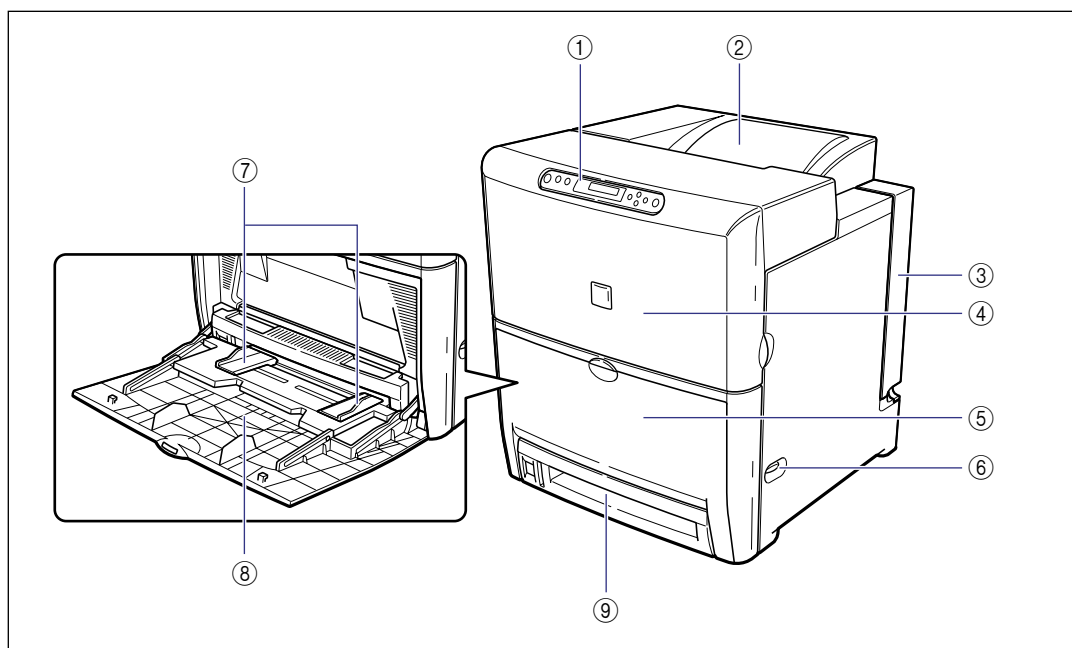
本体

プリンタ本体の各部の名称と機能を説明しています。

注意　本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。

メモ　操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

① **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（→ P.1-9）

② **排紙トレイ**
プリントされた用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。（→ P.3-13）

③ **右カバー**
電源コードやプリンタケーブルなどの接続や取り外しを行うときにこの右カバーを取り外します。

④ **前上カバー**
定着器や排紙部の紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。また、前下カバーを開けるときは、先に前上カバーを開けます。ディスプレイには前上カバーと前下カバーを総称して「マエカバー」と表示されます。

⑤ **前下カバー**
カートリッジの交換やプリンタ内部の紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。ディスプレイには前上カバーと前下カバーを総称して「マエカバー」と表示されます。

⑥ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン / オフします。(→ P.2-6)

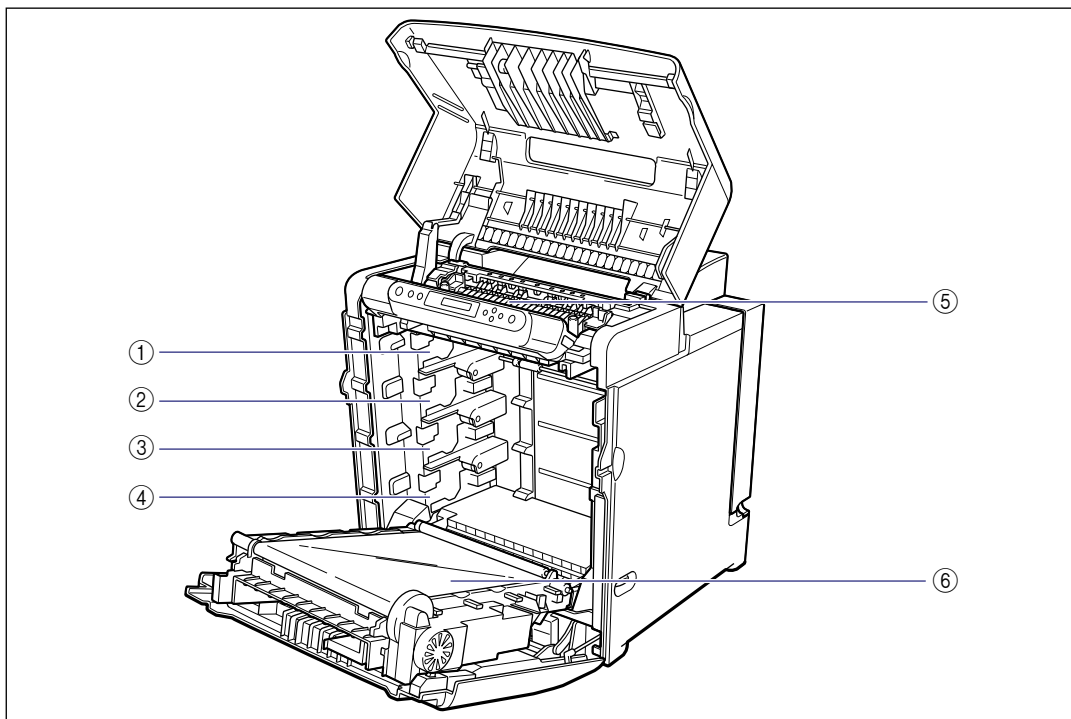
⑦ **用紙ガイド**
給紙トレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限マークが付いており、このマークまで用紙をセットできます。

⑧ **給紙トレイ**
用紙を給紙トレイから給紙するときに、用紙をセットします。(→ P.3-36)

⑨ **給紙カセット**
A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙がセットできます。(→ P.3-14)

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称と機能を説明しています。

⚠注意 プリンタ内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺には触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

① **K(ブラック)カートリッジスロット**
K(ブラック)カートリッジをセットするスロットです。

② **M(マゼンタ)カートリッジスロット**
M(マゼンタ)カートリッジをセットするスロットです。

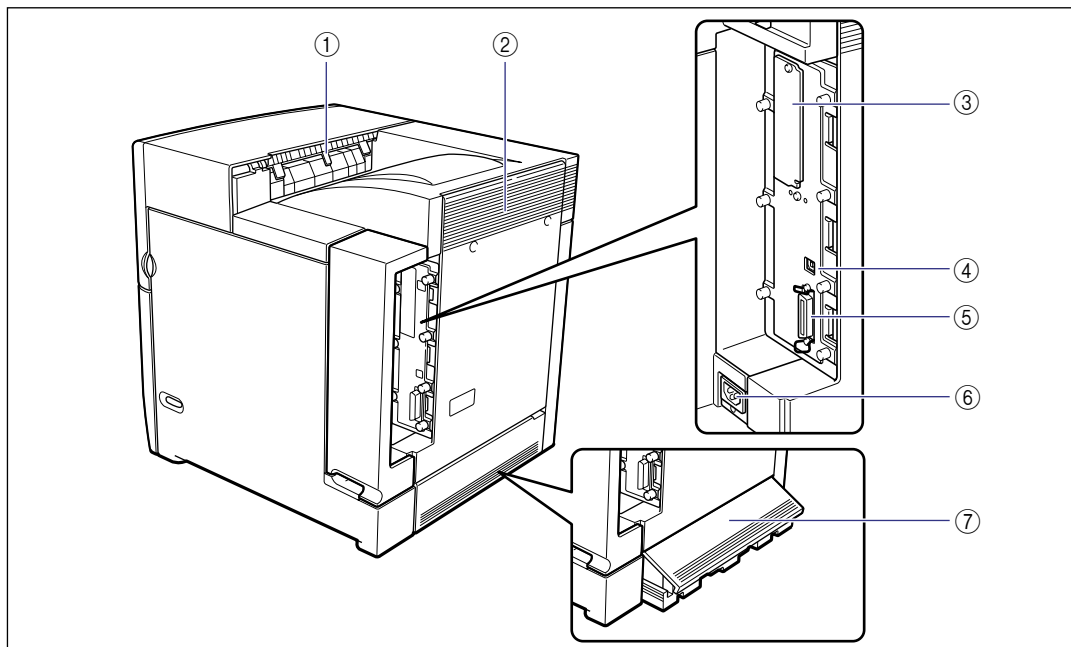
③ **Y（イエロー）カートリッジスロット**
Y（イエロー）カートリッジをセットするスロットです。

④ **C（シアン）カートリッジスロット**
C（シアン）カートリッジをセットするスロットです。

⑤ **定着器**
トナーを用紙に定着させる装置です。

⑥ **ETB（Electro static Transfer Belt：静電搬送ベルト）ユニット**
用紙を搬送しながら 4 色のトナーを用紙に転写する装置です。

右背面

右背面の各部の名称と機能を説明しています。

① **用紙積載センサー**
排紙トレイの満載を検知します。（→ P.3-13）

② **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

③ **拡張ボードスロット**
オプションの内蔵型プリントサーバなどを取り付けます。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

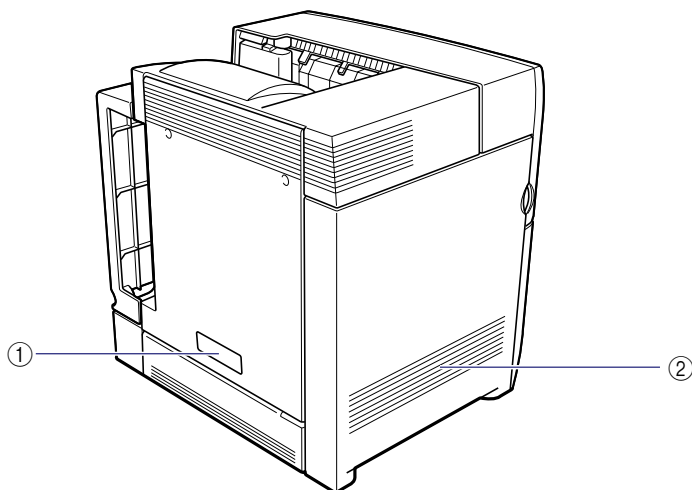
④ **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。パソコンが USB インタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

⑤ **パラレルコネクタ**
IEEE1284 準拠の 8 ビットパラレルインタフェースケーブルの接続部です。パソコンのプリンタポートがパラレルインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。（→ P.6-10）

⑥ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードとアース線をここに接続します。

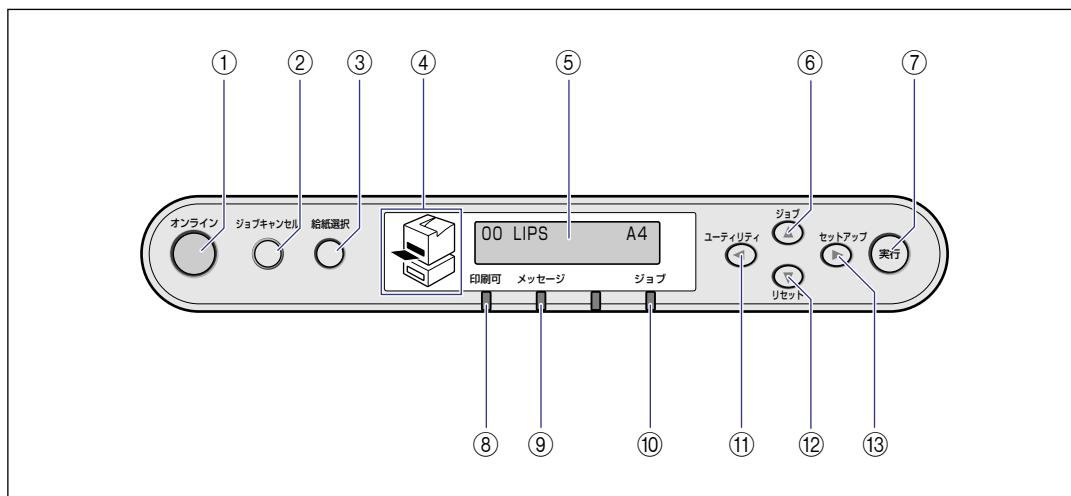
⑦ **カセット保護カバー**
給紙カセットにゴミやホコリが入らないようにするためのカバーです。リーガルサイズの用紙を給紙カセットにセットすると、自動的にカセット保護カバーが上がります。

左背面

左背面の各部の名称と機能を説明しています。

① **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー(Serial No.) が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値(15A)は、平均消費電流です。(→ P.6-19)

② **吸気口**
プリンタ内部冷却用の吸気口です。

操作パネル

本プリンタの前面には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。

① **[オンライン] キー／オンラインランプ（緑色）**
パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。
他のキーを操作するときには、このキーを押して、オフラインにします。
また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。ただし、エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。
キー内部にオンラインランプがあり、点滅により次の状態を表示します。
点灯：
オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）。
点滅：
オンラインからオフラインへ切り替え途中の状態。自己診断中。ウォーミングアップ中。
消灯：
オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信せず、操作パネルのキー操作を受け付ける状態）。
ただし、プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみ点灯します。（→ P.2-9）

② **[ジョブキャンセル] キー**
オフライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。ジョブランプ消灯時は、動作しません。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

③ **[給紙選択] キー**
オフライン時：
給紙選択メニューを表示します。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
給紙選択メニュー時：
給紙元やトレイ用紙サイズの設定値が順に切り替わります。

④ **給紙元表示ランプ（緑色）**
点灯：
現在選択されている給紙元のランプが点灯します。
点滅：
現在選択されている給紙元の用紙がない、または給紙カセットが装着されていない状態。
消灯：
現在選択されていない状態。オプション品を含む給紙カセットまたはペーパーフィーダが装着されていない状態。

⑤ **ディスプレイ**
プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。（→次項目）

⑥ **[ジョブ]（▲）キー**
オフライン時：
ジョブメニューを表示します。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑦ **[実行] キー**
オフライン時：
オフラインの状態では動作しません。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑧ **印刷可ランプ（緑色）**
点灯：
プリント可能な状態。（オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）
点滅：
自己診断中または、ウォーミングアップ中。
消灯：
プリントできない状態。

⑨ **メッセージランプ（オレンジ色）**
点灯：
プリンタに何かトラブルが起きてプリントできない状態。（オフラインでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。）
消灯：
プリンタが正常な状態。

⑩ **ジョブランプ（緑色）**
点灯：
プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。
点滅：
プリントデータを処理している状態。
消灯：
プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

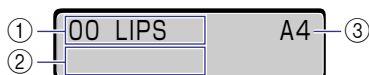
⑪ **[ユーティリティ]（◀）キー**
オフライン時：
ユーティリティメニューを表示します。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
メニューの左側の項目を表示します。設定値を減らします。

⑫ **[リセット]（▼）キー**
オフライン時：
リセットメニューを表示します。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

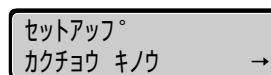
⑬ **[セットアップ]（▶）キー**
オフライン時：
セットアップメニューを表示します。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
メニューの右側の項目を表示します。設定値を増やします。

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態

操作パネルでメニュー操作中の状態

① **状態、動作欄**
プリンタの状態や動作モードを表示します。

② **警告、処理メッセージ欄**
警告メッセージや処理メッセージを表示します。

③ **給紙元、用紙サイズ欄**
現在選択されている給紙元の用紙サイズを略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。(レター：LT、リーガル：LG、エグゼクティブ：EX、ユーザペーパー：80～99、フリー：FR、洋形 4 号封筒：Y4、洋形 2 号封筒：Y 2、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2)

プリンタの使いかた

2
CHAPTER

この章では、本プリンタの基本的な使用方法について説明しています。

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

Windows からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ　プリンタドライバやユーティリティソフトの対応 OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS IV プリンタドライバ

Windows アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定を行うことができます。

■ NetSpot Console

パソコンからネットワークで接続したプリンタの管理を行うユーティリティソフトです。デバイスの一覧表示やマップ表示、プロトコルの詳細な設定、デバイスの状態の表示や通知、ジョブの操作など、さまざまな情報の設定や表示を行うことができます。NetSpot Console は 1 台のパソコンにインストールすることで、ネットワークに接続されているパソコンから Web ブラウザを使用して利用できるようになります。

■ NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ　「NetSpot Job Monitor」は双方向パラレルインタフェースに対応しています。
「NetSpot Job Monitor」で双方向通信を行う場合は、双方向対応のプリンタケーブルが必要です。

DOS の場合

DOS のアプリケーションで本プリンタを使用する場合、オプションのバージョンアップROM が必要です。オプションのバージョンアップ ROM を取り付けると、IBM PC/AT 互換機（DOS/V）パソコンの ESC/P エミュレーションモードが使用可能になります。プリントするときは、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で、本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択してプリントします。

プリントデータを受信するとデータの種類を判別し、自動的にデータに応じた動作モードでプリントします。また、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなど、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定したりすることもできます。

メモ

- エミュレーションモードのプリントについては、「動作モードについて」（→ P.2-19）を参照してください。
- プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。
- オプションのバージョンアップ ROM については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

Macintosh の場合

Macintosh からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ

プリンタドライバやユーティリティソフトの対応 OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

■ LIPS IV プリンタドライバ

Macintosh アプリケーションソフトからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk 接続用プリンタドライバと USB 接続用プリンタドライバの 2 種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

■ プリントモニタ

プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。プリンタドライバと一緒にインストールされます。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定を行うことができます。

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、本プリンタに付属のCD-ROMから、ネットワーク管理ソフトとプリンタドライバを、各クライアントパソコンにインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」やオプションのプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

メモ

- 本プリンタをネットワークに接続した場合、Config Print を行ってプリントサーバのMACアドレスなどを確認し、ネットワークOS（NetWare、UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。これらの設定についてはネットワークOSやプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。
- ネットワークに接続して使う場合のオプションのプリントサーバについては、設置ガイド「第2章 プリンタの設置」を参照してください。
- DNSホスト名やDNSドメイン名、IPPプリンタのURLなどの名称には、なるべく半角英数字を使用してください。全角文字（2バイト文字）を使用すると、それらの名称がConfig Printに“□”でプリントされる場合がありますが、動作には問題はありません。また、オプションのバージョンアップROMを取り付けている場合は、正しくプリントされます。

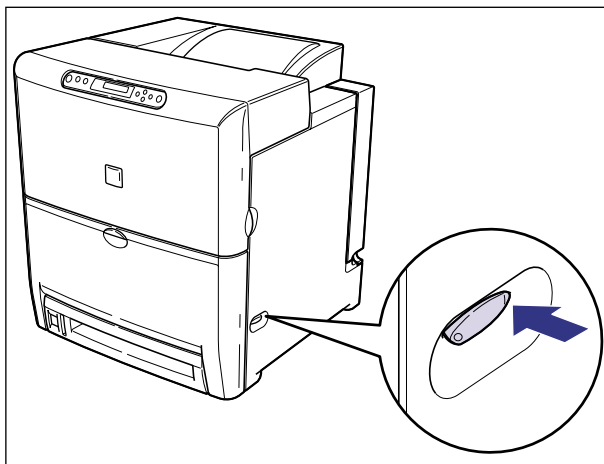
電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

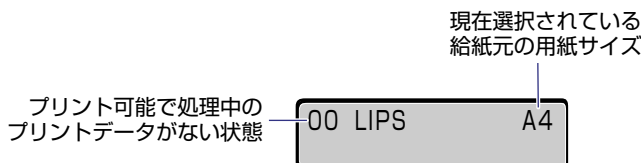
電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの“I”側を押し、オンにします。本体やオプション品の状態チェックを実行した後、プリント可能な状態になります。

重要
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにした後に再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 10 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」(→ P.5-17)、「サービスコール表示」(→ P.5-33)を参照してください。

1 **本体の電源スイッチの“I”側を押します。**

操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。

自己診断の結果に異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　LIPS」と表示されてプリント可能な状態になります。

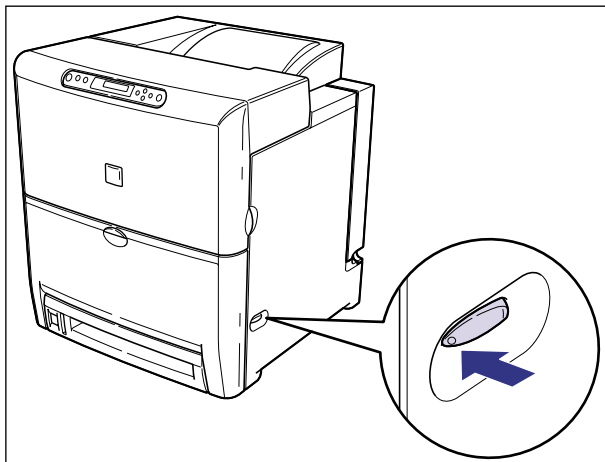
ディスプレイには、次の情報が表示されます。

電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要

- ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。
- ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータは消去されます。必要なプリントデータは、出力し終わるまで待つかオフラインの状態で［リセット］を押して「ハイシュツ」を選択し、出力してから電源をオフにしてください。（→ P.2-22）
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・プリント中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中
  - ・ディスプレイに NVRAM 初期化中や NVRAM 書き込み中のメッセージが表示されているとき
  - ・ディスプレイに「02　キドウ　チュウ」や「02　キャリブレーションチュウ」のメッセージが表示されているとき

1 ジョブランプが消灯していることを確認します。

2 本体の電源スイッチの“○”側を押します。

消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタは、パネル操作を行わず、パソコンからデータが送られてこない状態が一定時間経過したとき、スリープモードに移行します。
スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。オンラインからスリープモードになった場合は、印刷可ランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。オフラインからスリープモードになった場合は、メッセージランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。

重要

- スリープモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「30 プン」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「15 フン」、「30 プン」、「60 プン」、「180 プン」に設定できます。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。
- 電源スイッチをオフにした場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ

- 操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。
- 本プリンタはオフライン状態でもスリープモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードには移行しません。
  ・「nn-nn　サービス　コール」（nn は 2 桁の英数字）が表示されている
  ・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中
  ・「スリープ動作」の項目を「オンライン　ノミ」に設定している

オンラインとオフライン

プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データを受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネルでメニュー操作するときは、プリンタをオフラインにしてから行います。

オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

重要

- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。
- プリント中は、絶対に本体のカバーやカセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

メモ

プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみが点灯します。

オフラインにする

プリンタの操作パネルからメニューの操作や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときは、プリンタはオフラインの状態になっていることが必要です。操作パネルのキーを使うときは、次の手順でオフラインにします。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

重要

- プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません」、「プリンタが接続されていません」などのメッセージが表示され、プリントできません。
- 本プリンタは、オフラインにしたまま5分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、とじ幅の設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能を設定するには、プリンタの操作パネル、プリンタドライバの 2 つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

代表的な機能

本プリンタの代表的な機能を以下の表に示しています。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

機能	機能の概要	プリンタドライバ	操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○
トレイ用紙サイズ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○
両面プリント	用紙の両面にプリントします。	○	○
ページフォーマット	エミュレーションモードでプリントするときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	○
カラーモード	モノクロまたはカラーに固定してプリントするか、自動でプリントするかを設定します。	○	○
データ処理解像度 *1	ファインモード（600dpi）、クイックモード（300dpi）のモードを設定します。	○	○
拡大／縮小 *1 （LIPS モード時のみ）	データを拡大または縮小してプリントします。	○	○
複数ページ印刷 *1 （LIPS モード時のみ）	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて 1 枚の用紙にプリントします。	○	○
オーバレイプリント *1 （LIPS モード時のみ）	LIPS のコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○	○ *2
とじ方向	とじ代を作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○

機能	機能の概要	プリンタドライバ	操作パネル
とじ幅	とじ方向で設定された辺のとじ代の幅を設定します。	○	○
トナー濃度	印字濃度を調節します。	×	○
トナー節約	トナーの消費量を節約するモードを設定します。	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○
スリープモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○

*1 これらの機能は、プリンタドライバと操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますので気を付けてください。詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」や「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

*2 フォーム作成登録はLIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやプリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

メモ
- プリンタドライバのインストール方法や操作方法については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」およびプリンタドライバのヘルプを参照してください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

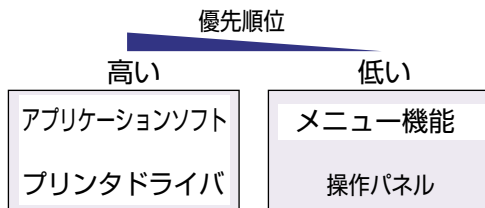
■ LIPS IV プリンタドライバ

本プリンタに付属の LIPS IV プリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

■ プリンタの操作パネル

プリンタをオフラインにし、操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。

プリント画質について

本プリンタはデータ処理時の階調を 3 段階に変えることができるので、目的に応じた画質でプリントすることができます。解像度は常に 600dpi でプリントされますが、300dpi のデータを受信したときに有効な「クイック」モードも用意されています。

解像度モードの種類

各解像度モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ **ファインモード**
ファインモードは、600dpiの解像度モードです。通常はこのモードに設定しておきます。

■ **クイックモード**
クイックモードは、300dpi のデータを処理するときに有効なモードです。300dpi のデータは、ファインモードで処理することもできますが、クイックモードで処理した方が、効率良くプリントすることができます。ただし、出力時の解像度はファインモードと同じ 600dpi になります。

階調モードの種類

階調モードには、標準モード、高階調 1 モード、高階調 2 モードの 3 つのモードがあり、工場出荷時は高階調 1 モードに設定されています。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ **標準モード**
一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。

■ **高階調 1 モード**
写真などを一般的な品質でプリントする場合に適したモードです。

■ **高階調 2 モード**
高階調 1 モードより高い品質でプリントする場合に適したモードです。

解像度モードを設定する

■ **Windows からプリントする場合**

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「ファイン」が選択されています。解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［解像度］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ **Macintosh からプリントする場合**

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ **DOS や UNIX からプリントする場合**

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで解像度を選択します。初期値は「ファイン」に設定されています。プリンタの操作パネルで解像度モードを設定するときは、次の手順で行います。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［セットアップ］を押します。

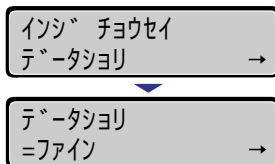
```
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ           →
```

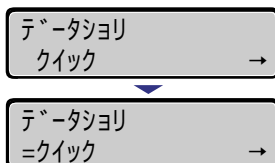
3 ［◄］、［►］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。

```
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｲﾝｼﾞ ﾁｮｳｾｲ          →
```

```
ｲﾝｼﾞ ﾁｮｳｾｲ
ﾃﾞｰﾀｼｮﾘ             →
```

印字調整グループの設定項目が表示されます。

4 ［◀］、［▶］で「データショリ」を選択し、［実行］を押します。

解像度モードの設定値が表示されます。

5 ［◀］、［▶］で目的の解像度モードを選択し、［実行］を押します。

解像度モードが変更されます。

6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

階調モードを設定する

■ Windows からプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「パネル優先」が選択されています。階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印字詳細］を押し、［階調］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで階調処理を選択します。初期値は「コウカイチョウ 1」に設定されています。プリンタの操作パネルで階調モードを設定するときは、次の手順で行います。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［セットアップ］を押します。

3 ［◄］、［►］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。

印字調整グループの設定項目が表示されます。

4 ［◄］、［►］で「カイチョウショリ」を選択し、［実行］を押します。

階調モードの設定値が表示されます。

5 ［◄］、［►］で階調モードを選択し、［実行］を押します。

階調モードが変更されます。

6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

カラーモードについて

本プリンタは、印字モードを「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」に設定できます。

カラーモードの種類

各カラーモードはそれぞれ次のような特長があります。

■ カラーモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にカラー処理してプリントします。「ジドウ」モードに設定していると、カラーデータの場合でも、薄い色を使用した画像などは、モノクロデータと判断されてプリントされることがありますが、このようなときにカラーモードを指定してプリントします。

■ モノクロモード

受信したデータがカラーの場合でもモノクロの場合でも、常にモノクロ処理してプリントします。カラーデータをモノクロでプリントしたいときに設定します。

■ ジドウモード

受信した印字データがカラーのときはカラー処理、モノクロのときはモノクロ処理に自動的に切り替えてプリントします。

カラーモードを設定する

■ Windows からプリントする場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「フルカラーモードで印刷」が選択されています。カラーモードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［色の印刷モード］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでカラーモードを選択します。初期値は「ジドウ」に設定されています。プリンタ操作パネルでカラーモードを設定するときは、次の手順で行います。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［セットアップ］を押します。

3 ［◄］、［►］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。

印字調整グループの設定項目が表示されます。

4 ［◄］、［►］で「カラーモード」を選択し、［実行］を押します。

カラーモードの設定値が表示されます。

5 ［◄］、［►］でカラーモードを選択し、［実行］を押します。

カラーモードが変更されます。

6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

動作モードについて

本プリンタは、LIPS IVs（内蔵フォントなし）に対応しています。オプションのバージョンアップ ROM を取り付けると、LIPS IV、LIPS III、LIPS II+ に対応可能になり、IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）の ESC/P エミュレーションモードも使用することが可能になります。プリントデータを受信すると、プリントデータを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えてプリントします。
このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定することができます。

メモ　オプションのバージョンアップ ROM については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

動作モードの種類

本プリンタは、LIPS モードと ESC/P エミュレーションモードを使用できます。

■ LIPS モード

LIPS は、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードでプリントします。付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的に LIPS モードでプリントされます。

■ ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、AX パソコンで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのパソコンで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。エプソンが提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタに、オプションのバージョンアップ ROM を取り付けて動作モード設定を「自動選択」（工場出荷時のままの状態）で使用中に、ESC/P データが LIPS モードでプリントされるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタを次のように設定してみてください。
次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、プリントデータに合った動作モードに固定してプリントしてください。

メモ　優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの設定、動作モードの固定は操作パネルから行います。設定方法についてはLIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ 優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

優先エミュレーションの工場出荷時の設定は「ESC/P」になっています。この設定をプリントするデータに合わせて「LIPS」や「なし」に変更します。

■ 自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定で、不要な動作モードを「使わない」に設定します。

専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）

本プリンタを使用しているパソコン専用のプリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードを LIPS モード、ESC/P エミュレーションモードのいずれかに固定することができます。

メモ
- ESC/P エミュレーションモードでプリントする場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次項目を参照してください。
- 動作モードの設定は操作パネルから行います。設定方法は LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

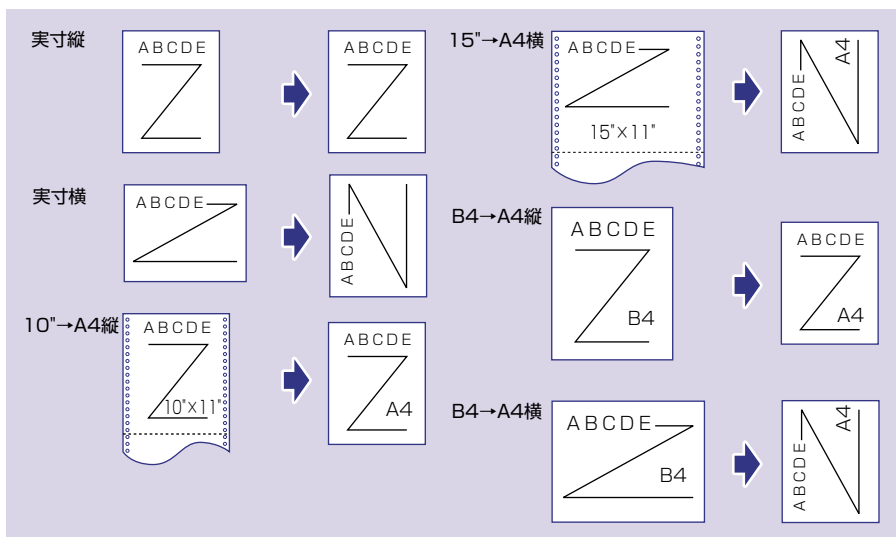
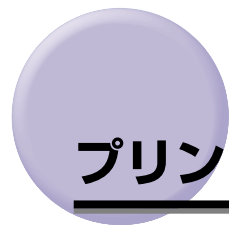
■ IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）や AX パソコン

ESC/P エミュレーションモードに固定

エミュレーションモードで使うとき

本プリンタを ESC/P エミュレーションモードで使用する場合、いままで ESC/P 準拠のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の 6 種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では、「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：用紙を縦に使ってプリントします
実寸横：用紙を横に使ってプリントします
10" → A4 縦：10" × 11"の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → A4 横：15" × 11"の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
B4 → A4 縦：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
B4 → A4 横：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使ってプリントします

メモ

- 用紙サイズは「10" → A4 縦」「15" → A4 横」「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」では A4 が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。
- 10" × 11"の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15" × 11"の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、プリントジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出してプリンタ側の印刷処理を終わらせたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが１ ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、次の手順で強制的にプリントデータを排出してください。

重要　データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。

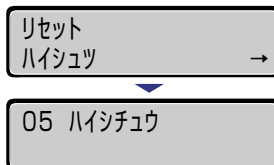
メモ
- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、１ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→ P.2-24）

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［リセット］を押します。

リセットメニューが表示されます。

3 ［◄］、［►］で「ハイシュツ」を選択し、［実行］を押します。

ディスプレイに「05　ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。

4 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、「ジョブキャンセル」を行います。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

- ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに［ジョブキャンセル］をしてもジョブキャンセルは行われません。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがあります。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたプリントデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

メモ　ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

メモ　ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイ上段に動作モード、下段にユーザ名やプリンタの状態などの情報が表示されます。

2 ［ジョブキャンセル］を押します。

「03　ジョブ　キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00　ジョブ　スキップ」の表示に変わります。
「00　LIPS」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

重要

- 「00　ジョブ　スキップ」が表示されているときは、［リセット］を押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。
- 「03　ジョブ　キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00　ジョブ　スキップ」が表示されるまでお待ちください。

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

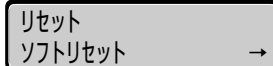
現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

重要

- 必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。
- ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。
- ジョブの保存中や排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。

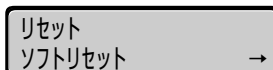
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［リセット］を押します。

リセット
ソフトリセット →

リセットメニューが表示されます。

3 ［◀］、［▶］で「ソフトリセット」を選択し、［実行］を押します。

［実行］をそのまま3秒以上押し続けると「ハードリセット」の操作になります。

「03　ソフト　リセット」の表示が消えたらソフトリセットが完了します。

4 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次の操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［リセット］を押します。

リセットメニューが表示されます。

3 ［◄］、［►］で「ソフトリセット」を選択します。

4 ［実行］を押し続け、「ハードリセット」と表示されたら離します。

「ハードリセット」が表示されるまで（約3秒）押し続けます。3秒未満の場合は、「ソフトリセット」の操作になります。

「03　ハード　リセット」の表示が消えたらハードリセットが完了します。

5 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

給紙・排紙のしかた

3
CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面プリントと両面プリントが可能、○は片面プリントのみ可能、×は不可です。

重要
- 用紙はすべて縦送り方向にセットしてください。
- 幅が200mm以下の用紙を連続プリントした場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、プリント速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 3ppm まで遅くなることもあります。）

用紙サイズ

用紙の種類	給紙元		
	給紙トレイ	カセット1	カセット2（オプション）
普通紙（64～105g/m²） A5	○	○	○
B5	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	◎	◎	◎
リーガル	◎	◎	◎
ユーザペーパー*1	○	○	○
厚紙（106～135g/m²） A5	○	×	×
B5	○	×	×
A4	○	×	×
レター	○	×	×
エグゼクティブ	○	×	×
リーガル	○	×	×
ユーザペーパー*2	○	×	×
OHPフィルム　A4	○	×	×
ラベル用紙　A4	○	×	×
ハガキ　100mm×148mm	○	×	×
往復ハガキ　148mm×200mm	○	×	×
封筒 洋形4号　105mm×235mm	○	×	×
洋形2号　114mm×162mm	○	×	×

*1 以下のサイズの普通紙がセットできます。
・給紙トレイ：幅76.2～216.0mm、長さ127.0～356.0mm
・カセット1、カセット2：幅148.5mmまたは182.0～216.0mm、長さ210.0～356.0mm
*2 幅76.2～216.0mm、長さ127.0～356.0mmの厚紙がセットできます。

■ 用紙サイズの略号について

給紙カセットのサイズの表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

用紙サイズ	給紙カセットの用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

給紙元の積載枚数

用紙の種類	給紙元		
	給紙トレイ	カセット1	カセット2（オプション）
普通紙（64g/m^{2}の場合）	約100枚	約500枚*	約500枚*
厚紙（135g/m^{2}の場合）	約50枚	×	×
OHP フィルム	約50枚	×	×
ラベル用紙	約40枚	×	×
ハガキ	約50枚	×	×
往復ハガキ	約50枚	×	×
封筒	約10枚	×	×

*以下のサイズの普通紙（64g/m^2）は、最大積載枚数（約500枚）の約半分（積載制限マークの16mm下）までセットできます。
・A5サイズ
・幅が148.5mmのユーザペーパー

排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先
	フェースダウン排紙トレイ
普通紙（64g/m^{2}の場合）	約250枚
厚紙（135g/m^{2}の場合）	約100枚
OHP フィルム	約50枚
ラベル用紙	約50枚
ハガキ	約50枚
往復ハガキ	約50枚
封筒	約10枚

■ 普通紙

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 216.0mm、長さ 127.0 ～ 356.0mm、重さ 64 ～ 105 g/m^2 の普通紙を使用できます。
普通紙は、給紙カセットと給紙トレイの両方から給紙できます。また A5 以外の定形サイズの用紙のみ自動両面プリントが可能です。

■ 厚紙

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 216.0mm、長さ127.0 ～ 356.0mm、重さ 106 ～ 135 g/m^2 の厚紙を使用できます。厚紙は、給紙トレイから給紙し、片面プリントのみ可能です。

■ OHP フィルム

本プリンタでは、専用の「キヤノンカラーレーザ OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」を使用してください。

重要

- OHP用紙TR-3 A4は、LBP-2160/2040/2050/2200/2260/2260PS/2260PSII/2300/2360/2410/2510/2710/2810およびLBP5500/5700/5800専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。
- LBP-2030用OHP用紙（キヤノン カラーレーザ OHP用紙 T-H1 A4、T-H1 LTR）やCLC用OHP、モノクロプリンタ用OHP（キヤノン国内LBP用トランスペアレンシー）など、指定以外のOHPフィルムは、本プリンタでは使用できません。万一使用すると、プリンタ内部の定着器の故障や画質低下の恐れがあります。

■ ラベル用紙

本プリンタではA4サイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は表裏を確認し、表を下にして給紙トレイにセットします。

重要

次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。

・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
・糊がはみ出ている用紙

■ ハガキ / 往復ハガキ

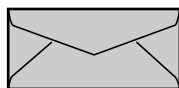
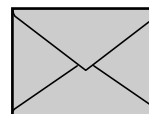
本プリンタでは、官製ハガキ、官製往復ハガキのみを使用できます。ハガキ、往復ハガキはプリント面を下にして給紙トレイにセットします。

重要

- 官製ハガキ、官製往復ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- プリント可能な往復ハガキは、折り目なしのもののみです。
- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の官製ハガキ、官製往復ハガキを使用することはできません。

■ 封筒

本プリンタで使用できる封筒は、洋形4号、洋形2号の封筒で次のような構造のものに限ります。封筒は宛名を書く面を下にして給紙トレイにセットします。

洋形4号（105mm×235mm）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

洋形2号（114mm×162mm）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）

※短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。

・ファスナーや留め具の付いている封筒
・窓付きの封筒
・糊付きの封筒
・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒

· 長方形でない封筒や不規則な形の封筒

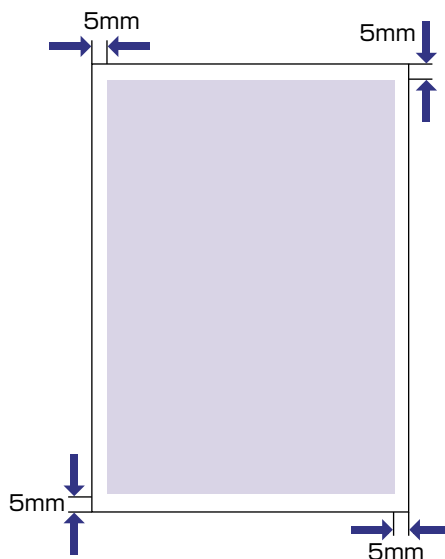
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）にはプリントしないでください。

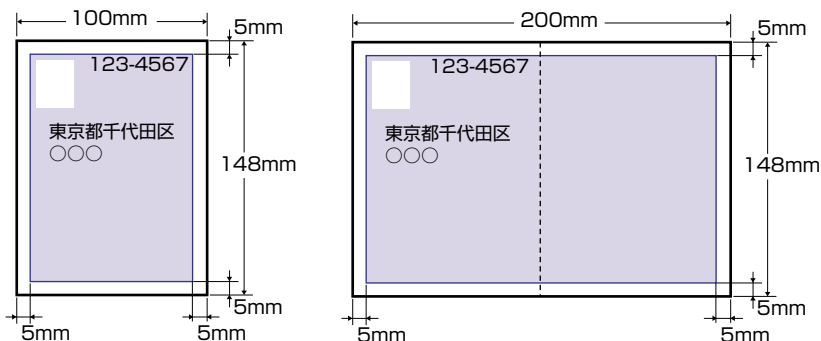
メモ
- 封筒にプリントした場合、裏面にフラップ部や貼り合わせのある部分の画像がかすれたり、封筒の後端が汚れる場合があります。
- 封筒にプリントした場合、しわがよる場合があります。

プリントできる範囲

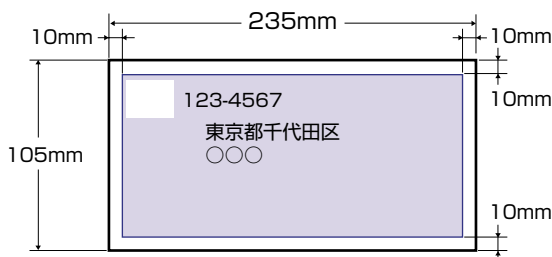
本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。

■ 普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲にプリントできます。

■ ハガキ / 往復ハガキ

ハガキの周囲 5mm より内側の範囲にプリントできます。

■ 封筒

封筒の周囲 10 mm より内側の範囲にプリントできます。
お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。

(洋形4号封筒の例)

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・不規則な形の用紙
  - ・湿っている用紙、濡れている用紙
  - ・破れている用紙
  - ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ・ミシン目のある用紙
  - ・カールした用紙や折り目のある用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・裏紙が簡単に剥がれてしまうラベル用紙
  - ・複写機、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
  - ・バリのある用紙

- ・しわのある用紙
- ・角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ・定着器の熱（約 160 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ・感熱用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・複写機、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタでプリントしたプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙元を選択する

本プリンタは、給紙カセット（カセット 1）と給紙トレイの合計 2 つの給紙元があります。また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2）を装着することにより、最大 3 つの給紙元を使用することが可能です。

給紙元の種類

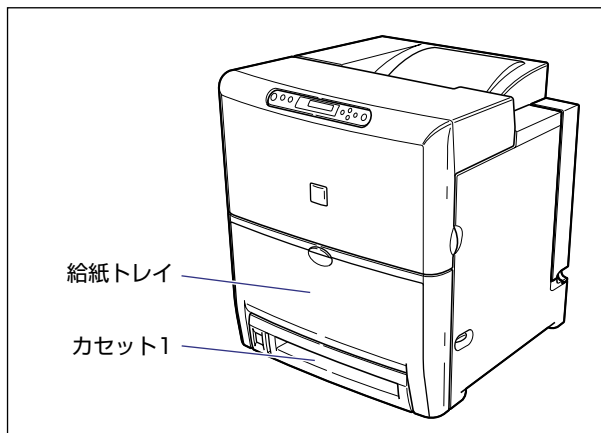
本プリンタには、次の給紙元があります。

■ **標準状態**

給紙元：

給紙トレイ
カセット 1

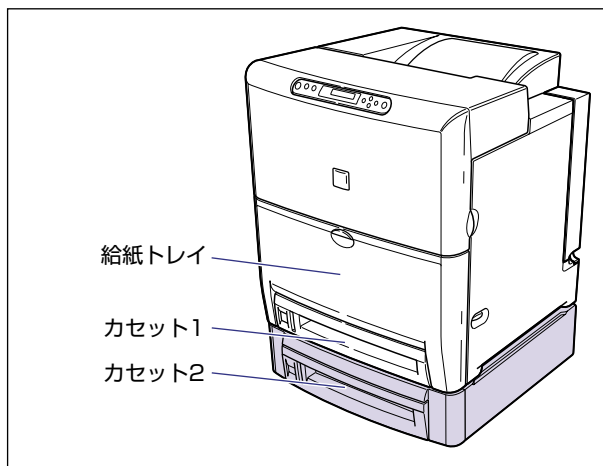
給紙枚数：

最大 600 枚（64 g/m²）

■ ペーパーフィーダ装着状態

給紙元：

給紙トレイ
　カセット１
　カセット２

給紙枚数：

最大 1100 枚（64 g/m²）

メモ　ペーパーフィーダユニットは、2 台以上取り付けることはできません。

給紙元の選択

給紙元の選択は、次の手順で行います。

■ Windows や Macintosh からプリントする場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。

給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで給紙元を選択します。本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されています。

プリンタの操作パネルで給紙元を選択するときは、以下の手順で行います。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［給紙選択］を押します。

ディスプレイに「キュウシ　モード」と表示されます。

3 ［給紙選択］を押して、給紙元を選択します。

［給紙選択］を押すたびに、使用可能な給紙元の表示がジドウ→カセット １ →カセット ２（オプション取付時）→トレイの順で変わります。

重要　自動給紙選択時、不定形サイズの用紙（ユーザペーパー）を給紙カセットと給紙トレイにセットすると、セットした用紙のサイズに関わらず以下の順番で給紙元を決定します。給紙元を指定したい場合は、あらかじめ給紙元を選択してからプリントしてください。

·「トレイ優先」が「シナイ」の場合（工場出荷時の設定）：カセット １ →カセット 2*→給紙トレイ

·「トレイ優先」が「スル」の場合：給紙トレイ→カセット １ →カセット 2*
　*：ペーパーフィーダ装着時のみ

メモ

- 「カセット 2」はペーパーフィーダ装着時にのみ表示されます。
- 自動給紙選択時の給紙元表示ランプは、「トレイ優先」の設定が「シナイ」のときはカセット１が点灯し、「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。
- 自動給紙選択時に、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。

4 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯します。給紙元が変更され、プリントできる状態になります。
ディスプレイ右上に選択した給紙元の用紙サイズが表示されます。

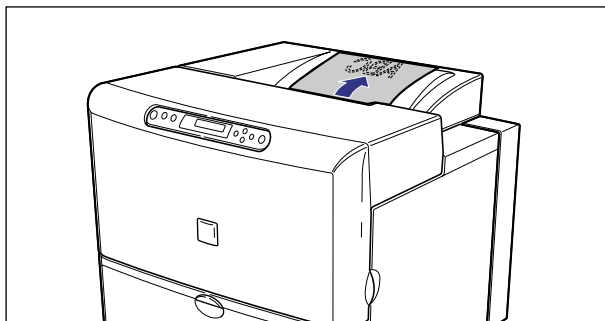
メモ

- 給紙元の選択は、［◄］、［►］でも可能です。
- 給紙元の決定は、［▼］、［実行］でも可能です。
- 給紙元は、［◄］、［►］、［給紙選択］以外のキーを押すと、選択中の給紙元に変更されます。

排紙先について

本プリンタには、次の排紙先があります。

排紙トレイ

本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。

重要

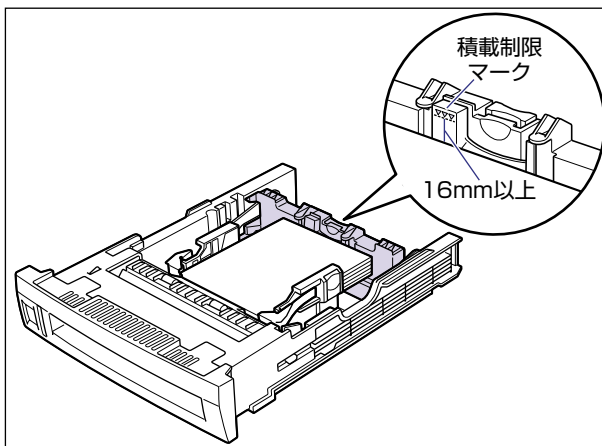
- ラベル用紙は、排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。
- 両面プリント中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面プリント中は表面をプリントしたあと一度途中まで排紙され、裏面をプリントするために再度給紙されます。

メモ

排紙トレイは、普通紙で約 250 枚（64 g/m^2）まで積載することができます。排紙トレイには用紙積載センサーがあり、満載になると「1F　ハイシトレイ　フル」のメッセージが表示されてプリントが停止されます。排紙トレイが満載になったときは、排紙トレイから用紙を取り除いてください。プリントが再開されます。

給紙カセットからプリントする

給紙カセットには、定形サイズ、定形外のサイズ（ユーザペーパー）の普通紙を最大で約500枚（64 g/m²）までセットすることができます。用紙がなくなると、ディスプレイに「11　XX ヨウシガ　アリマセン」や「17　カセット1 ヨウシ　ナシ」などのメッセージが表示され、給紙元の用紙がなくなったことを表示します。このメッセージが表示されたら、用紙をセットしてください。本プリンタには、給紙カセット（カセット 1）が 1 つ標準装備されています。また、オプションのペーパーフィーダを装着するとカセット 2 が追加されます。

重要 A5 サイズまたは幅が 148.5mm のユーザペーパーは、図のように給紙カセットの最大積載枚数（約500枚）の約半分（積載制限マークから 16mm 下）までセットすることができます。この積載制限を超えた場合、給紙不良の原因となります。

用紙をセットするときの注意

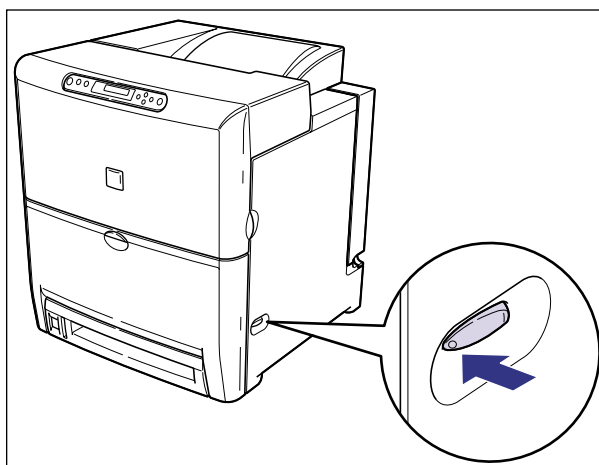
用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。ジョブランプが点滅しているときはプリント処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

重要 プリント中は、絶対にカバーを開けたり、給紙カセットを引き出さないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

■ ジョブランプが消灯しているとき

■ 用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示されているとき

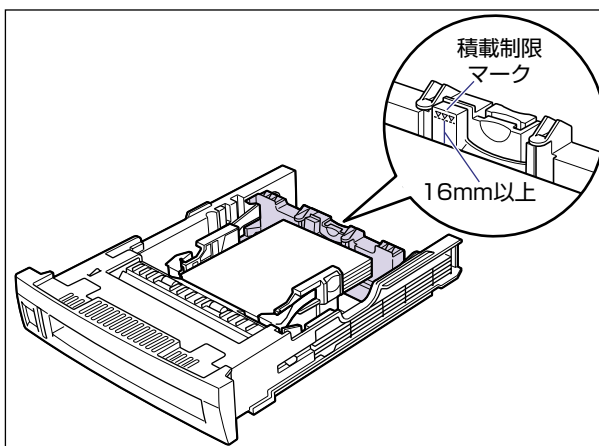
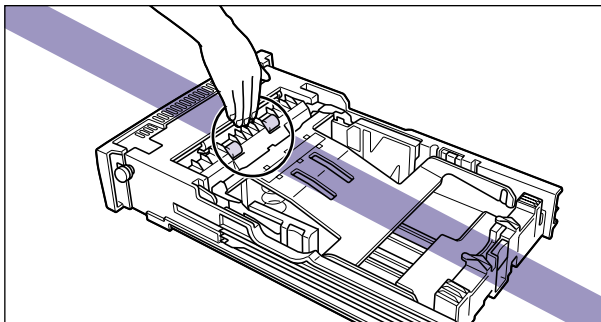
11 A4ヨウシカ゛ アリマセン
フツウシ

■ 本プリンタの電源がオフのとき

給紙カセットに用紙をセットする

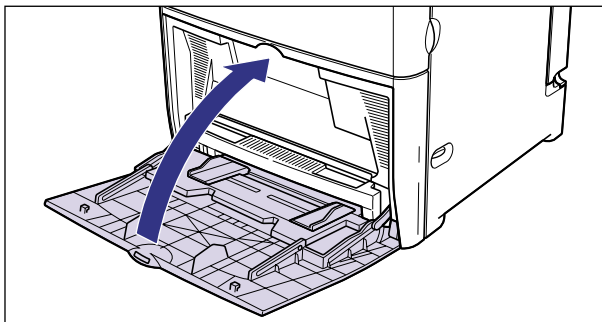
標準で装着されているカセット 1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット 2 共に、用紙のセット方法は同じです。カセット 1、カセット 2 には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。
定形の用紙と定形外の用紙（ユーザペーパー）とでセットする手順が異なりますので、次の手順で正しく用紙をセットしてください。

重要 紙づまりの原因になることがありますので、次の内容を守ってください。

- OHP フィルムやラベル用紙、封筒など普通紙（64 ～ 105 g/m^2）以外の用紙をセットしないでください。セットできる用紙については、「用紙について」（→ P.3-2）を参照してください。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙をセットしないでください。
- セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 500 枚（64 g/m^2）です（A5 サイズまたは幅が 148.5mm のユーザペーパーは除く）。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- A5 サイズまたは幅が 148.5mm のユーザペーパーは、図のように給紙カセットの最大積載枚数（約 500 枚）の約半分（積載制限マークから 16mm 下）までセットすることができます。この積載制限を超えた場合、給紙不良の原因となります。

3 給紙・排紙のしかた

・給紙カセットの給紙ローラには、手を触れないでください。給紙不良の原因になります。

定形の用紙をセットする

A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙は次の手順でセットします。

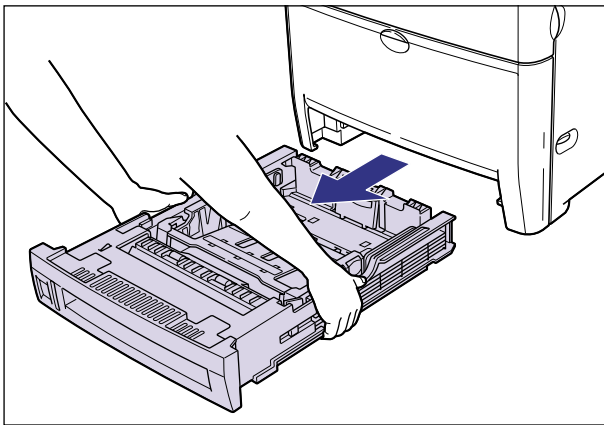
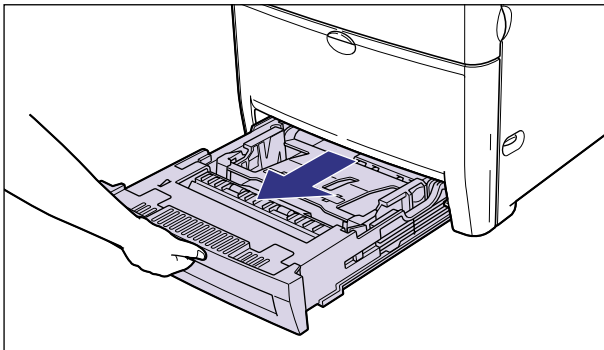
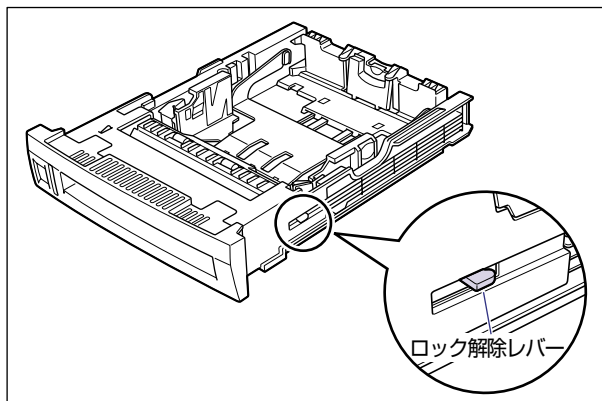
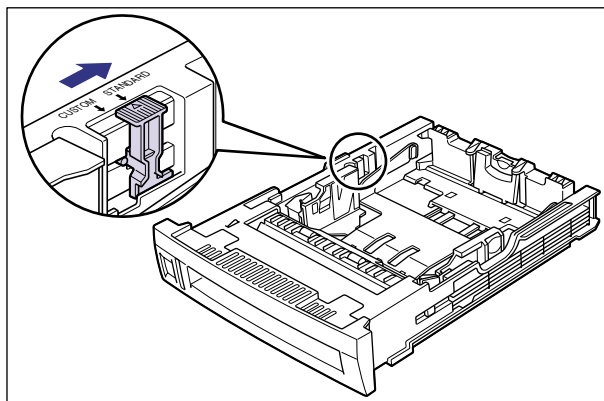
1 **給紙トレイを使用していた場合は、用紙を取り除いて給紙トレイを閉めます。**

2 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットは途中まで前面の取っ手を持って引き出してから、図のように両手で持って引き出します。

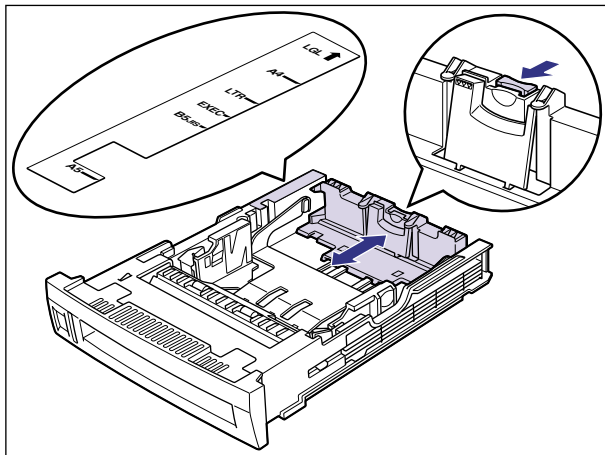
注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

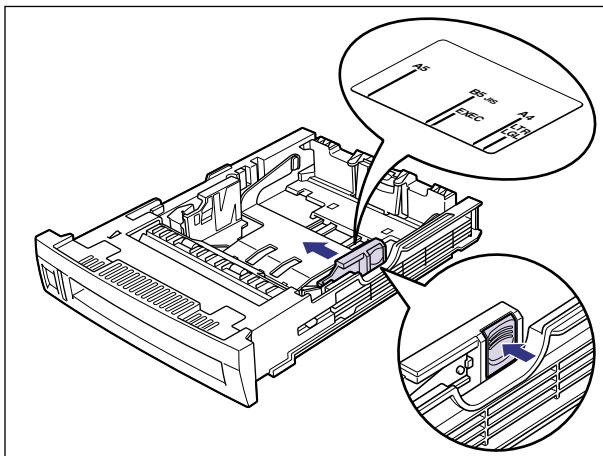
3 給紙カセットのプレートを押して、ロックします。

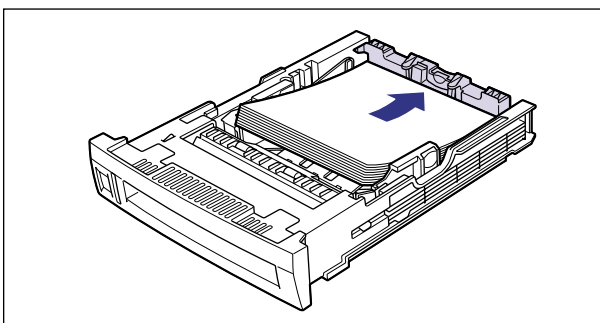
⚠注意 給紙カセットのプレートがロックされているときは、給紙カセット右側面にある白いロック解除レバーには触れないでください。ロックが解除されてプレートが勢いよく上がり、けがの原因になることがあります。

4 定形／不定形切り替えスイッチを“STANDARD”側に合わせます。

重要　定形の用紙を使用するときは、必ず定形／不定形切り替えスイッチを"STANDARD"側に合わせてください。

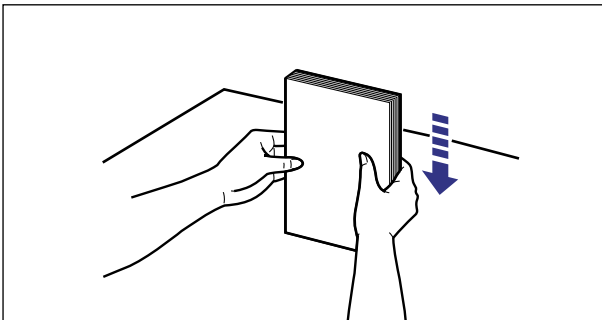
5 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

リーガルサイズの用紙をセットするときは、後側の用紙ガイドを止まるまで奥に移動します。

重要　必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

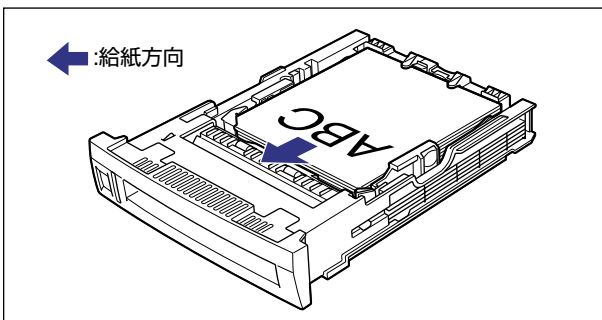
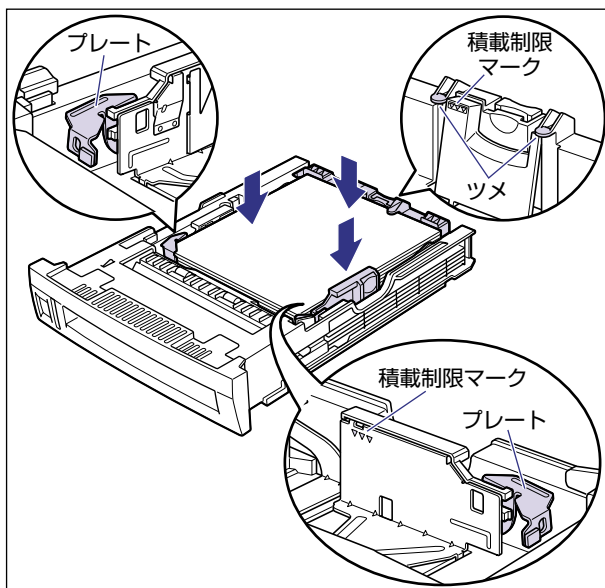
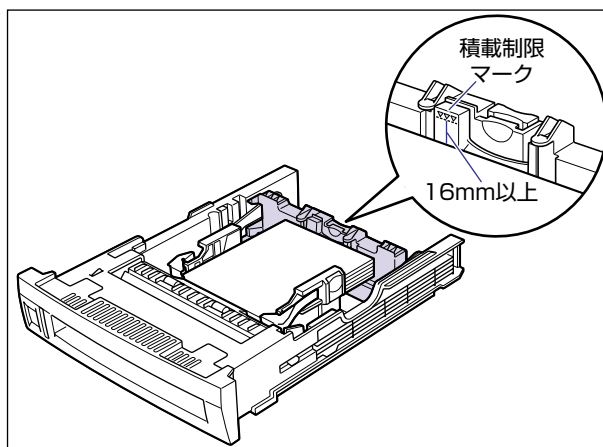
6 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

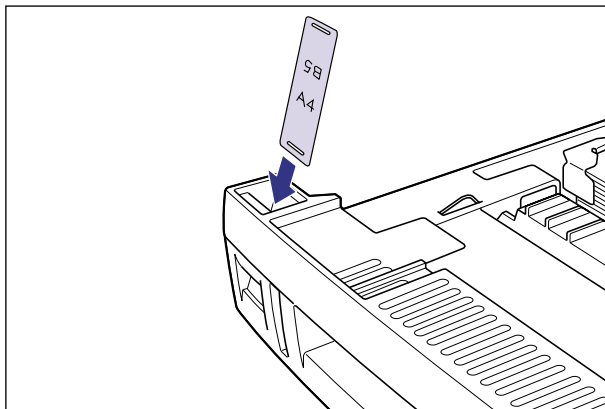
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

重要　必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

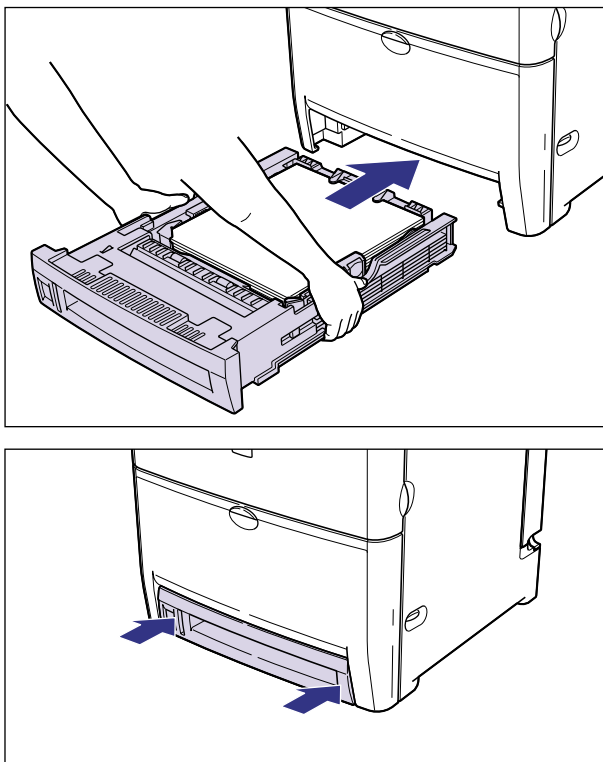
7 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要　裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。

8 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメとプレートの下に用紙を入れます。

重要

- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 500 枚（64 g/m²）です（A5 サイズは除く）。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- A5 サイズの用紙は、図のように給紙カセットの最大積載枚数（約 500 枚）の約半分（積載制限マークから 16mm 下）までセットすることができます。この積載制限を超えた場合、給紙不良の原因となります。

9 用紙サイズ表示板を給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

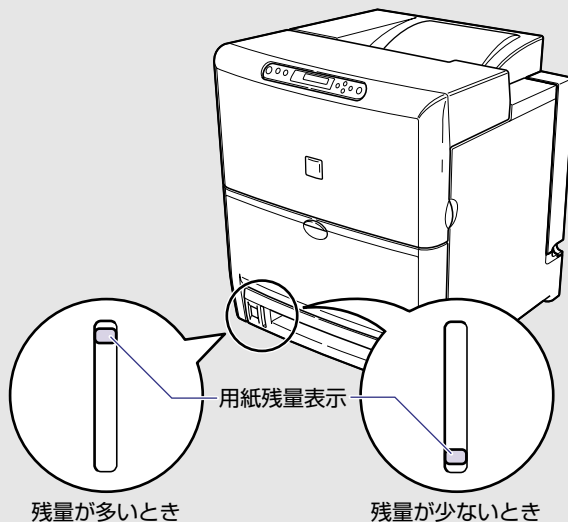
セットした用紙サイズの表記を下側にしてセットします。

10 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまでゆっくりとしっかり奥まで押し込みます。

セットすると、電源が入っているときは作動音がします。用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示されているときは、自動的にプリントを再開します。

注意 給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、指を挟まないように注意してください。

重要 給紙カセットがプリンタ本体に入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

●用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示がありま す。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。

定形外の用紙（ユーザペーパー）をセットする

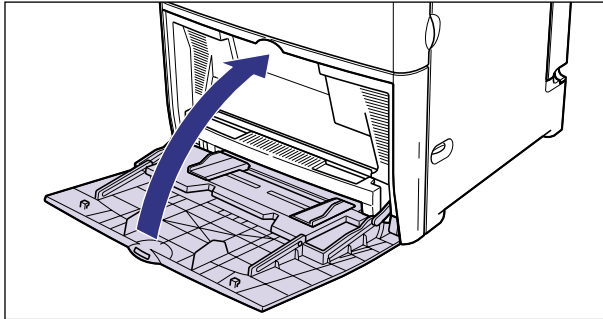
定形外の用紙（ユーザペーパー）は次の手順でセットします。給紙カセットには、幅 148.5mm または 182.0 ～ 216.0mm、長さ 210.0 ～ 356.0mmの普通紙がセットできます。

重要

自動給紙選択時、不定形サイズの用紙（ユーザペーパー）を給紙カセットと給紙トレイにセットすると、セットした用紙のサイズに関わらず以下の順番で給紙元を決定します。給紙元を指定したい場合は、あらかじめ給紙元を選択してからプリントしてください。

- 「トレイ優先」が「シナイ」の場合（工場出荷時の設定）：カセット 1 →カセット 2* → 給紙トレイ
- 「トレイ優先」が「スル」の場合：給紙トレイ→カセット 1 →カセット 2*

＊：ペーパーフィーダ装着時のみ

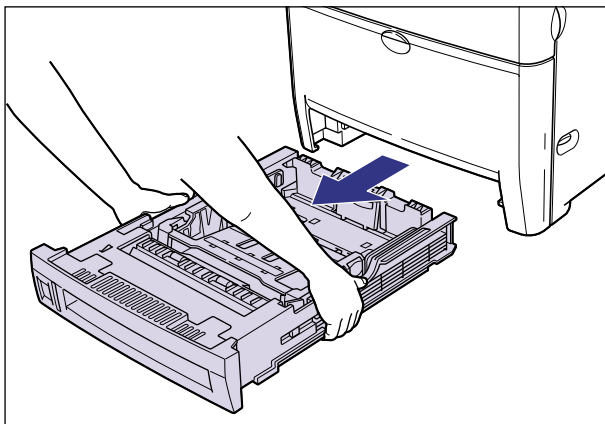
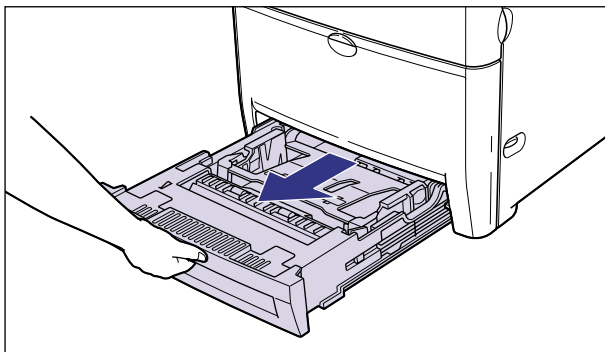
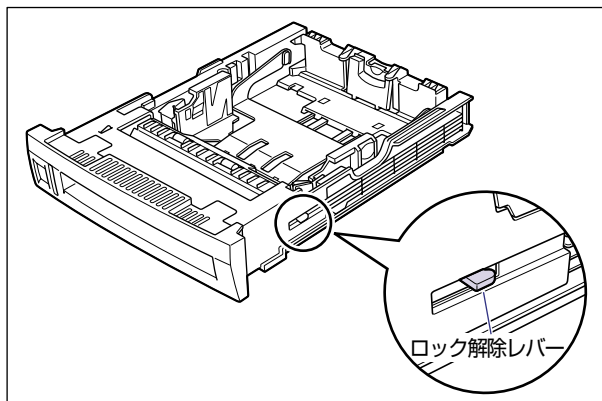
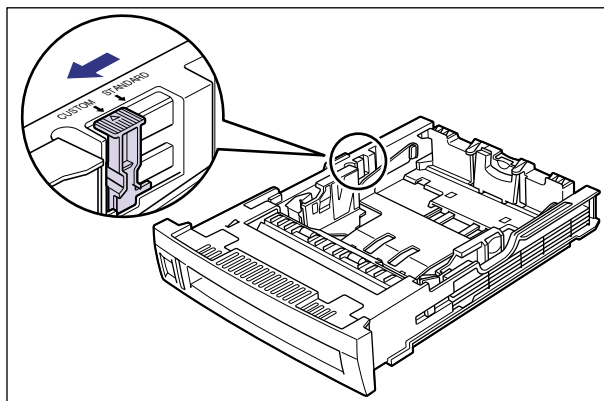
1 給紙トレイを使用していた場合は、用紙を取り除いて給紙トレイを閉めます。

2 給紙カセットを引き出します。

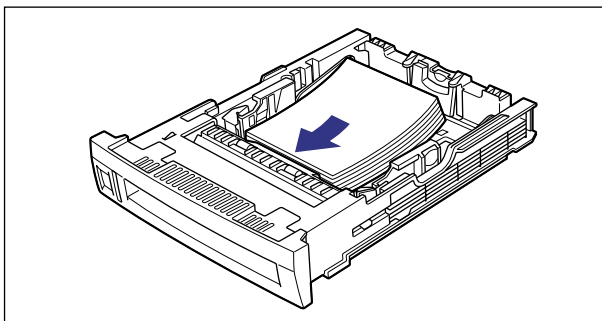
給紙カセットは途中まで前面の取っ手を持って引き出してから、図のように両手で持って引き出します。

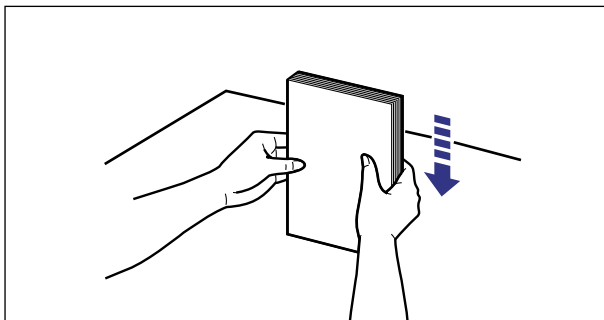
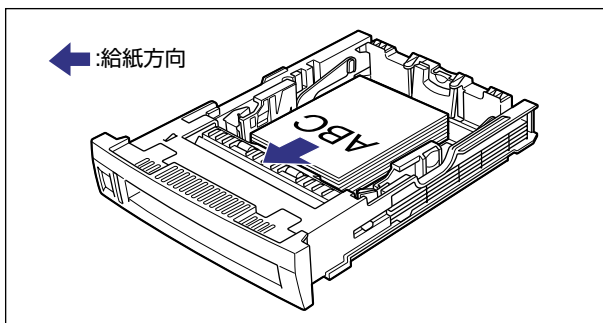
注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

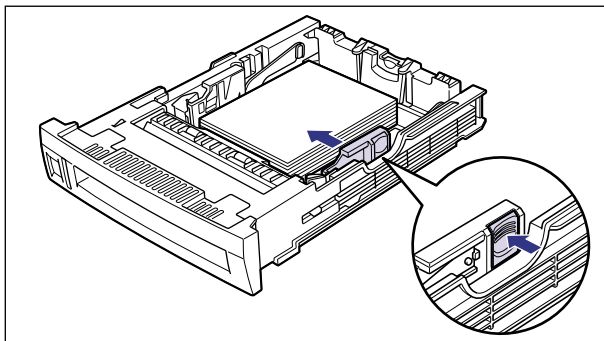
重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

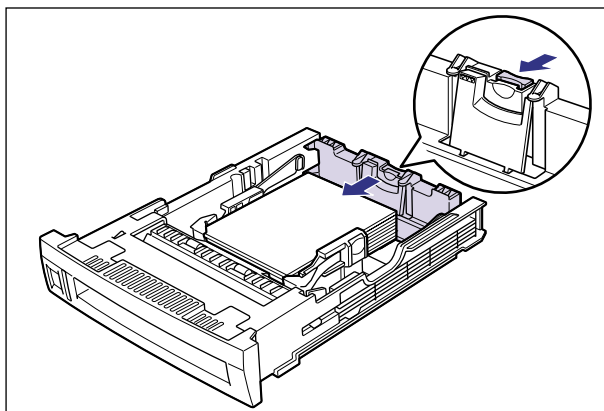
3 給紙カセットのプレートを押して、ロックします。

注意 給紙カセットのプレートがロックされているときは、給紙カセット右側面にある白いロック解除レバーには触れないでください。ロックが解除されてプレートが勢いよく上がり、けがの原因になることがあります。

4 定形／不定形切り替えスイッチを“CUSTOM”側に合わせます。

重要 定形外の用紙（ユーザペーパー）を使用するときは、必ず定形／不定形切り替えスイッチを“CUSTOM”側に合わせてください。

5 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

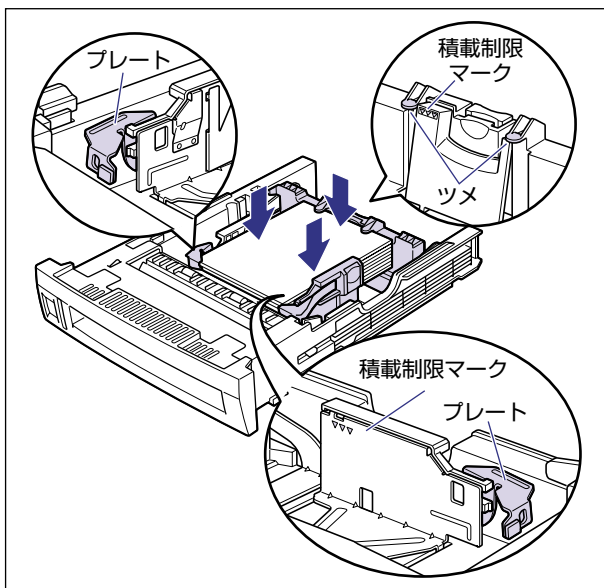
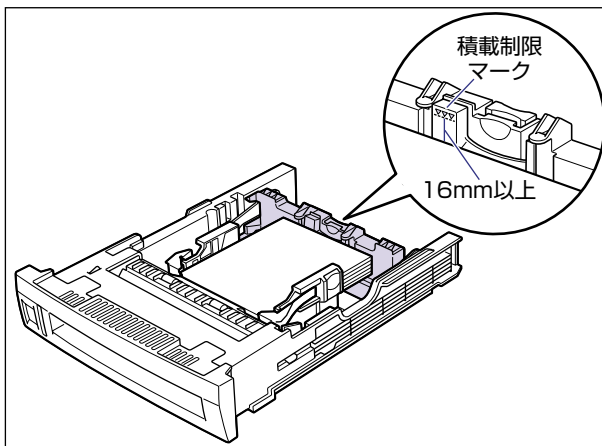
重要
- 用紙は図のように縦送りでセットしてください。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ レターヘッドやロゴ付の用紙などにプリントする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。

6 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら移動させ、用紙の左右にぴったりと合わせます。

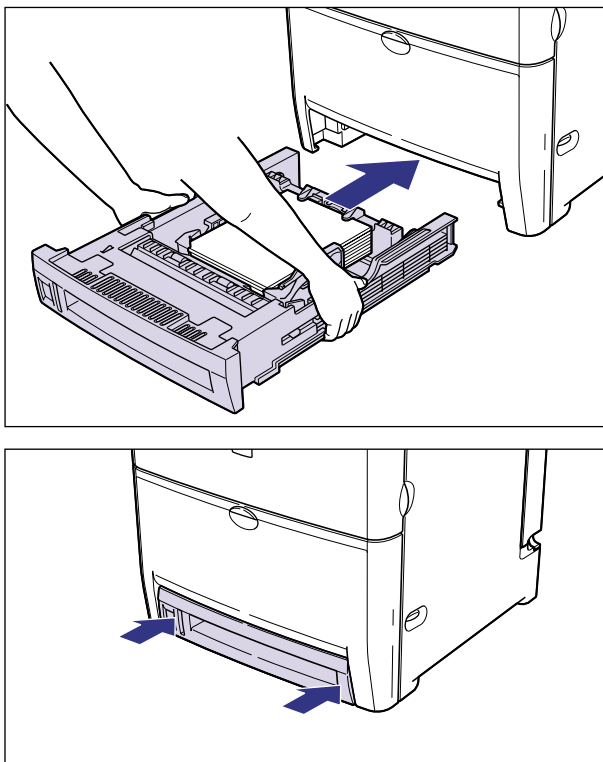
重要

- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。用紙サイズとガイドの位置が合っていないと、「41　プリント　チェック」や「9A　カセット１ガイドフセイ」のメッセージが表示され、プリントが停止します。
- 用紙ガイドと用紙の間がゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

7 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら移動させ、用紙の後端にぴったりと合わせます。

重要

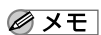
必ず用紙ガイドを用紙の後端に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

8 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメとプレートの下に用紙を入れます。

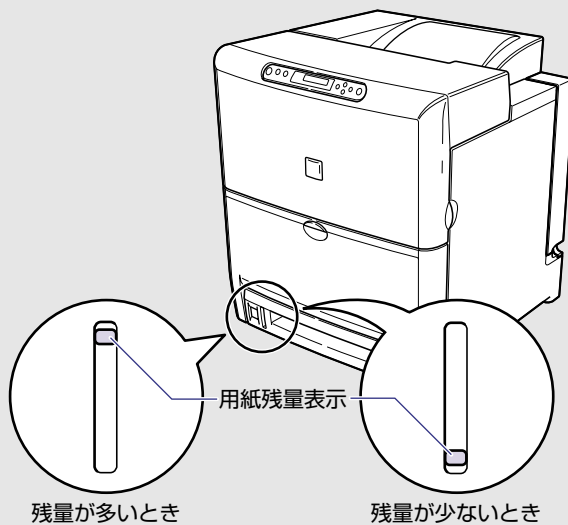
重要

- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 500 枚（64g/m²）です（幅が 148.5mm のユーザペーパーは除く）。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- 幅が 148.5mm のユーザペーパーは、図のように給紙カセットの最大積載枚数（約 500 枚）の約半分（積載制限マークから 16mm 下）までセットすることができます。この積載制限を超えた場合、給紙不良の原因となります。

9 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまでゆっくりとしっかり奥まで押し込みます。

セットすると、電源が入っているときは作動音がします。用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示されているときは、自動的にプリントを再開します。

注意 給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、指を挟まないように注意してください。

重要 給紙カセットがプリンタ本体に入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

メモ 定形外の用紙をセットした場合の用紙サイズ表示板は用意されていませんので、用紙サイズ表示板は大切に保管しておいてください。

●用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。

給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が 76.2 ～ 216.0mm、長さが127.0 ～ 356.0mm の範囲の用紙を約 100 枚（64 g/m²）までセットできます。OHP フィルムやラベル用紙、ハガキ、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。
給紙トレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

重要　「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

メモ　プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、あらかじめ給紙元を「トレイ」に設定してください。（→ P.3-11）

■ 給紙トレイに用紙をセットする（→ P.3-36）

■ 用紙のサイズとタイプを設定する（→ P.3-46、3-48）

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「トレイ　ヨウシ　サイズ」＝セットした用紙のサイズ
- 「トレイ　ヨウシ　タイプ」＝セットした用紙のタイプ

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントするときは、「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定の他に、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「デフォルト　ヨウシ　サイズ」＝セットした用紙のサイズ
- 「デフォルト　ヨウシ　タイプ」＝セットした用紙のタイプ

■ プリンタドライバを設定する（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

［ページ設定］ページ

［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ

［給紙］ページ

［給紙部］＝［手差し（トレイ）］

［用紙タイプ］＝［普通紙］：普通紙、再生紙
［厚紙］：厚紙、ラベル紙
［厚紙 H］：対応用紙は現在未定です。
［OHP］：OHP フィルム

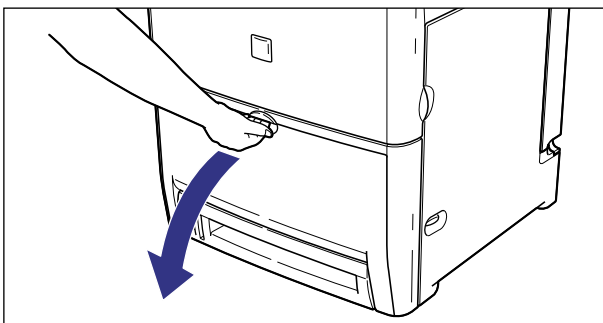
給紙トレイに用紙をセットする

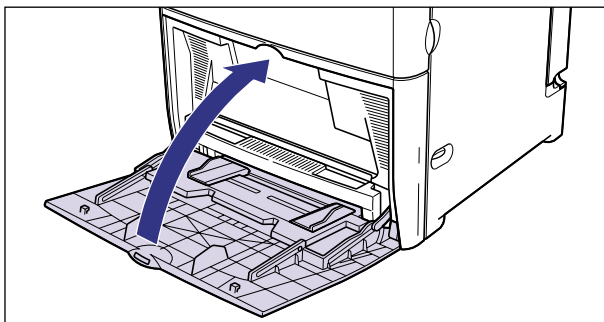
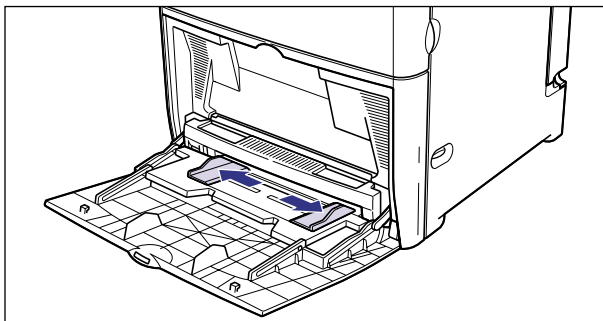
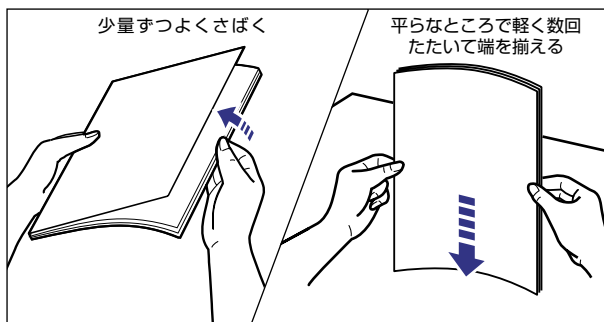
用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする

給紙トレイに普通紙や厚紙、ラベル用紙などをセットするときは、次の手順でセットします。

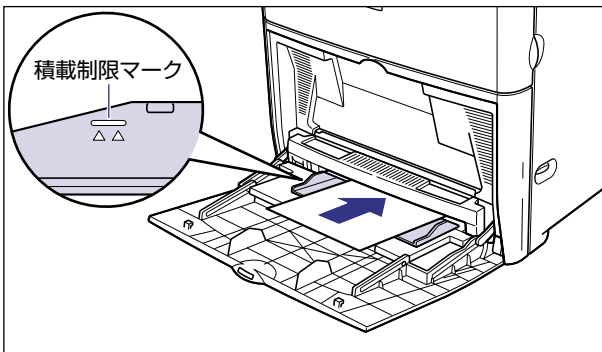
重要　周囲 5mm の範囲にはプリントできません。

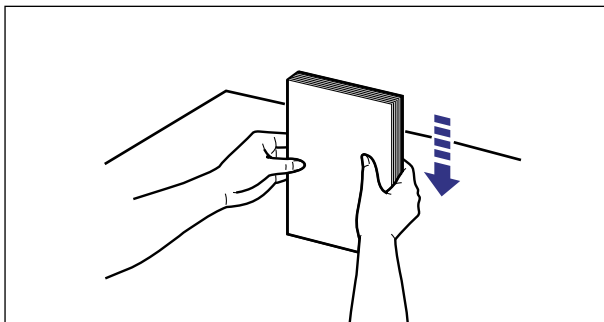
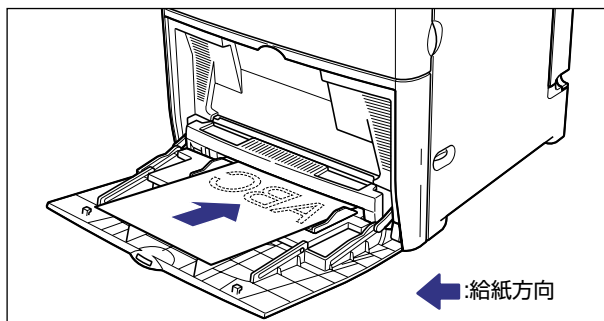
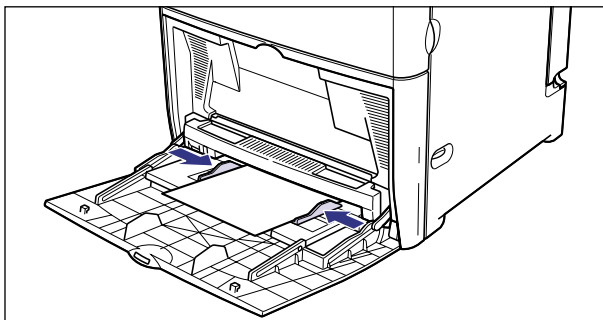
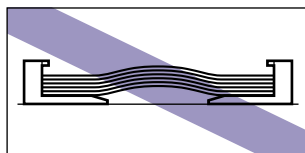
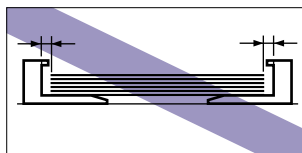
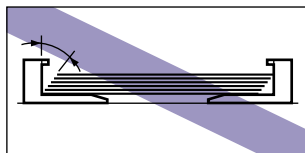
1 給紙トレイを開けます。

給紙トレイはプリンタ中央の取っ手を持って開けます。

重要
- 給紙トレイを開けるとき、プリンタの前に障害物がないことを確認してください。
- 給紙トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

メモ　給紙トレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
給紙トレイを使わないときは、閉めておいてください。

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

3 OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

4 用紙のプリント面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 給紙トレイには、普通紙を約 100 枚（64 g/m²）までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。

5 用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

重要
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

- プリント中は、給紙トレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

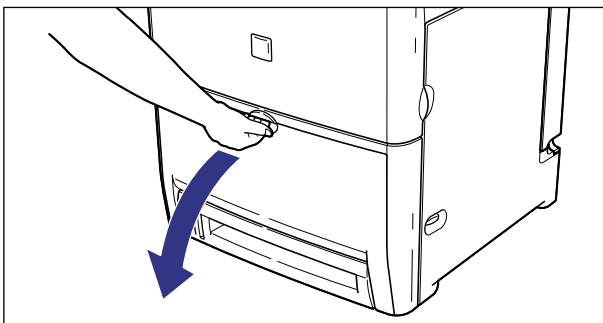
次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください（→ P.3-46）。

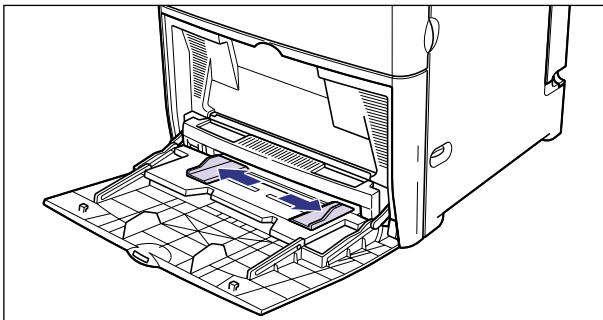
ハガキをセットする

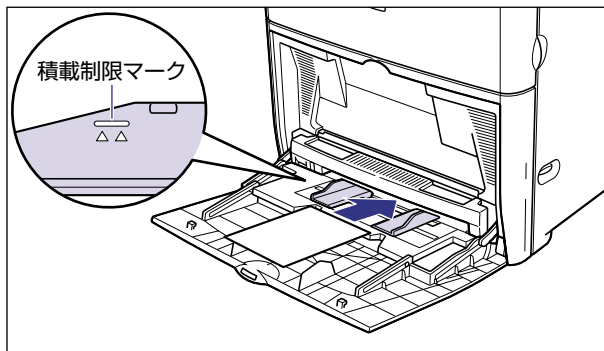
給紙トレイには、官製ハガキ、官製往復ハガキをセットできます。ハガキを給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- ハガキにプリントする場合は、周囲 5mm にはプリントできません。
- 往復ハガキは、必ず折り目の付いていないものをご使用ください。

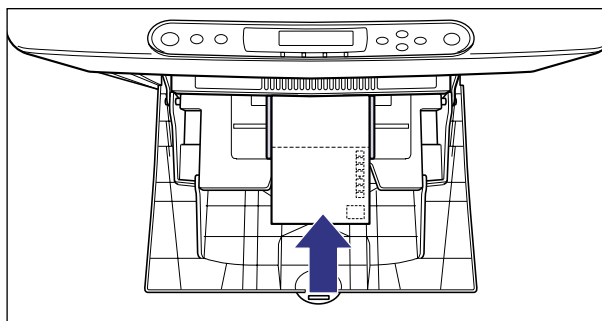
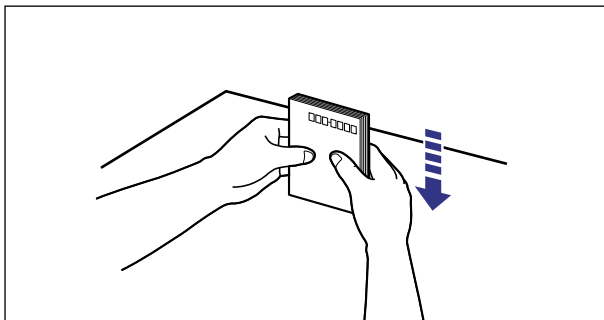
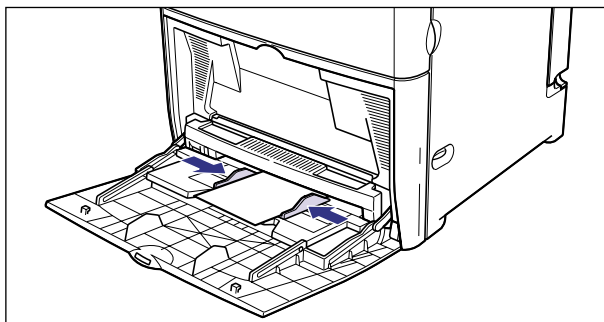
1 給紙トレイを開けます。

給紙トレイはプリンタ中央の取っ手を持って開けます。

重要
- 給紙トレイを開けるとき、プリンタの前に障害物がないことを確認してください。
- 給紙トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

3 ハガキを給紙トレイにセットします。

ハガキをセットするときは、プリントする面を下にして、ハガキの上端が奥になるようにセットします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

- 給紙トレイには、ハガキを約 50 枚までセットできます。ハガキ束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- 往復ハガキにプリントするときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：WindowsNT 4.0/2000/XP の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）

- 裁断状態が悪いハガキを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、ハガキを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

4 **用紙ガイドをスライドさせて、ハガキの左右にぴったりと合わせます。**

重要

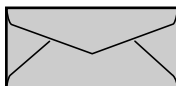
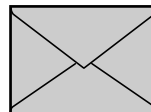
- 必ず用紙ガイドをハガキの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は、給紙トレイのハガキに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください（→ P.3-46）。

封筒をセットする

給紙トレイには、洋形 4 号、洋形 2 号の封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

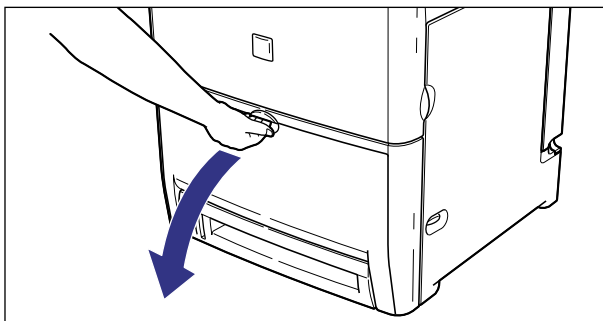
重要
- セットできる封筒は、次のような構造のものに限ります。

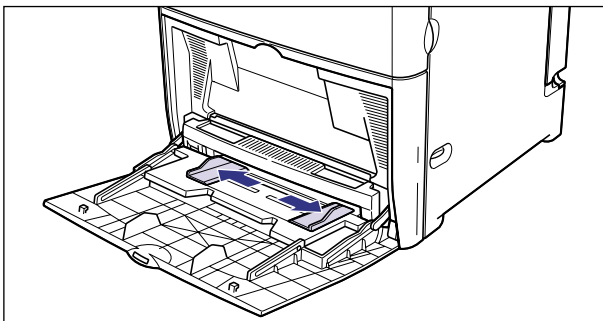
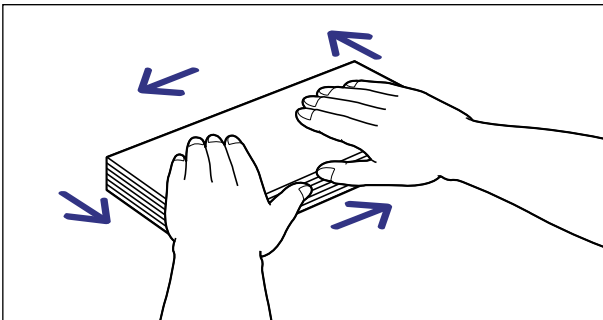
洋形4 号（105mm×235mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

洋形2号（114mm×162mm）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）

※短辺にふたが付いているものは使用できません。

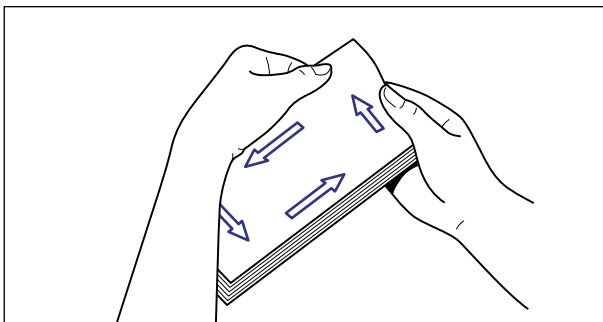
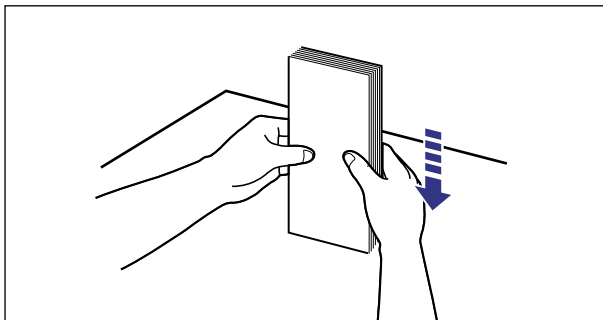
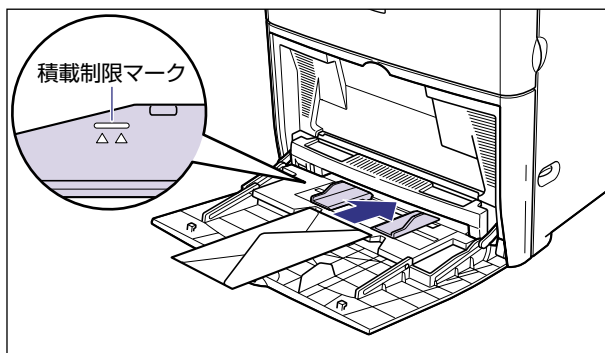
- 糊付きの封筒は使用しないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。
- 封筒にプリントする場合は、 周囲 10mm にはプリントできません。

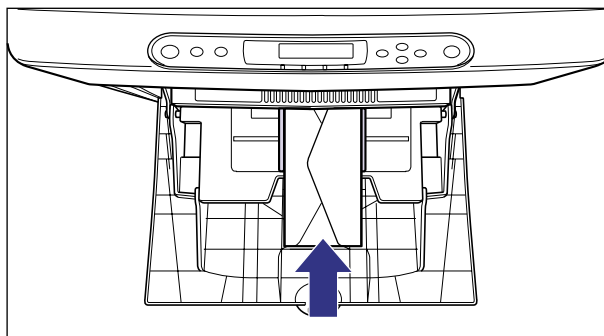
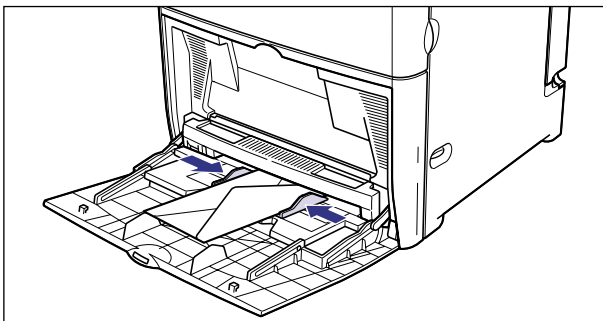
メモ
- 封筒にプリントした場合、裏面にフラップ部や貼り合わせのある部分の画像がかすれたり、封筒の後端が汚れる場合があります。
- 封筒にプリントした場合、 しわがよる場合があります。

1 給紙トレイを開けます。

給紙トレイはプリンタ中央の取っ手を持って開けます。

重要
- 給紙トレイを開けるとき、 プリンタの前に障害物がないことを確認してください。
- 給紙トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、 無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

3 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

4 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

5 封筒を平らな場所で揃えます。

6 封筒の宛名を書く面を下向きにして、図のように奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

重要

- 給紙トレイには、封筒を約 10 枚までセットできます。封筒束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- ふたが右側になるようにセットしてください。

7 用紙ガイドをスライドさせて、封筒の左右にぴったりと合わせます。

重要
- 必ず用紙ガイドを封筒の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は、給紙トレイの封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因となります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください（→次項目）。

給紙トレイの用紙サイズを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙トレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒は、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザペーパー」に設定します。給紙トレイの用紙サイズ設定は、工場出荷状態で「A4」に設定されています。
給紙トレイの用紙サイズの設定は、次の手順で行います。

重要
- 用紙サイズの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 定形外の用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「ユーザペーパー」に設定してプリントしてください。
- 給紙トレイにセットする用紙を頻繁に変更する場合は、「トレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「トレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、異なるサイズの用紙をセットするたびに「トレイ用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、この場合、給紙トレイにセットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してからプリントしてください。
- トレイ用紙サイズを「フリー」に設定した場合、プリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が異なっていると、「41 プリントチェック」のメッセージが表示されてプリントが中断されることがあります。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。ただし、「特殊モード J」を「ツカウ」に設定した場合、プリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が異なる場合でもプリントチェックを行わずにプリントします。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

メモ　次の用紙は、略号で表示されます。
リーガル：LG、レター：LT、エグゼクティブ：EX、洋形２号封筒：Y２、洋形４号封筒：Y4、往復ハガキ：HG2、ハガキ：HG、ユーザペーパー：80～99、フリー：FR

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［セットアップ］を押します。

3 ［◀］、［▶］で「キュウシ」を選択し、［実行］を押します。

4 ［◀］、［▶］で「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、［実行］を押します。

5 ［◀］、［▶］で用紙のサイズを選択し、［実行］を押します。

用紙サイズの左に「＝」が表示され、給紙トレイの用紙サイズが設定されます。

6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

次に給紙トレイの用紙タイプを設定してください（→次項目）。

給紙トレイの用紙タイプを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせて操作パネルから「トレイ　ヨウシ　タイプ」を設定します。用紙タイプに合わせて、最適な印刷モードでプリントされます。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。

給紙トレイの用紙タイプの設定は、次の手順で行います。

用紙の種類	共通セットアップメニュー 「トレイ　ヨウシ　タイプ」設定値
普通紙（64～105g/m²）	フツウシ
厚紙（106～135g/m²）	アツガミ
OHPフィルム	OHP
ラベル用紙	アツガミ

重要

- 用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 封筒の場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「フウトウ Y4」または「フウトウ Y 2」に設定すると、自動的に封筒の印字モードでプリントされます（→ P.3-46）。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。
- ハガキの場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「ハガキ」または、「往復ハガキ」に設定すると、自動的にハガキの印字モードでプリントされます（→ P.3-46）。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。
- 実際に給紙トレイにセットする用紙のタイプと「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。
- 「トレイ　ヨウシ　タイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず、プリンタドライバで設定した用紙タイプと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 [セットアップ] を押します。

3 [◀]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[実行] を押します。

4 [◀]、[▶] で「トレイ　ヨウシ　タイプ」を選択し、[実行] を押します。

5 [◀]、[▶] で用紙のタイプを選択し、[実行] を押します。

用紙タイプの左に「=」が表示され、給紙トレイの用紙タイプが設定されます。

6 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

Windows やMacintoshのプリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバを設定してください（→次項目）。
DOS や UNIX などからプリントする場合は、「デフォルト　ヨウシ　サイズ」および「デフォルト　ヨウシ　タイプ」の設定を操作パネルで行ってください。

プリンタドライバを設定する

給紙トレイの用紙にプリントするときは、プリンタドライバの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］にセットした用紙サイズ、［給紙］ページの［給紙部］に［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］に用紙の種類に合わせて下記の設定値を選択します。

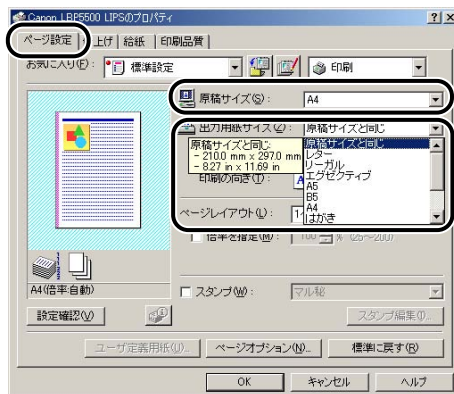
用紙の種類	「用紙タイプ」設定値
普通紙（64～105g/m²）	普通紙
厚紙（106～135g/m²）	厚紙
OHPフィルム	OHPフィルム
ラベル用紙	厚紙

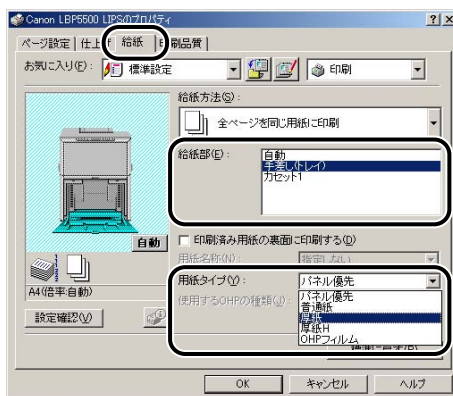
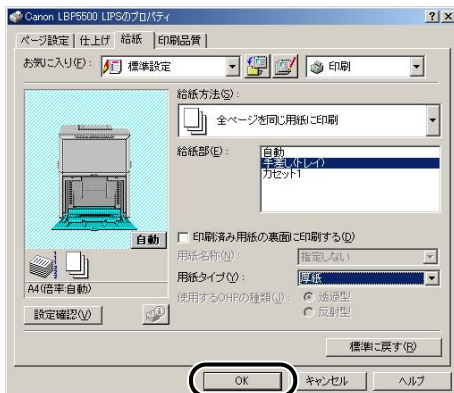
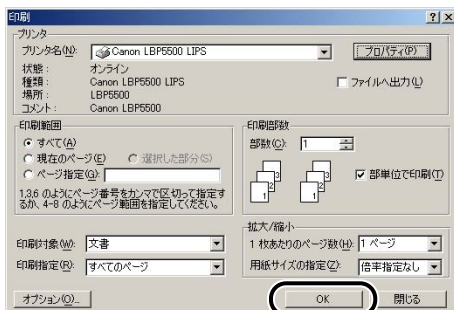
プリンタドライバの設定は、Windows 2000/XP 用プリンタドライバ Version10.2 を例に記載しています。

「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

1 **アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

3 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］で用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］には、厚紙とラベル用紙の場合は［厚紙］、OHP フィルムの場合は［OHP フィルム］を選択してください。

4 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

OHP フィルムにプリントする

OHP フィルムにプリントするときは、次の操作や設定をすべて行ってください。

■ **給紙トレイに用紙をセットする（→ P.3-54）**
本プリンタ専用の「キヤノン カラーレーザ OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」を給紙トレイにセットします。

■ **用紙のサイズとタイプを設定する（→ P.3-57）**
セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「トレイ　ヨウシ　サイズ」＝「A4」
- 「トレイ　ヨウシ　タイプ」＝「OHP」

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントするときは、「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定の他に、次の設定も行ってください。

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「デフォルト　ヨウシ　サイズ」＝「A4」
- 「デフォルト　ヨウシ　タイプ」＝「OHP」

■ **OHP フィルムの印刷モードを設定する（→ P.3-59）**
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントするときは、次の設定を行います。プリンタドライバをご使用の場合は、プリンタドライバで設定を行うため、操作パネルでの設定は必要ありません。

セットアップメニューの「インジチョウセイ」グループ

- 透過型プロジェクタを使用する場合
  - ･「OHP　タイプ」＝「トウカガタ」
- 反射型プロジェクタを使用する場合
  - ･「OHP　タイプ」＝「ハンシャガタ」

■ **プリンタドライバを設定する（→ P.3-60）**
プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

［ページ設定］ページ

　［出力用紙サイズ］＝「A4」

［給紙］ページ

　［用紙タイプ］＝［OHP フィルム］

　［給紙部］＝［手差し（トレイ）］

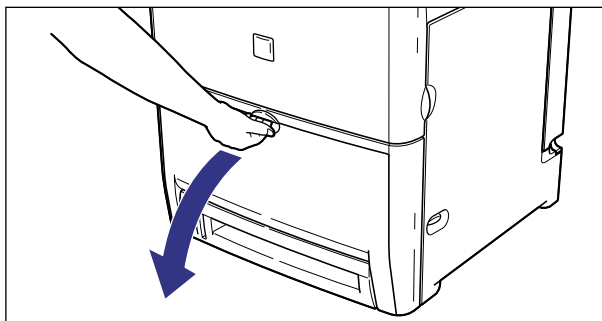
　［使用する OHP の種類］＝［透過型］または［反射型］

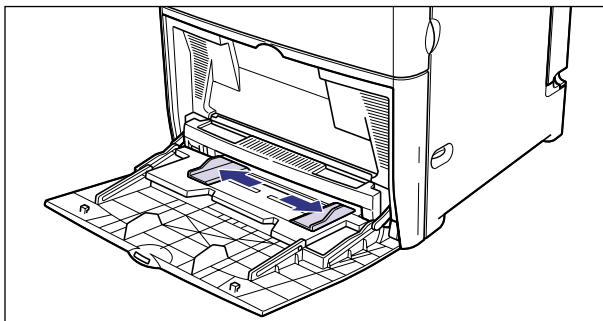
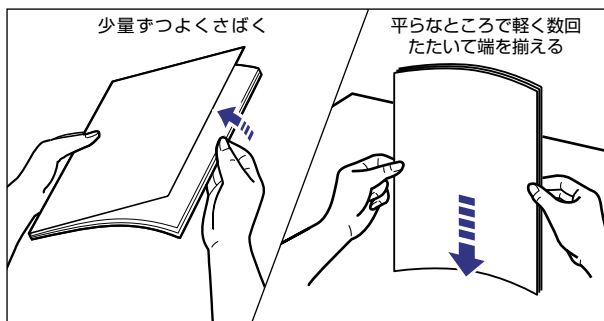
重要
- 「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンドライバの設定値に変更され、プリントを継続することができます。
- OHP用紙TR-3 A4は、LBP-2160/2040/2050/2200/2260/2260PS/2260PSII/2300/2360/2410/2510/2710/2810およびLBP5500/5700/5800専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。
- LBP-2030用OHP用紙（キヤノン カラーレーザ OHP用紙 T-H1 A4、T-H1 LTR）やCLC用OHP、モノクロプリンタ用OHP（キヤノン国内LBP用トランスペアレンシー）など、指定以外のOHPフィルムは、本プリンタでは使用できません。万一使用すると、プリンタ内部の定着器の故障や画質低下の恐れがあります。
- 普通紙を連続してプリントしたあとに、OHPフィルムをプリントすると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。
- プリントしたOHPフィルムをプロジェクタに置いたとき、OHPフィルムが反ってしまうことがあります。このような場合は、以下のいずれかの処置をしてください。
  - ･アプリケーションソフトで上下の余白を十分にとってプリントする
  - ･投影時にOHPフィルムを「OHPフィルムホルダー」にはさむ
  - ･セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「OHPフィルム　キョウゾウ」を「スル」に設定してプリントする（→ LIPS 機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

給紙トレイに用紙をセットする

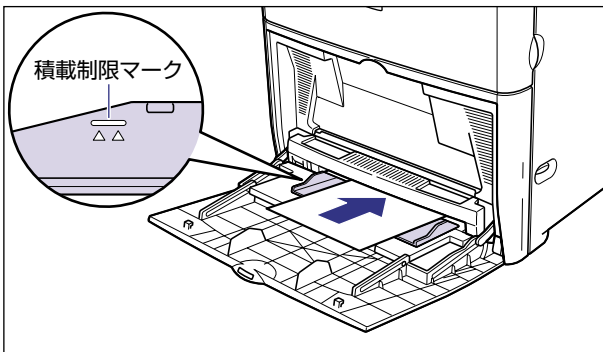
OHPフィルムをセットするときは、次の手順でセットします。

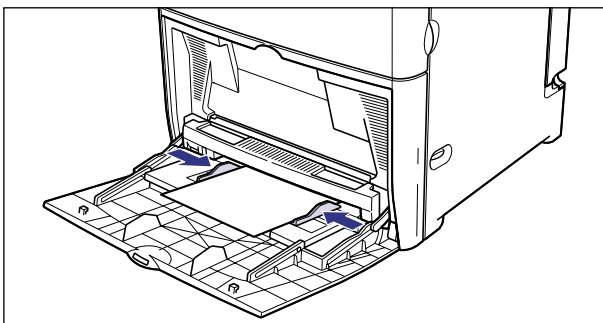
1 給紙トレイを開けます。

給紙トレイはプリンタ中央の取っ手を持って開けます。

重要
- 給紙トレイを開けるとき、プリンタの前に障害物がないことを確認してください。
- 給紙トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

3 用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムは、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、フィルムが重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

4 用紙のプリント面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

重要　給紙トレイには、OHP フィルムを約 50 枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。

5 用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

重要
- 必ず用紙ガイドを OHP フィルムの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- 未開封の OHP フィルムは、温度範囲：0 ～ 40 ℃、湿度範囲：35 ～ 90 %で保管してください。
- 使いかけの OHP フィルムは放置せず、必ず元のパッケージに入れて保管してください。
- プリント中は、給紙トレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

用紙のサイズとタイプを設定する

操作パネルで「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」を次のように設定します。

用紙の種類	「トレイ　ヨウシ　サイズ」	「トレイ　ヨウシ　タイプ」
OHPフィルム	A4	OHP

重要

- 「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 実際に給紙トレイにセットする用紙のタイプと「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［セットアップ］を押します。

3 ［◄］、［►］で「キュウシ」を選択し、［実行］を押します。

4 ［◄］、［►］で「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、［実行］を押します。

5 [◀]、[▶] で「A4」を選択し、[実行] を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙トレイの用紙サイズが設定されます。

6 [◀]、[▶] で「トレイ　ヨウシ　タイプ」を選択し、[実行] を押します。

7 [◀]、[▶] で「OHP」を選択し、[実行] を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙トレイの用紙タイプが設定されます。

8 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

Windows や Macintosh のプリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバを設定してください（→ P.3-60）
DOS や UNIX などからプリントする場合は、「デフォルト　ヨウシ　サイズ」および「デフォルト　ヨウシ　タイプ」の設定を操作パネルで行った後、「OHP　タイプ」の設定を次項目で行ってください。

OHP フィルムの印刷モードを設定する

操作パネルで「OHP　タイプ」を次のように設定します。

プロジェクタの種類	「OHP　タイプ」
透過型OHP	トウカガタ
反射型OHP	ハンシャガタ

メモ　この設定は、DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントするときのみ行います。プリンタドライバをご使用の場合は、プリンタドライバで設定を行うため、操作パネルでの設定は必要ありません。

1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 [セットアップ] を押します。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

3 [◀]、[▶] で「インジ　チョウセイ」を選択し、[実行] を押します。

インジ チョウセイ
データショリ →

4 [◀]、[▶] で「OHP　タイプ」を選択し、[実行] を押します。

OHP タイプ
=トウカガタ →

5 ［◄］、［►］で印刷モードを選択し、［実行］を押します。

透過型プロジェクタの場合は［トウカガタ］、反射型プロジェクタの場合は［ハンシャガタ］を選択してください。

用紙サイズの左に「＝」が表示され、印刷モードが設定されます。

6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

プリンタドライバを設定する

プリンタドライバの［ページ設定］ページで［出力用紙サイズ］、［給紙］ページで［給紙部］、［用紙タイプ］、［OHP の種類］を次のように設定して印刷を実行します。

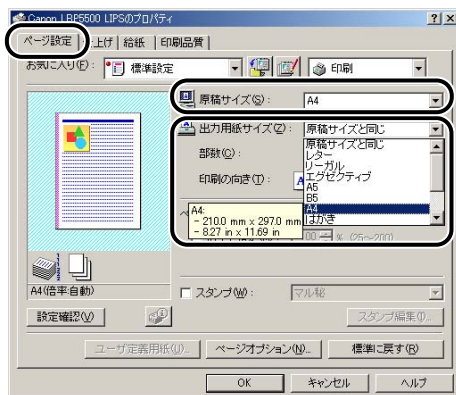
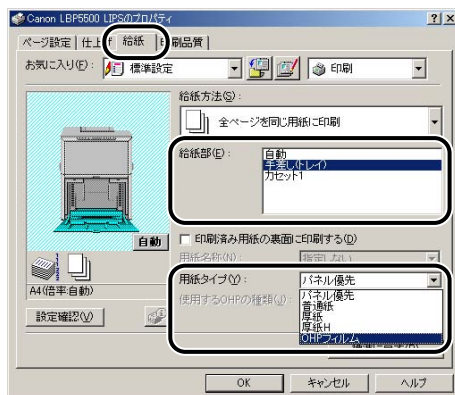
用紙の種類	ページ設定ページ	給紙ページ		
	出力用紙サイズ	給紙部	用紙タイプ	使用するOHPの種類
OHPフィルム	A4	手差し（トレイ）	OHPフィルム	透過型または反射型

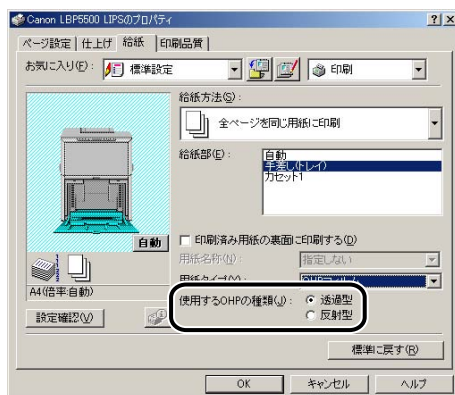
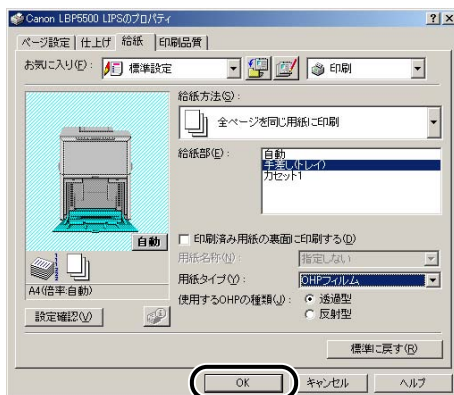
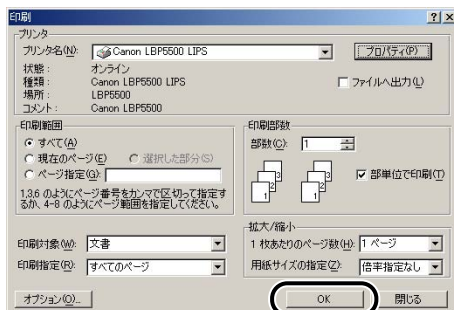
プリンタドライバの設定は、Windows 2000/XP 用プリンタドライバ Version10.2 を例に記載しています。

「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］で［A4］を選択します。

3 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］で［OHP フィルム］を選択します。

4 ［使用する OHP の種類］で使用するプロジェクタの種類に合わせて OHP の印刷モードを選択します。

透過型プロジェクタの場合は［透過型］、反射型プロジェクタの場合は［反射型］を選択してください。

5 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

6 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

両面にプリントする

本プリンタは標準で両面プリントすることができます。使用できる用紙は、A4、B5、リーガル、レター、エグゼクティブの用紙です。

重要

- 定形外の用紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙、ハガキ、封筒には、自動両面プリントできません。定形外の用紙や厚紙、ハガキを両面プリントするときは、手動で行ってください。
- 両面プリントの設定をした状態で、奇数ページのジョブをプリントするときの最終ページのプリント面は、「特殊両面処理」（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）の設定や給紙元によって、以下のようになります。
  - ･給紙カセットからプリントする場合
    「特殊両面処理」を「スル」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。
    「特殊両面処理」を「シナイ」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
  - ･給紙トレイからプリントする場合
    「特殊両面処理」を「スル」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
    「特殊両面処理」を「シナイ」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。
  - ･プレプリント紙など用紙の向きや表裏のある用紙にプリントするとき、最終ページの用紙の向きや表裏を前ページと合わせたいときは、「特殊両面処理」を「シナイ」に設定してください。
- 両面プリント中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面プリント中は表面をプリントしたあと一度途中まで排紙され、裏面をプリントするために再度給紙されます。

メモ

プリンタの RAM 容量が標準（メインメモリ 32MB、グラフィックメモリ 32MB）で印字動作が「ジドウ」（工場設定値）の場合、両面プリントは可能ですが、罫線が多い文書や複雑なグラフィックデータのある文書を両面プリントする場合には、印字品質が低下することがあります。その場合は、印字動作の設定を変更したり、拡張 RAM を増設する必要があります。詳細については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

両面プリントと片面プリントを切り替える

両面プリントするときは、次の手順で行います。

■ Windows からプリントする場合

両面プリントをするときは、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［印刷方法］を［両面印刷］に設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合
両面プリントをするときは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで設定します。
プリンタの操作パネルで両面プリントと片面プリントを切り替えるときは、次の手順で行います。

1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 [セットアップ] を押します。

3 [◀]、[▶] で「キュウシ」を選択し、[実行] を押します。

4 [◀]、[▶] で「リョウメン　インサツ」を選択し、[実行] を押します。

5 ［◄］、［►］で「スル」を選択し、［実行］を押します。

「スル」の左に「＝」が表示され、両面印刷が設定されます。

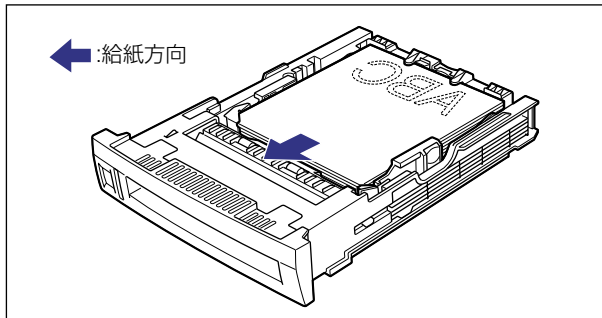
6 ［オンライン］を押します。

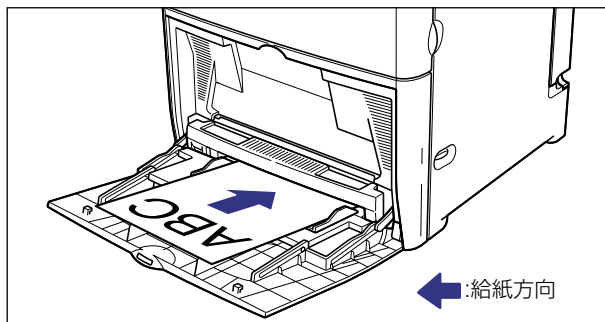
オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

自動両面プリント時の用紙のセットのしかた

両面プリントでは、裏面からプリントされますので、用紙をセットする向きが片面プリントのときと異なります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙にプリントするときは次のように用紙をセットします。

給紙カセットから給紙する場合

用紙の表面を下向きにし、用紙の上端が奥になるようにセットします。

給紙トレイから給紙する場合

用紙の表面を上向きにし、用紙の上端が手前になるようにセットします。

手動で両面にプリントする

本プリンタは、裏面にプリント済みの用紙にも対応しており、自動両面プリントできない用紙にも両面プリントすることが可能です。プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバや操作パネルで設定が必要です。

重要
- 本プリンタで一度プリントした用紙の裏面にプリントする場合は、必ず「手差し両面」を「2 メンメ」に設定してプリントしてください。
- ハガキに両面プリントする場合、裏面（文書側の面）から先に「手差し両面」を「1 メンメ」に設定してプリントし、次に表面（宛名側の面）を「2 メンメ」に設定してプリントしてください。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ Windows からプリントする場合

プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバの［給紙］ページで［印刷済み用紙の裏面に印刷する］をチェックします。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルから「手差し両面」を「2 メンメ」に設定します。
プリンタの操作パネルで裏面の設定をするには、次の手順で行います。

1 **［オンライン］を押します。**

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 [セットアップ] を押します。

3 [◄]、[►] で「キュウシ」を選択し、[実行] を押します。

4 [◄]、[►] で「テザシ リョウメン」を選択し、[実行] を押します。

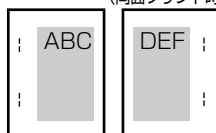
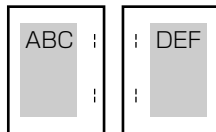
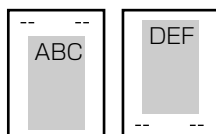
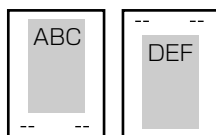
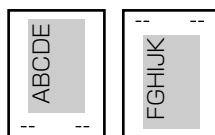
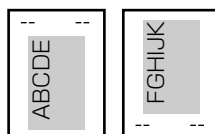
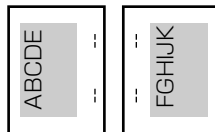
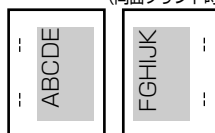
5 [◄]、[►] で「2 メンメ」を選択し、[実行] を押します。

「2 メンメ」の左に「=」が表示され、裏面プリントが設定されます。

6 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

とじ代を付けてプリントする

用紙の端にとじ代用の余白を付けてプリントすることができます。とじ代を付けるときは、付ける位置（長手方向または短手方向）ととじ幅（最大 30 mm）を指定します。

重要　とじ代を設定した結果、用紙の印字可能領域を超えた部分はカットされます。

メモ
- プリンタドライバの場合、（＋）、（－）方向の設定はとじ位置の選択で行います。
- 両面プリントの場合、表裏のとじ位置を自動的に合わせます。
- 縦補正、横補正の設定はとじ幅の設定に関係なく有効です。このため、両面プリントで縦補正、横補正が設定されている場合、表裏のとじ代がずれることがあります。

とじ代を設定する

とじ代を設定するときは、次の手順で行います。

■ Windows からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［とじ方向］と［とじ代指定］を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでとじ代を設定します。

プリンタの操作パネルでとじ代を設定するときは、次の手順で行います。

1 [オンライン]を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 [セットアップ]を押します。

3 [◀]、[▶]で「レイアウト」を選択し、[実行]を押します。

4 [◀]、[▶]で「トジ　ホウコウ」を選択し、[実行]を押します。

とじ方向の設定値が表示されます。

5 ［◀］、［▶］で目的のとじ方向を選択し、［実行］を押します。

選択したとじ方向が設定されます。

6 ［◀］、［▶］で「トジ　ハバ」を選択し、［実行］を押します。

とじ幅の設定が表示されます。

7 ［◀］、［▶］で目的の数値を選択し、［実行］を押します。

数値は、［◀］または［▶］を押すたびに 0.5 mm 単位で変化します。

選択した数値がとじ幅に設定されます。

8 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

4
CHAPTER

日常のメンテナンス

この章では、カートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

カートリッジを交換する

カートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

「トナー　チェック / コウカン」が表示されたときは

カートリッジは消耗品です。カートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
00 LIPS　A4 16 X トナー チェック (XはK、M、Y、C)	カートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・表示された色の新品のカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、カートリッジを交換することをおすすめします
16 X トナー コウカン (XはK、M、Y、C)	カートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すとプリントは継続できます ・表示された色の新品のカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、カートリッジを交換することをおすすめします
1G X トナー コウカン (XはK、M、Y、C)	カートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止し、継続してプリントすることはできません ・表示された色のカートリッジを新品のカートリッジに交換してください

＊ トナーが少なくなったときに「16　X　トナー　チェック」と「16　X　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　X　トナー　チェック」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

＊ メッセージの"K"はブラック、"M"はマゼンタ、"Y"はイエロー、"C"はシアンの各カートリッジを表しています。

重要　印字がかすれたり、印字むらが出るときは、「16　X　トナー　チェック」や「16　X　トナー　コウカン」メッセージが表示されなくても、カートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のカートリッジと交換してください。交換の際は、必ず本プリンタ専用のカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正カートリッジ
LBP5500	EP-85 カートリッジ（ブラック） EP-85 カートリッジ（シアン） EP-85 カートリッジ（イエロー） EP-85 カートリッジ（マゼンタ）

メモ

- 本プリンタ用カートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。この枚数は下記の条件での枚数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、連続／片面プリント
  ・EP-85 カートリッジ（ブラック）：　約 9,000 枚
  ・EP-85 カートリッジ（マゼンタ、イエロー、シアン）：　約 8,000 枚

- 間欠プリント（間隔をおいたプリント）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面プリントなど、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
- 印字比率が低くトナーの消費量が少ない場合、カートリッジの寿命が短くなることがあります。また、カラープリントの場合は、複数色のカートリッジが同時に寿命になることもあります。
- モノクロプリントした場合でも、プリンタの構造上、マゼンタ、イエロー、シアンのカートリッジの寿命に影響することがあります。

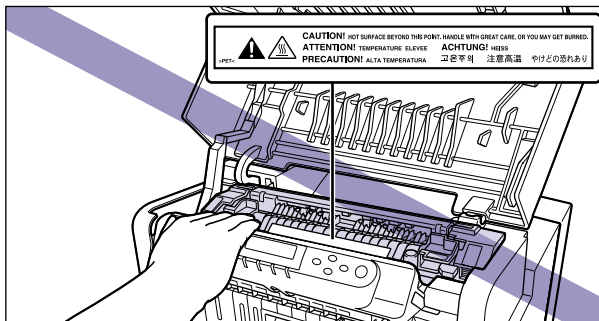
カートリッジの交換

次のメッセージが表示されたときは、表示された色のカートリッジを新品のカートリッジに交換してください。

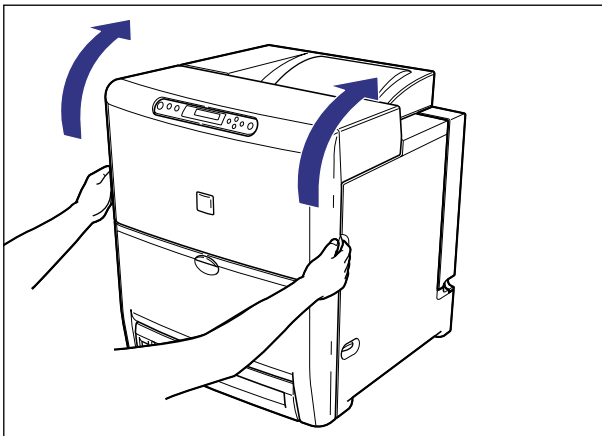
- 「1G　K　トナー　コウカン」・・・ブラックのカートリッジを交換します
- 「1G　M　トナー　コウカン」・・・マゼンタのカートリッジを交換します
- 「1G　Y　トナー　コウカン」・・・イエローのカートリッジを交換します
- 「1G　C　トナー　コウカン」・・・シアンのカートリッジを交換します

警告　使用済みのカートリッジを火中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

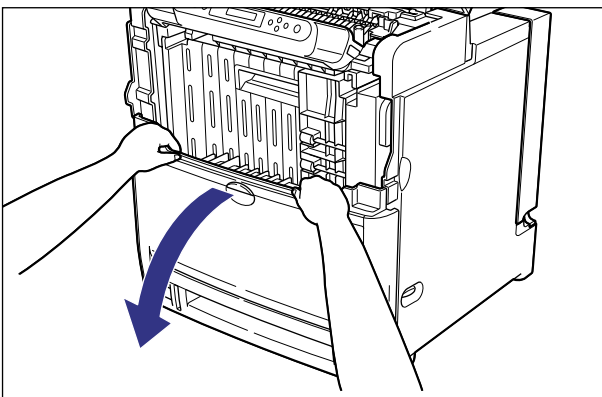
注意

- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

重要　必ず本プリンタ専用のカートリッジを使用してください。

1 前上カバーを開けます。

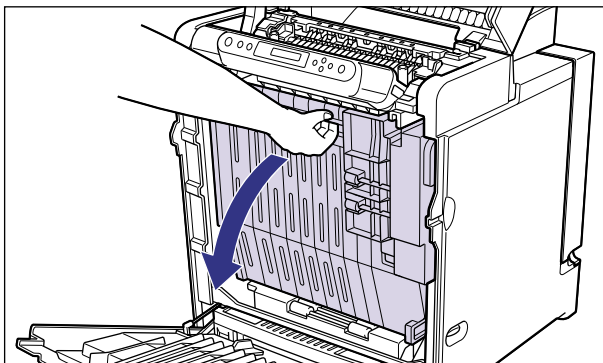
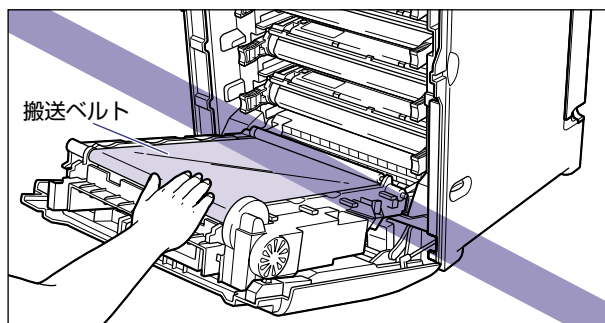
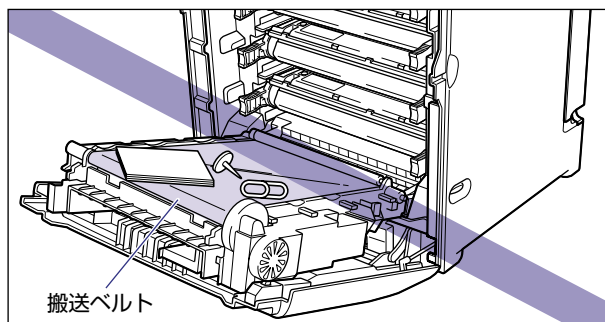
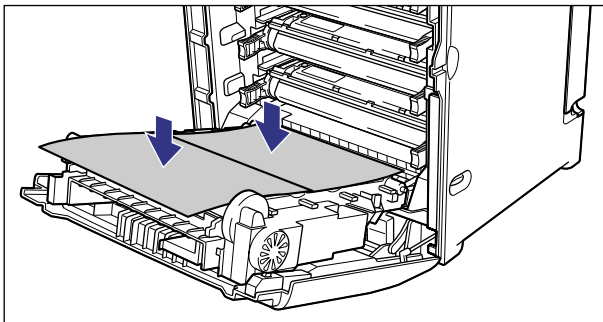
前上カバーは左右の取っ手を両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要　以降の作業は前上カバーを開けた状態で行います。不用意に前上カバーに触れて、前上カバーが閉まらないように気を付けてください。

2 前下カバーを開けます。

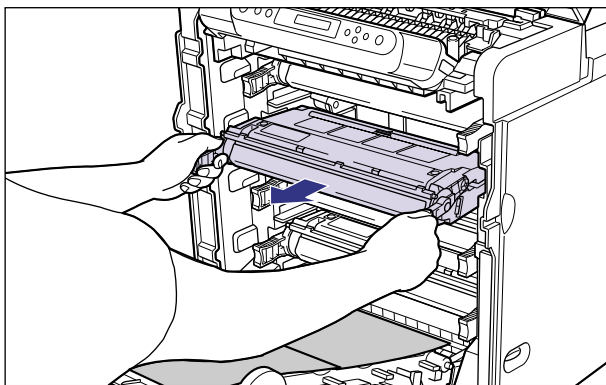
前下カバーは、両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要　前下カバーを開けるとき、プリンタの前に障害物がないことを確認してください。

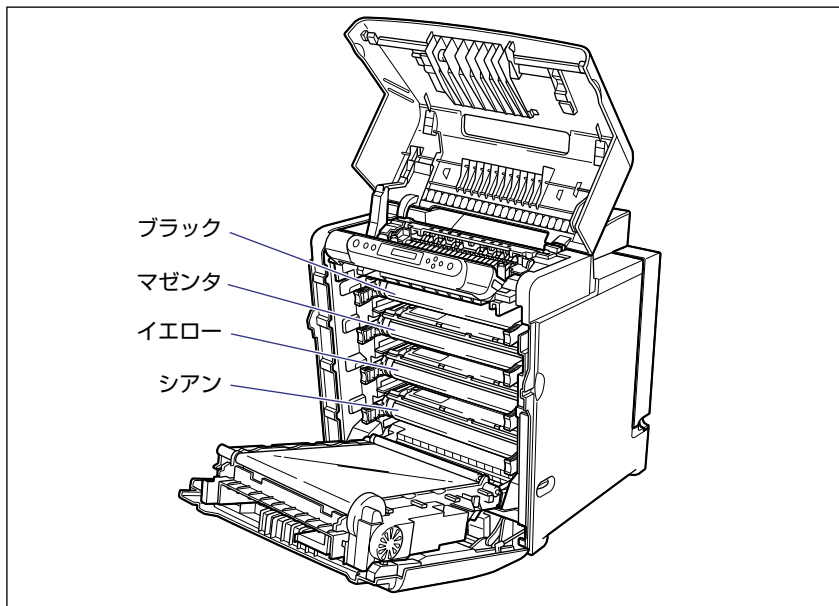
3 ETBユニット中央部の緑色の取っ手を持って、ETBユニットを開けます。

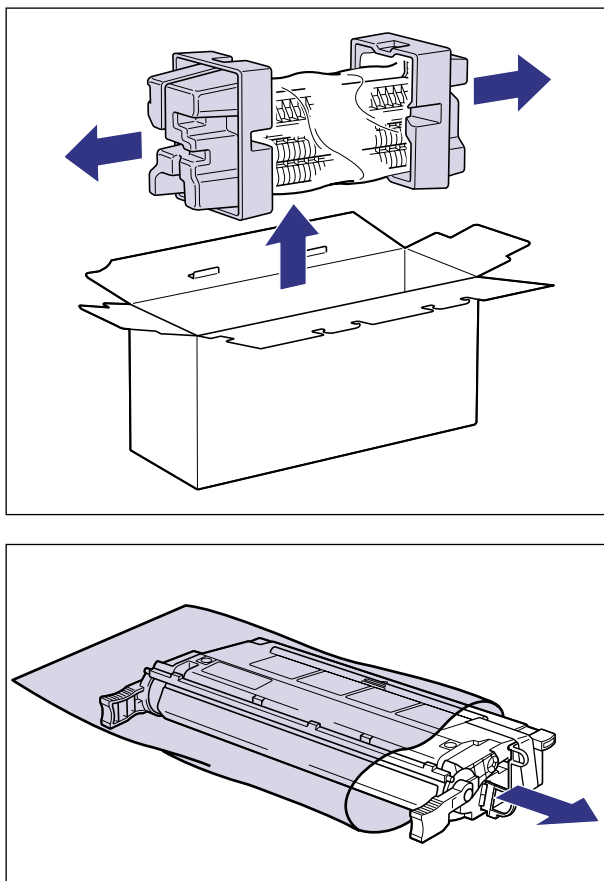
ETB ユニットはゆっくりと強く引いて、止まるまでいっぱいに開けます。

重要

- ETB ユニットは完全に下まで開けてください。
- ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたりしないでください。また、ETB ユニットの搬送ベルトは自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、 給紙不良や印字品質の低下の原因になります。

4 ETB ユニットの搬送ベルトの上に、図のようにご使用の用紙（A4 サイズの用紙を推奨）を置きます。

重要　カートリッジを着脱するときは、ETB ユニットの搬送ベルトを保護するため、必ず用紙を搬送ベルトの上に置いて作業を行ってください。

5 交換する色のカートリッジの左右の取っ手を持ち、水平に引き抜きます。

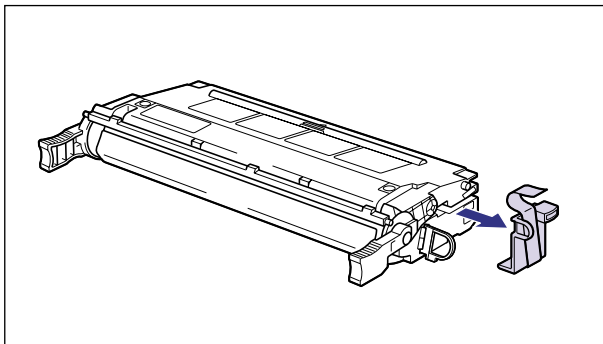
カートリッジは約 1.4kg ありますので、しっかりと両手で持って ETB ユニットの搬送ベルトに触れないように引き抜きます。

重要

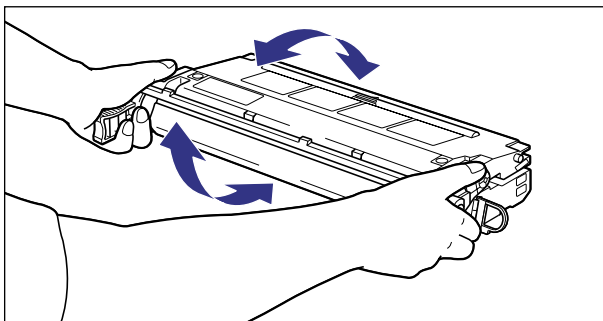
カートリッジは、上からブラック、マゼンタ、イエロー、シアンの順に取り付けられています。

6 新しいカートリッジを箱から出し保護袋から取り出します。

保護袋はカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

重要

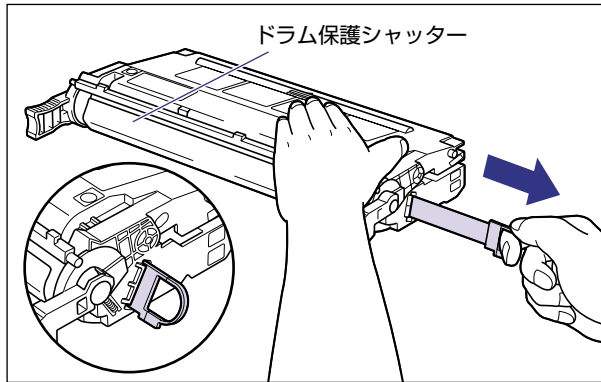
- カートリッジを取り付ける準備ができるまで、カートリッジは箱に入れておいてください。
- カートリッジが入っていた保護袋と梱包されていた箱は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、カートリッジを取り出すときに必要になります。

7 テープと保護カバーを取り外します。

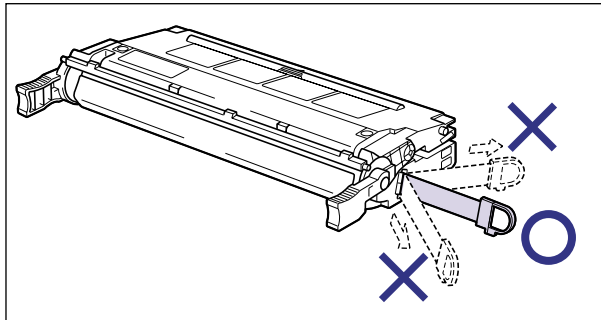
保護カバーはテープと一緒に取り外します。

重要　取り外した保護カバーは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、カートリッジを取り出すときに必要になります。

8 カートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５ ～６ 回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- カートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

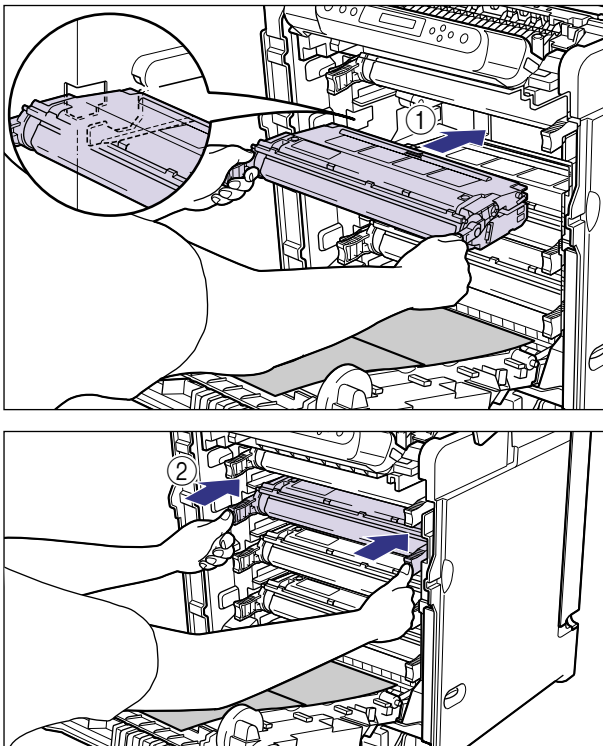
9 カートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約50cm）をゆっくりと引き抜きます。

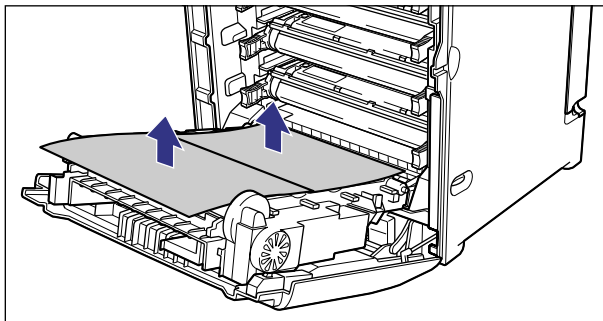
シーリングテープは、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

⚠注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

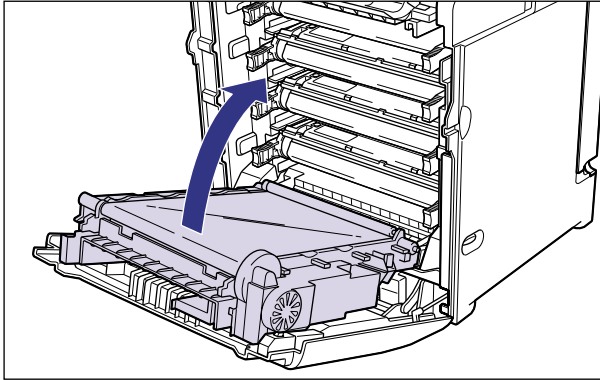
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

10 カートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

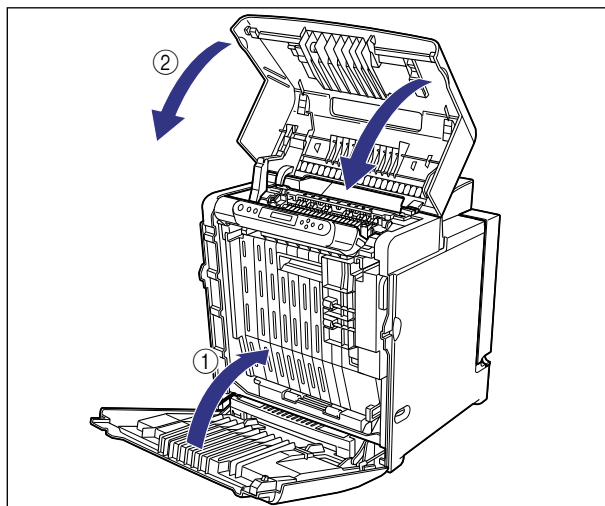
各色のカートリッジを同じ色のラベルが貼られているスロットに合わせて止まるまで差し込みます ①。さらにしっかりと奥まで、図のように押し込みます ②。

重要　カートリッジはしっかりと奥まで押し込んで取り付けてください。カートリッジが確実に取り付けられていないと印字品質が低下します。

11 用紙を取り除きます。

重要　用紙を取り除くときに、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたり、傷をつけないように気を付けてください。

12 ETB ユニットを閉めます。

ETB ユニットは、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

重要
- ETB ユニットは必ず取っ手を持って閉めてください。
- カートリッジを取り付けたあと、ETB ユニットを開けたまま長時間放置しないでください。

13 前下カバーを閉め ①、前上カバーを閉めます ②。

前上カバーは左右の取っ手を両手で持ってゆっくりと確実に閉めます。

カバーを閉めると自動的にキャリブレーションが実行されます。キャリブレーションの実行中は、印刷可ランプとオンラインランプが点滅します。
キャリブレーションが終了すると、ディスプレイに「00　LIPS」と表示されます。

カバーを閉めてもキャリブレーションが実行されない場合は、電源をいったんオフにし、10秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。キャリブレーションが実行されます。

使用済みカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

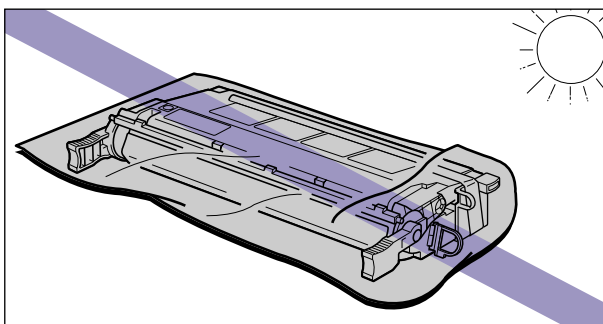
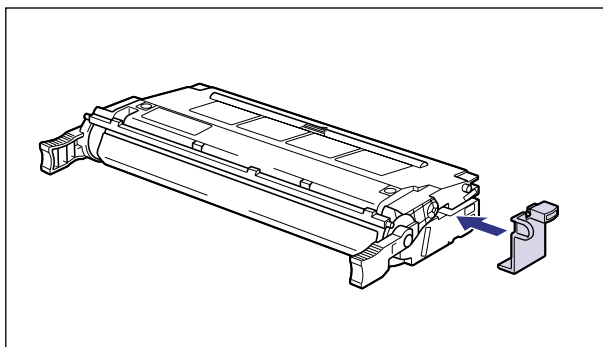
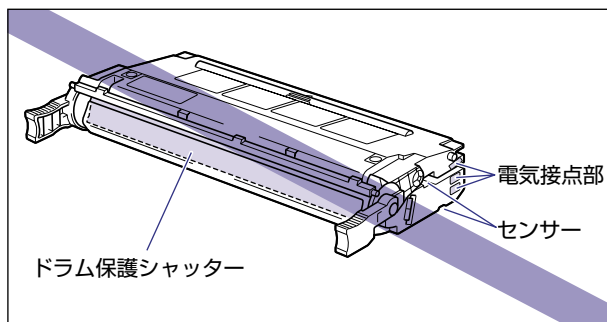
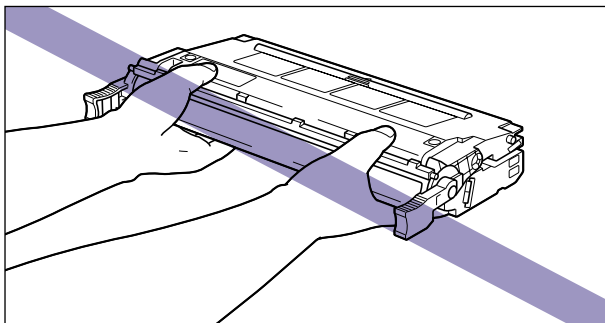
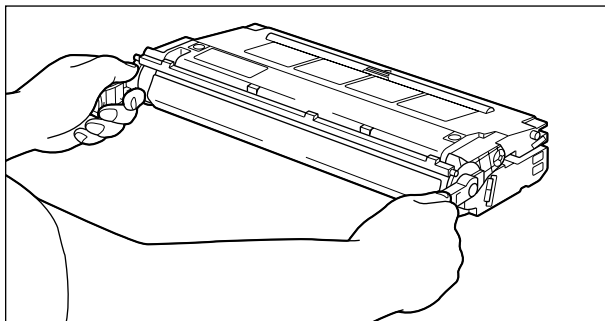
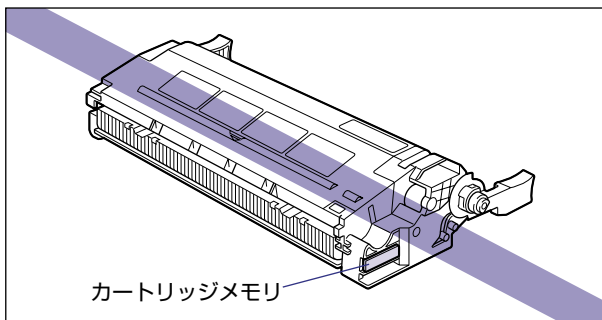
キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

カートリッジの取り扱いのご注意

カートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。カートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

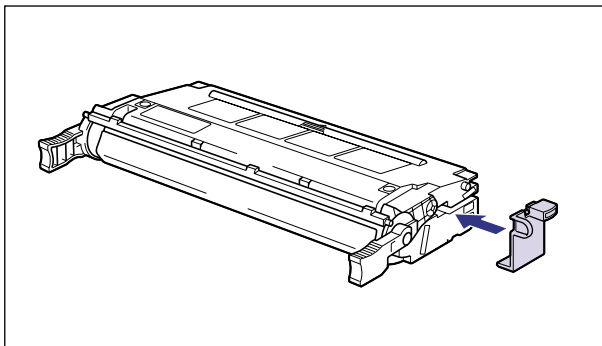
警告 使用済みのカートリッジを火中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- カートリッジを交換するときは、必ず同じ色のカートリッジに交換してください。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。保護カバーが付けられ、保護袋に入っている状態でも直射日光や強い光には当てないでください。

- カートリッジをディスプレイやパソコンなど、磁気を発生する装置に近づけないでください。
- メンテナンスなどのためにカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかに保護カバーを取り付け、カートリッジが入っていた保護袋に入れ、カートリッジが梱包されていた箱に入れてください。梱包されていた箱がないときは、適した大きさの段ボールに入れて、光が当たらないようにしてください。

- 内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、電気接点部やセンサーなど指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- カートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- カートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- カートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに1時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。

カートリッジの保管について

交換用にお求めになったカートリッジや、修理や移動時に取り出したカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要
- 新品のカートリッジは、実際に使用するときまで梱包されている箱から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のカートリッジを取り出したときは、すみやかに保護カバーを取り付け、カートリッジが入っていた保護袋に入れ、カートリッジが梱包されていた箱に入れて保管してください。梱包されていた箱がないときは、適した大きさの段ボールに入れて、光が当たらないようにしてください。

- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。

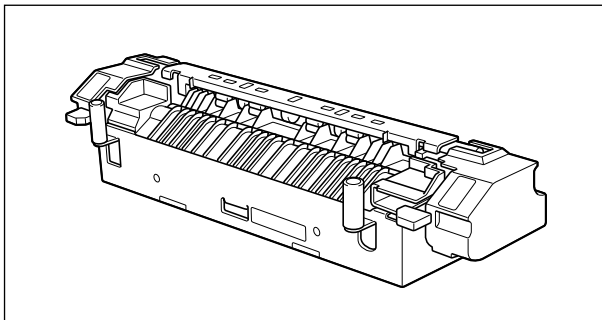
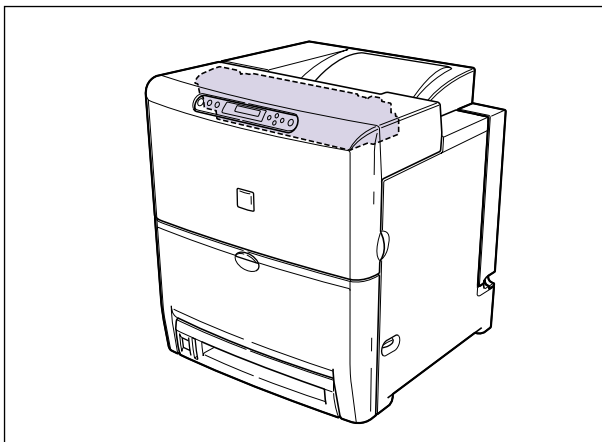
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲： 35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露は、カートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

定着器を交換する

定着器の交換方法について説明しています。

■ 定着器（FUSER KIT UM-85F）

■ 定着器の取り付け位置

「テイチャクキ　ヨコク」が表示されたときは

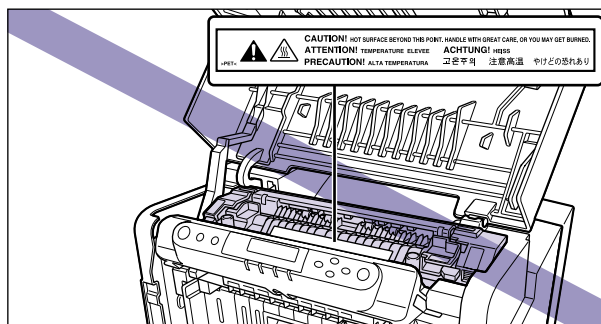
定着器のカウンタが規定値になると、ディスプレイに「E5　テイチャクキ　ヨコク」のメッセージが表示されます。そのままでもプリントすることはできますが、トナーの定着性が悪くなるなど印字品質が低下してきます。「E5　テイチャクキ　ヨコク」が表示され印字品質が低下したときは、新しい定着器への交換をおすすめします。定着器は定期交換部品ですが、お客様での交換が可能です。交換の際は、本プリンタをお買い求めの販売店などで、「FUSER KIT UM-85F」をお買い求めください。

メモ　本プリンタ用の定着器の寿命は、A4/レターの片面印刷をした場合で約150,000ページです。

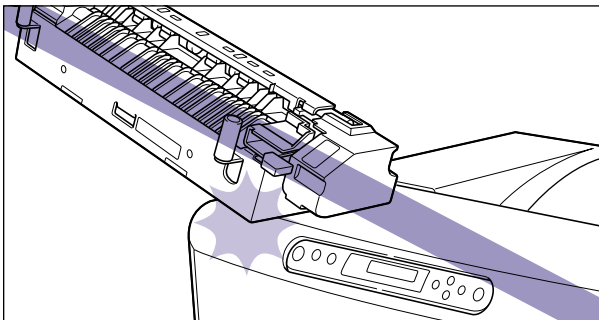
定着器の交換

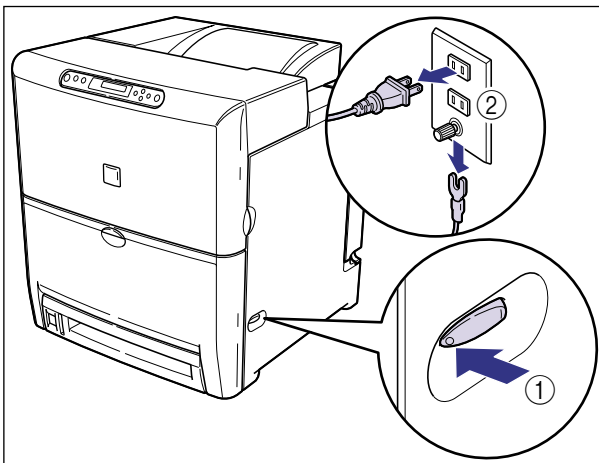
「E5　テイチャクキ　ヨコク」のメッセージが表示され、印字品質が低下したときは、次の手順で新しい定着器と交換してください。

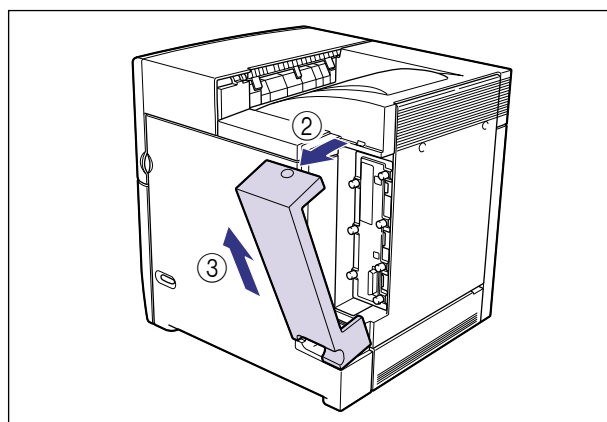
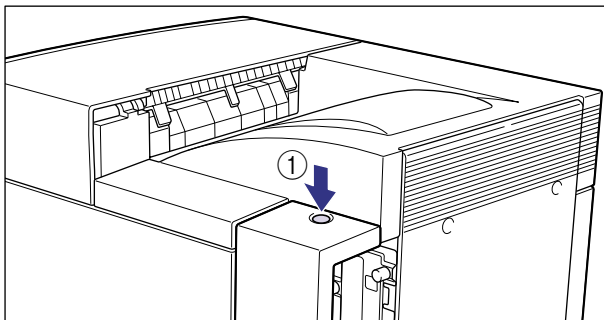
⚠警告　機器内部には、高圧になる部分があります。定着器を交換するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように作業してください。やけどや感電の原因になります。

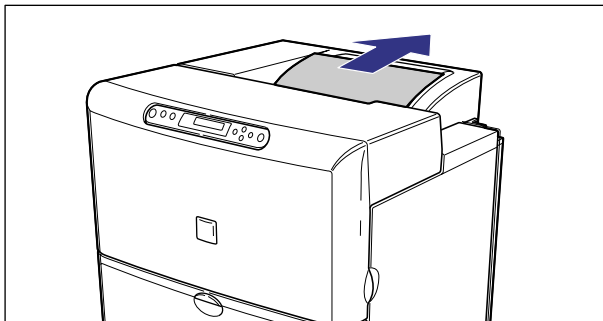
⚠注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器を交換するときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

- 定着器を交換するときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- 定着器は約2.2kgあります。定着器を持つときは、青色の取っ手を両手でしっかりと持ってください。足などの上に落とすとけがの原因になることがあります。

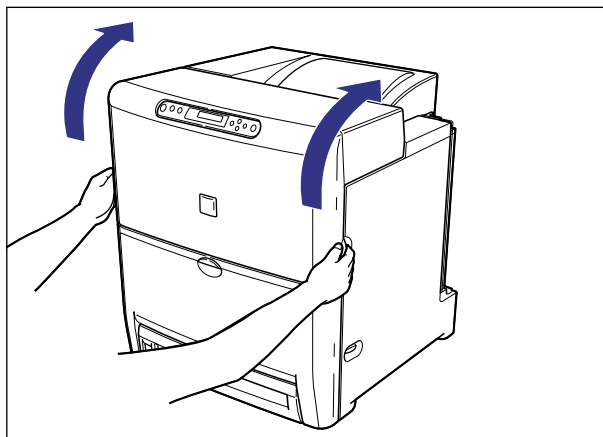
重要
- 定着器の交換後は、カウンタのリセットを行ってください。
  ・「定着器のカウンタをリセットする」（→P.4-26）

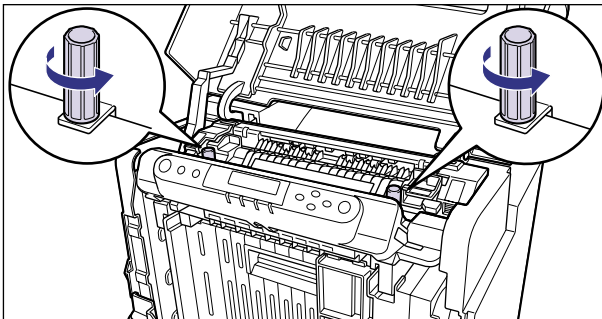
- 定着器の取り付けや取り外しを行うときは、定着器をプリンタなどにぶつけないように気を付けてください、定着器やプリンタの破損の原因になります。

- プリンタが高いところに設置してある場合は、作業がしやすい場所に運んでから定着器の交換を行ってください。（→プリンタを移動する：P.4-46）
- 定着器のカバー内部のローラなど、指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。印字品質の低下や故障の原因になります。

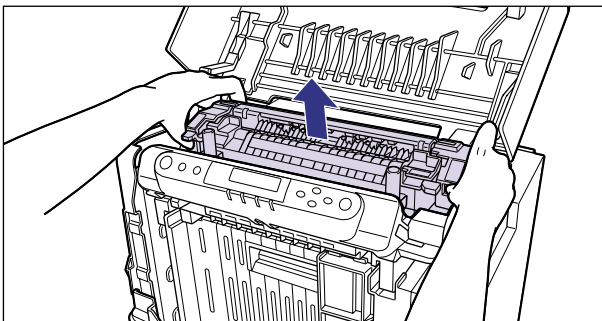
1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します ②。**

2 右カバーを取り外します。

図のように右カバー上面のボタンを押し ①、右カバーを取り外します ② ③。

3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

4 用紙が排紙トレイに載っている場合は、排紙トレイから取り除きます。

5 前上カバーを開けます。

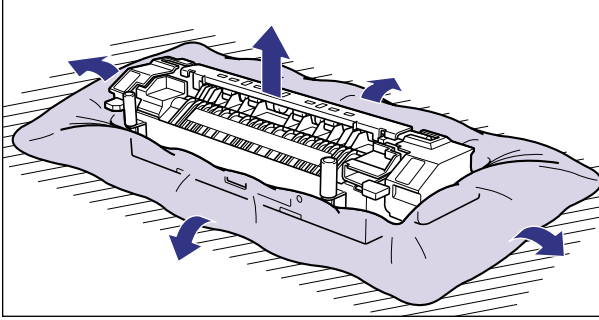
前上カバーは左右の取っ手を両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要　以降の作業は前上カバーを開けた状態で行います。不用意に前上カバーに触れて前上カバーが閉まらないように気を付けてください。

6 定着器の左右にある青色の固定ネジを矢印の方向に回してゆるめます。

7 定着器を本体から取り出します。

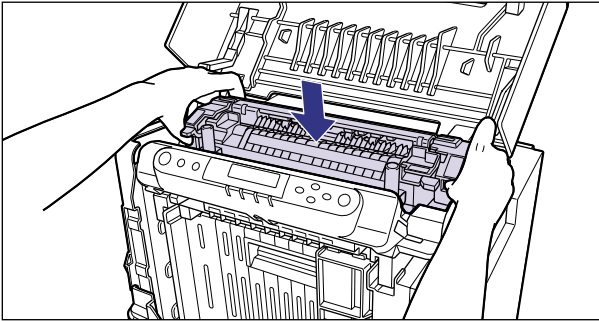
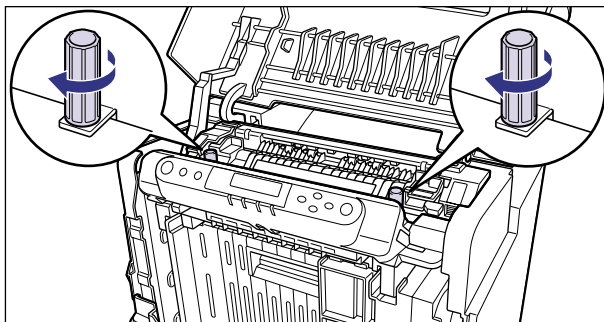
定着器の両端にある青色の取っ手を両手で持って、まっすぐ上に持ち上げて取り外します。

重要

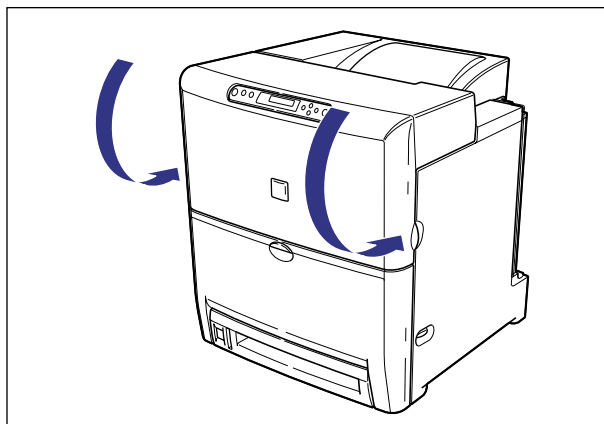
- 定着器を持ち上げるときは、前上カバーに当たらないようにゆっくりと持ち上げてください。
- 取り外した使用済みの定着器は、同封の送付伝票にて発送頂くか、お買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちください。

8 新しい定着器を保護袋から取り出します。

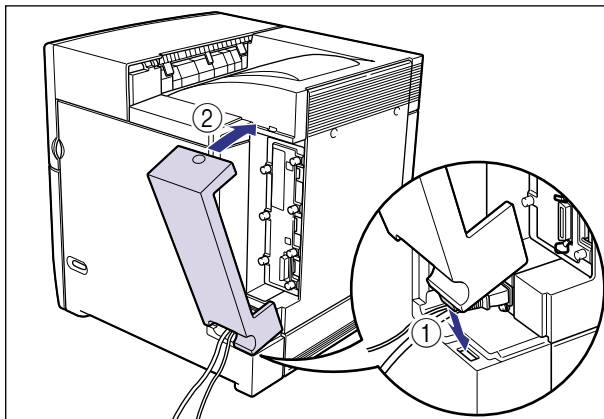
定着器の両端にある青色の取っ手を両手で持って取り出します。

重要　定着器のギヤやローラに触れないように気を付けて取り出してください。ギヤやローラに触れると印字不良の原因になります。

9 定着器を本体に取り付けます。

定着器の両端にある青色の取っ手を両手で持って、定着器を挿入します。

10 定着器の左右にある青色の固定ネジを矢印の方向に回してしっかり固定します。

11 前上カバーを閉めます。

前上カバーは左右の取っ手を両手で持ってゆっくりと確実に閉めます。

12 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

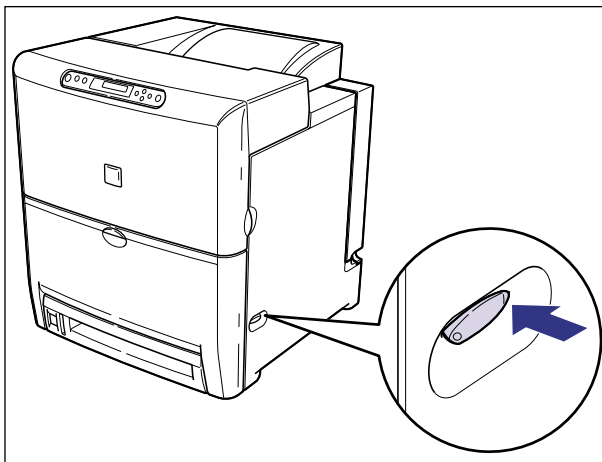
13 右カバーを取り付けます。

図のように右カバー下部の溝に電源コードとアース線を通し、右カバー下部の突起を本体に差し込んで ①、右カバーを取り付けます ②。

14 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

定着器のカウンタをリセットする

定着器を交換したあとは、操作パネルに表示されている「E5　テイチャクキ　ヨコク」を消すために、次の手順でカウンタのリセットを行います。

重要 この操作は定着器の交換時にのみ行ってください。定着器を交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、プリンタが故障する原因になります。

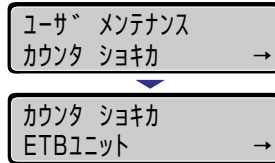
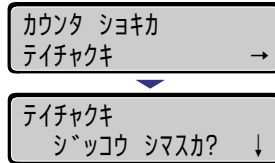
1 電源スイッチの“Ｉ”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

2 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

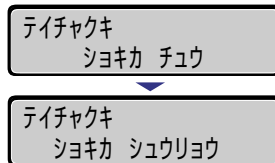
セットアップ

3 [セットアップ] を押します。

4 [◄]、[►] で「ユーザ　メンテナンス」を選択し、[実行] を押します。

5 ［◀］、［▶］で「カウンタ　ショキカ」を選択し、［実行］を押します。

6 ［◀］、［▶］で「テイチャクキ」を選択し、［実行］を押します。

確認のメッセージが表示されます。

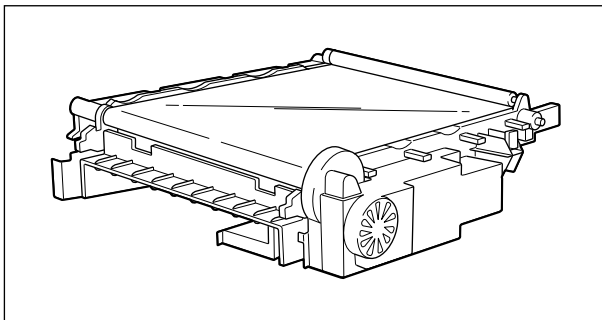
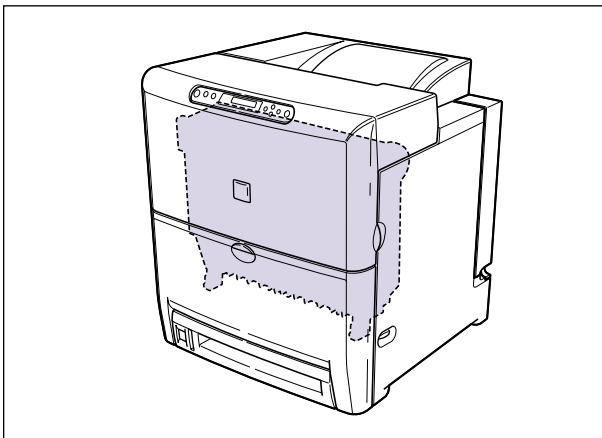
7 ［実行］を押します。

［実行］を押さずに、［オンライン］を押すと、初期化を行いません。

8 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、ディスプレイに表示されていた「E5　テイチャクキ　ヨコク」が消えます。

ETB ユニットを交換する

ETB ユニットの交換方法について説明しています。

■ ETB ユニット（ETB KIT UM-85E）

■ ETB ユニットの取り付け位置

「ETB ユニット　ヨコク / コウカン」が表示されたときは

ETB ユニットが寿命に近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。ETB ユニットは定期交換部品ですが、お客様での交換が可能です。交換の際は、本プリンタをお買い求めの販売店などで、「ETB KIT UM-85E」をお買い求めください。

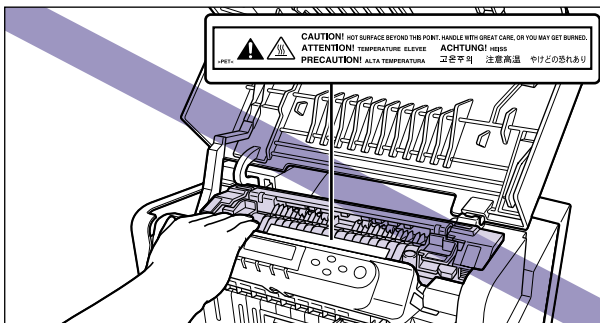
メッセージ	表示される時期	内容および対処
00 LIPS　A4 EH ETBﾕﾆｯﾄ ﾖｺｸ	ETBユニットの交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・新品のETBユニットを用意してください
EH ETBﾕﾆｯﾄ ｺｳｶﾝ	ETBユニットが寿命になったとき	・プリンタは停止します ・新品のETBユニットに交換してください ・交換後、［オンライン］を押して、ETBユニットのカウンタをリセットしてください
00 LIPS　A4 ER ETBﾕﾆｯﾄ ｺｳｶﾝ	「EH　ETBユニット　コウカン」が表示されている状態で［オンライン］を押したとき	・ETBユニットを交換した場合は、ETBユニットのカウンタをリセットしてください ・ETBユニットを交換していない場合は、新品のETBユニットに交換してください

メモ　本プリンタ用ETB ユニットの寿命は、A4／レターの片面印刷をした場合で約 150,000 ページです。ただし、印刷条件によっては 150,000 ページより少なくなることがあります。

ETB ユニットの交換

「EH　ETB ユニット　コウカン」のメッセージが表示されたときは、次の手順で新しい ETB ユニットと交換してください。

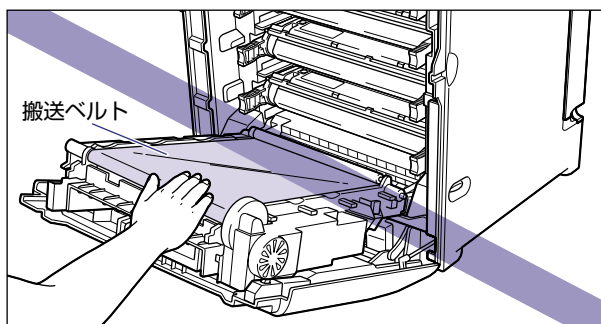
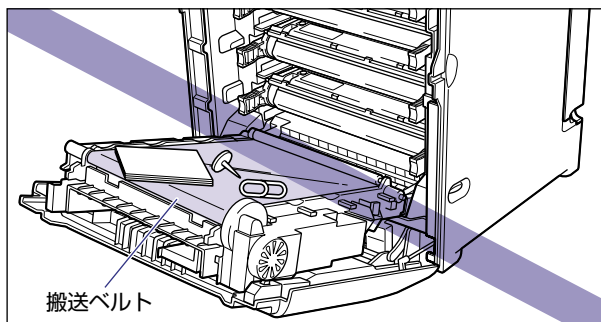
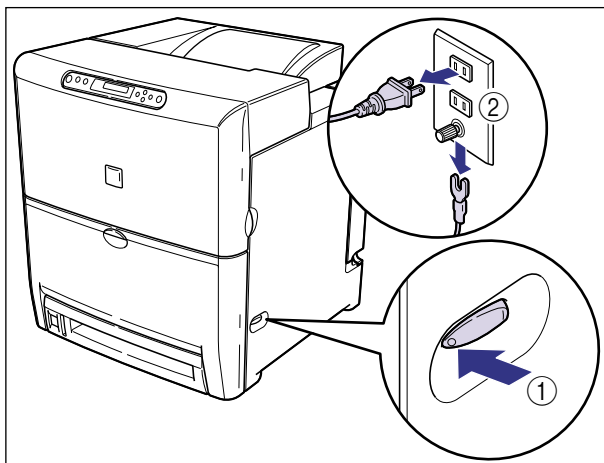
注意

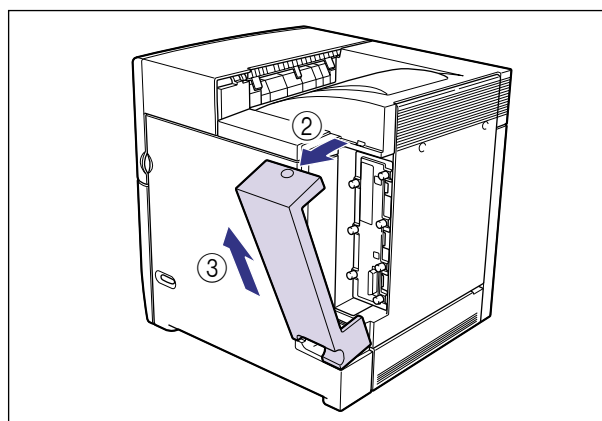
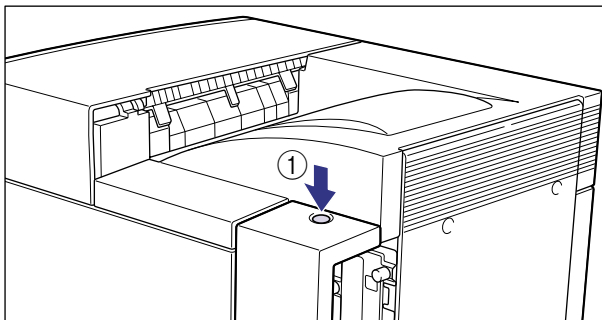
- ETB ユニットを交換するときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

重要

- ETBユニットの交換後は、カウンタのリセットおよびキャリブレーションを行ってください。

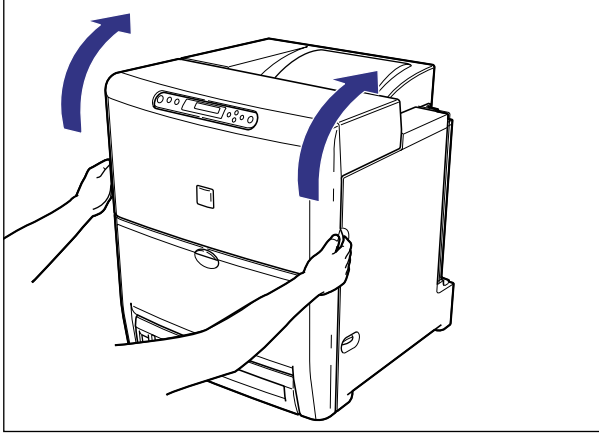
・「ETB ユニットのカウンタをリセットする」（→ P.4-40）

・「ETB ユニット交換後のプリンタの調整」（→ P. 4-42）

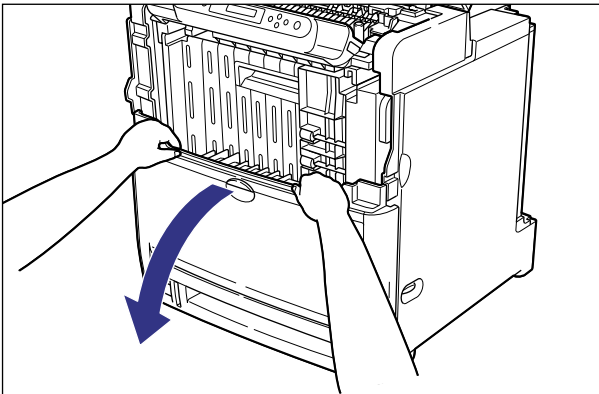
- 一度寿命になった ETB ユニットを再度装着したり、他のプリンタに使用しないでください。カートリッジやプリンタが故障する原因になります。
- ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたりしないでください。また、ETB ユニットの搬送ベルトは自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します ②。

2 右カバーを取り外します。

図のように右カバー上面のボタンを押し ①、右カバーを取り外します ②③。

3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

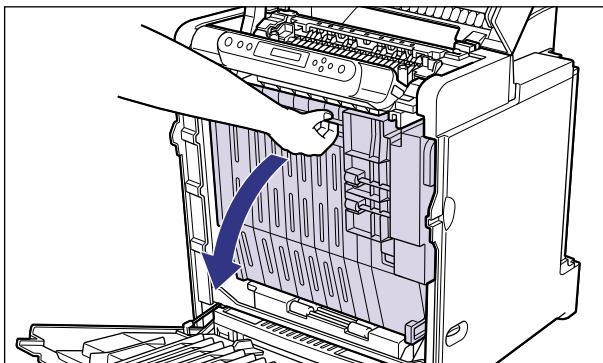
4 前上カバーを開けます。

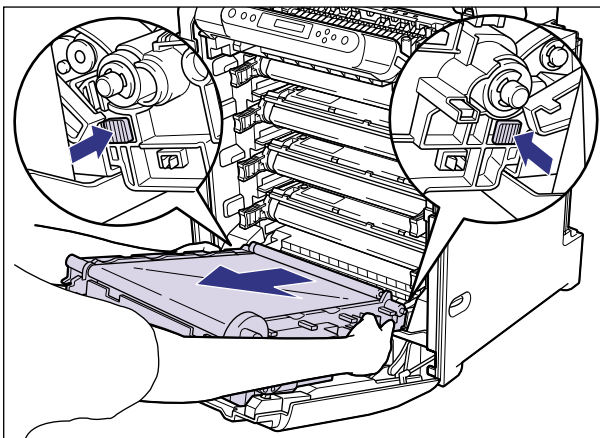
前上カバーは左右の取っ手を両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要　以降の作業は前上カバーを開けた状態で行います。不用意に前上カバーに触れて前上カバーが閉まらないように気を付けてください。

5 前下カバーを開けます。

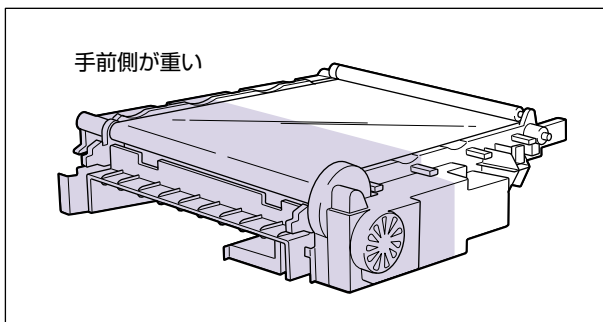
前下カバーは、両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要　前下カバーを開けるとき、プリンタの前に障害物がないことを確認してください。

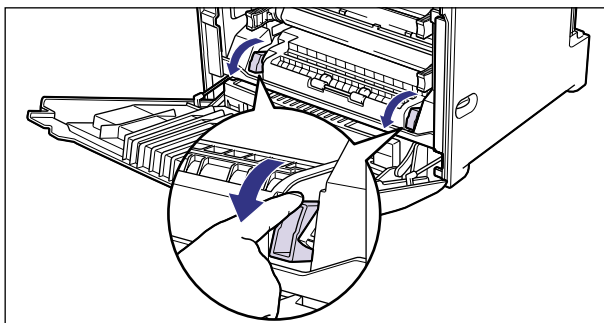
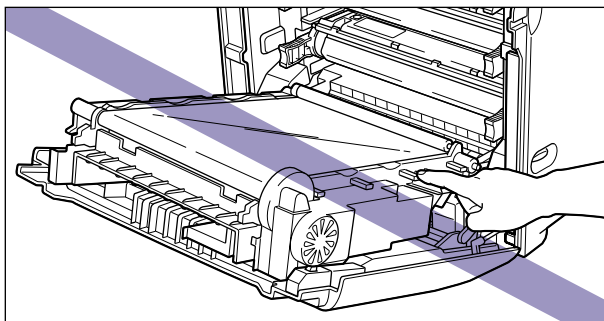
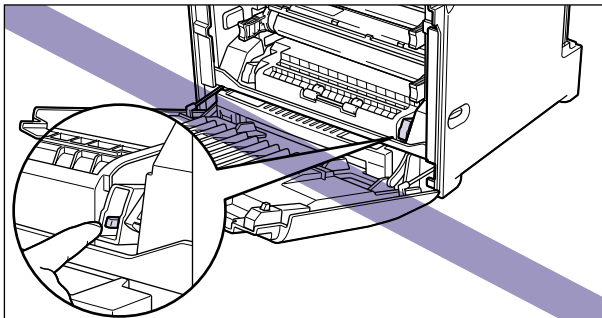
6 ETBユニット中央部の緑色の取っ手を持って、ETBユニットを開けます。

ETB ユニットはゆっくりと強く引いて、止まるまでいっぱいに開けます。

重要
- ETB ユニットは完全に下まで開けてください。
- ETB ユニットを開けたまま長時間放置しないでください。

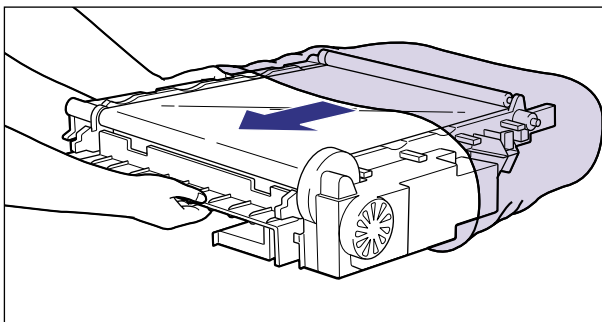
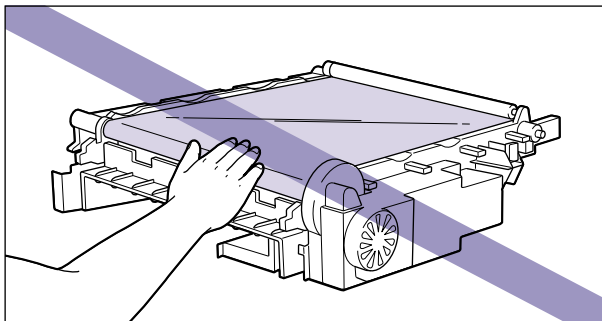
7 両側面にある青色の解除レバーを押しながらETBユニットを両手でしっかり持って、本体から引き抜きます。

警告　使用済みの ETB ユニットを火中に投じないでください。ETB ユニットに付着したトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

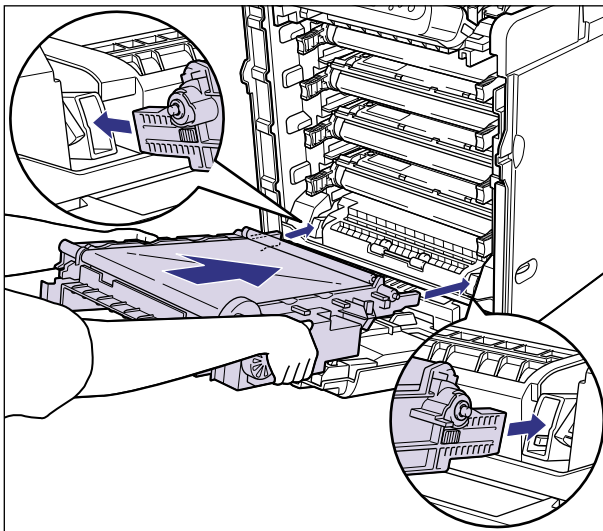
注意
- ETBユニットにはトナーが付着していますので、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

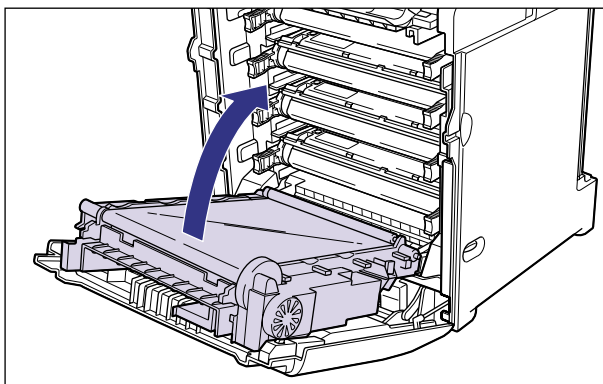
- ETBユニットは手前側が重くなっています。引き抜くときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

重要

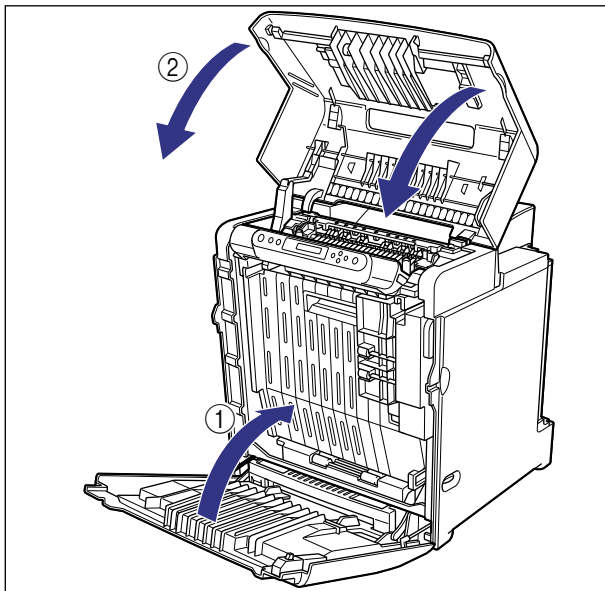
- ETB ユニットを取り外すときは、ETB ユニットが完全に下まで開いていることを確認してください。ETB ユニットが完全に開いていない状態で ETB ユニットを取り外すと、ETB ユニットとプリンタ本体を接続するコネクタが上を向いてしまい、ETB ユニットの取り付けが難しくなることがあります。
  コネクタが上を向いてしまった場合は、図のようにコネクタを手前に倒してから ETB ユニットを取り付けてください。

- ETBユニットの高圧接点部やギヤなど指定以外の部分には絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

- ETBユニットと本体のコネクタには触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

- 取り外した使用済みの ETB ユニットは、同封の送付伝票にて発送頂くか、お買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちください。

8 新しいETB ユニットを保護袋から取り出します。

保護袋は ETB ユニットを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。
ETB ユニットは図のように両手で保護袋から取り出してください。

重要 ETB ユニットの搬送ベルトには触らないように気を付けて取り出してください。搬送ベルトが汚れたり傷がついたりすると、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。

9 ETB ユニットを両手でしっかり持ち、本体に取り付けます。

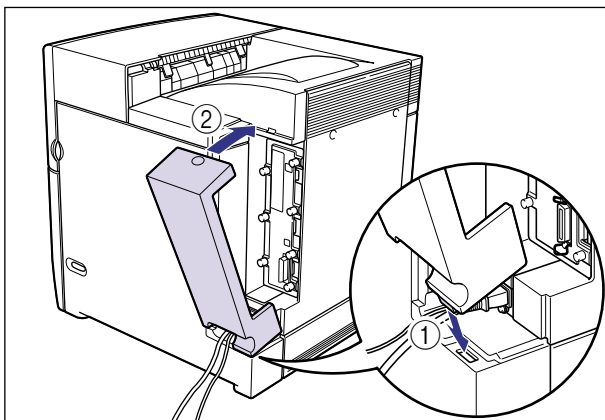
ETB ユニットはカチッと音がするまで奥まで確実に押し込みます。

10 ETB ユニットを閉めます。

ETB ユニットは、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

重要 ETB ユニットは必ず取っ手を持って閉めてください。

11 前下カバーを閉め ①、前上カバーを閉めます ②。

前上カバーは左右の取っ手を両手で持ってゆっくりと確実に閉めます。

12 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

13 右カバーを取り付けます。

図のように右カバー下部の溝に電源コードとアース線を通し、右カバー下部の突起を本体に差し込んで ①、右カバーを取り付けます ② 。

14 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ETB ユニットのカウンタをリセットする

ETB ユニットを交換したあとは、操作パネルに表示されている「EH　ETB ユニット　コウカン」／「ER　ETB ユニット　コウカン」を消すために、次の手順でカウンタのリセットを行います。

重要　この操作は ETB ユニットの交換時にのみ行ってください。ETB ユニットを交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、カートリッジやプリンタが故障する原因になります。

1 電源スイッチの“ I ”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

2 ［オンライン］を押します。

「EH　ETB ユニット　コウカン」が「ER　ETB ユニット　コウカン」に変わります。

3 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

4 ［セットアップ］を押します。

5 ［◀］、［▶］で「ユーザ　メンテナンス」を選択し、［実行］を押します。

6 ［◀］、［▶］で「カウンタ　ショキカ」を選択し、［実行］を押します。

7 ［◀］、［▶］で「ETB ユニット」を選択し、［実行］を押します。

確認のメッセージが表示されます。

8 ［実行］を押します。

［実行］を押さずに、［オンライン］を押すと、初期化を行いません。

```
ETBユニット
    ショキカ チュウ
```

```
ETBユニット
  ショキカ シュウリョウ
```

9 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、ディスプレイに表示されていた「ER　ETBユニット　コウカン」が消え、プリントできる状態になります。

ETB ユニット交換後のプリンタの調整

ETB ユニットを交換して、カウンタをリセットしたあとは、プリンタを調整するために、次の手順でキャリブレーションを行います。

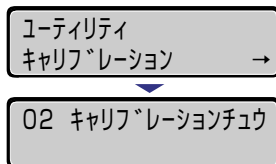
メモ　キャリブレーションにかかる時間は、最大で 200 秒です。

1 ［オンライン］を押します。

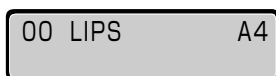
オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［ユーティリティ］を押します。

```
ユーティリティ
ステータス プリント    →
```

3 ［◀］、［▶］で「キャリブレーション」を選択し、［実行］を押します。

02 キャリフ゛レーションチュウ

キャリブレーションが実行されます。キャリブレーションの実行中は、印刷可ランプとオンラインランプが点滅します。
キャリブレーションが終了すると、ディスプレイに「00　LIPS」と表示されます。

4 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

プリンタを清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や通気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

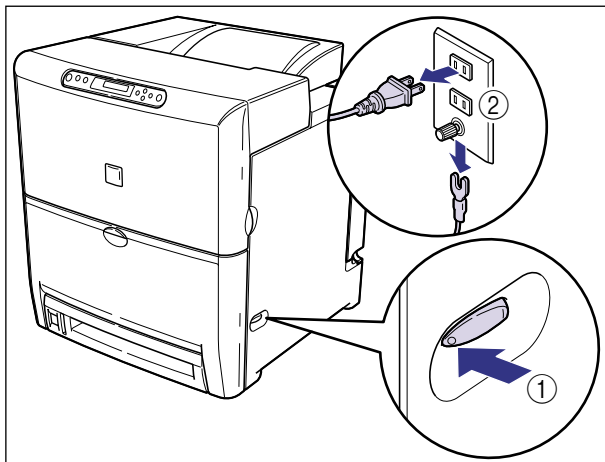
⚠警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

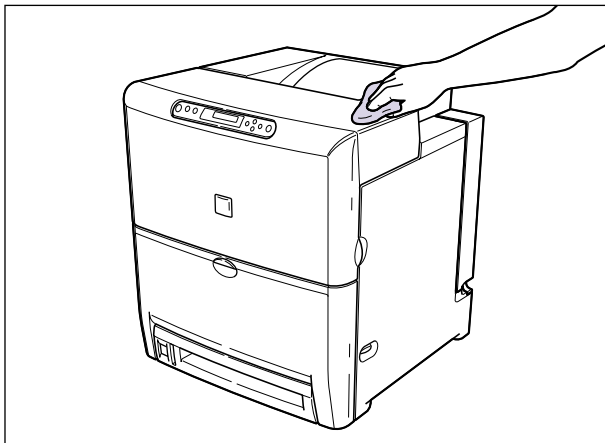
重要
- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します ②。

電源をオフにするときは、ジョブランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

4

日常のメンテナンス

2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

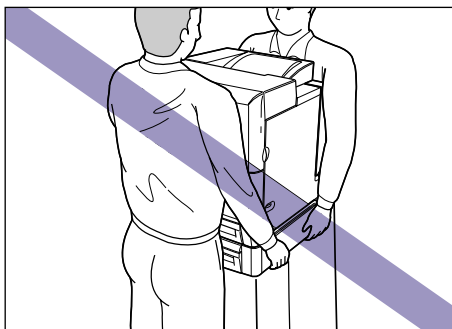
4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

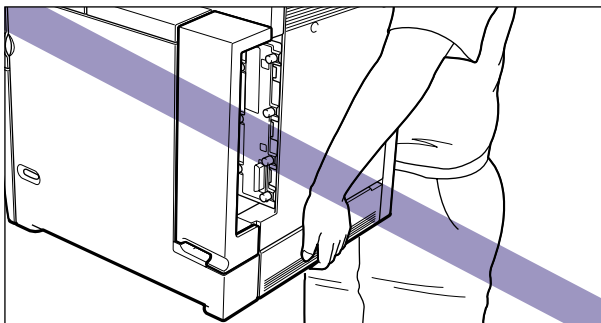
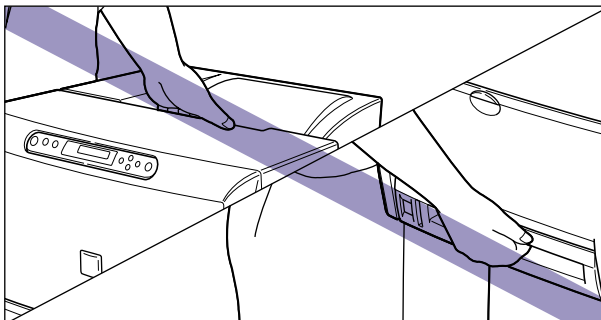
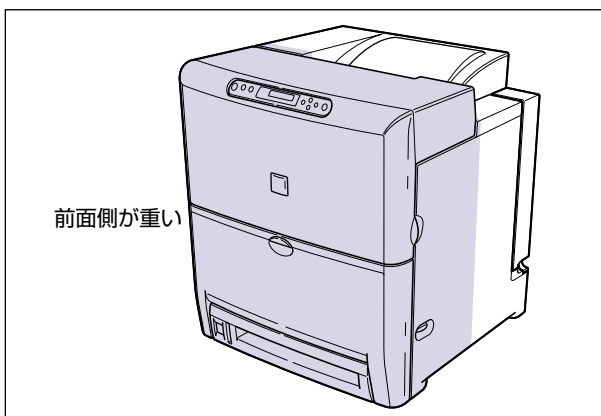
プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動してください。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意

- オプションのペーパーフィーダが取り付けられている状態でプリンタを移動しないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 必ず給紙トレイを閉じてからプリンタを移動してください。給紙トレイに指をはさむなど、けがの原因になることがあります。
- 本プリンタは、約 40kg（本体: 約 35kg / カートリッジ× 4：約 5.6kg）あります。必ず 2 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

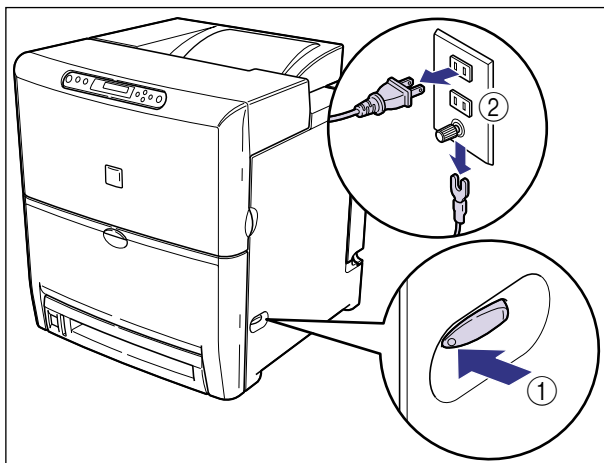
- 絶対に、給紙カセットやカセット保護カバーなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、本体前面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

重要　階段を使うような移動が必要な場合は、必ず専門の運送業者に依頼してください。

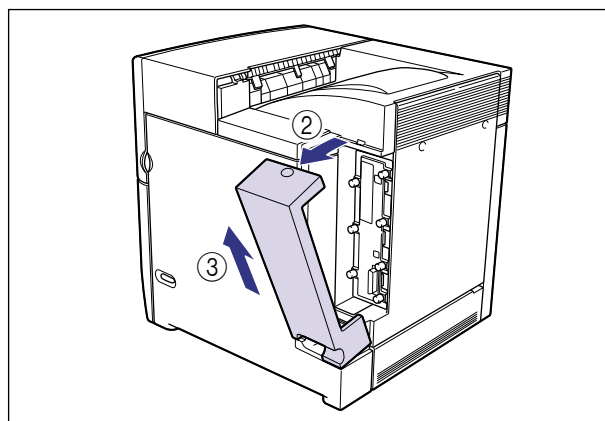
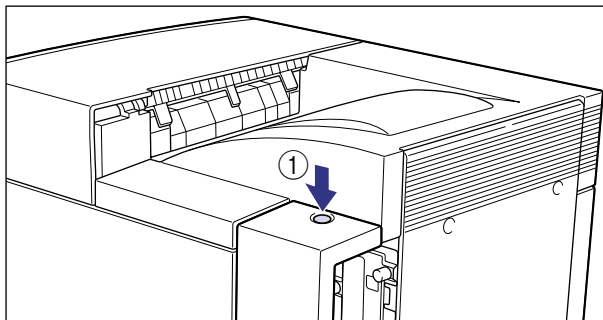
メモ　設置場所については、設置ガイド「第 1 章 設置する前に」を参照してください。

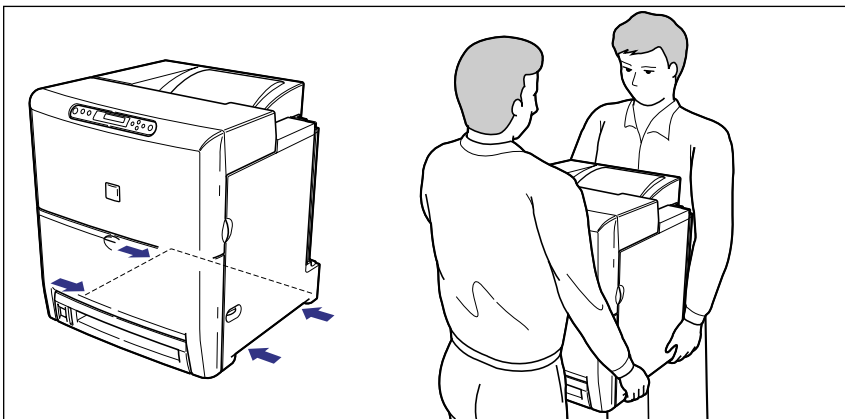
本体を移動する

本プリンタを移動するときは、次の手順で正しく持ち運んでください。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します ②。**

電源をオフにするときは、ジョブランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

2 右カバーを取り外します。

図のように右カバー上面のボタンを押し ①、右カバーを取り外します ②③ 。

3 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

4 プリンタ本体下部にある4箇所の運搬用取っ手に2人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

メモ　オプションのペーパーフィーダが取り付けられているときは、設置ガイド「第3章 オプション品の取り付け」を参照してペーパーフィーダを取り外してください。

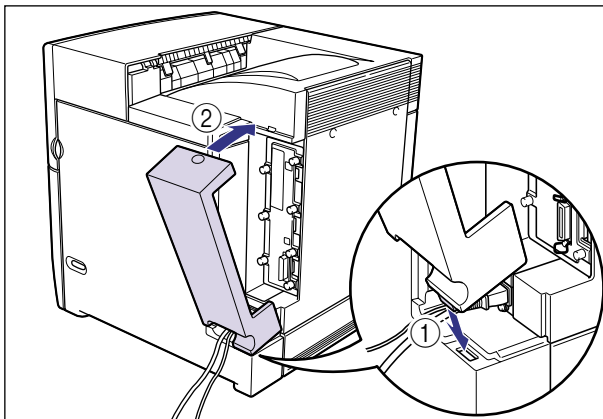
5 移動場所にゆっくりとおろします。

注意　プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要　設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

6 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

7 右カバーを取り付けます。

図のように右カバー下部の溝に電源コードとアース線を通し、右カバー下部の突起を本体に差し込んで ①、右カバーを取り付けます ②。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

●プリンタを輸送するときは

移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、カートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

プリンタの取り扱いについて

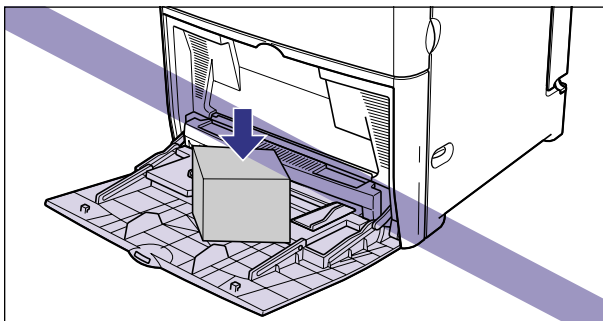
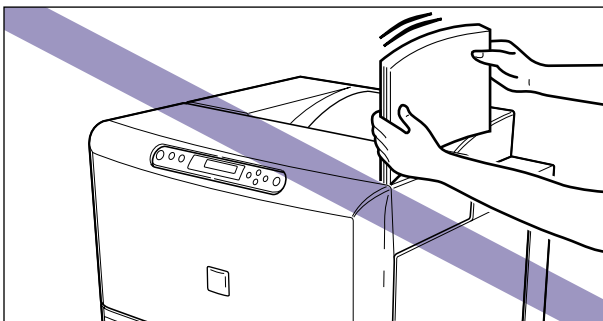
本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

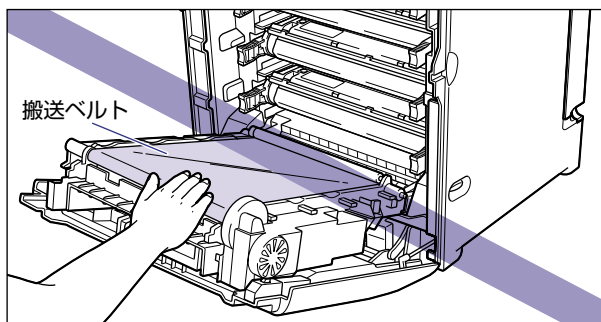
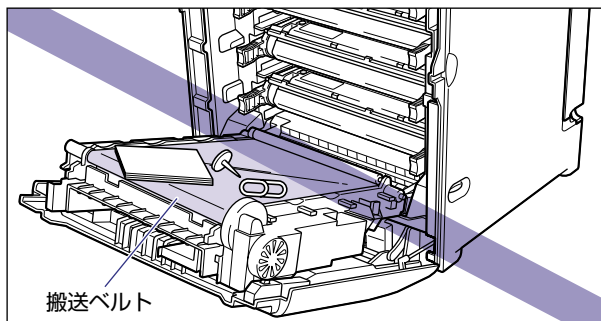
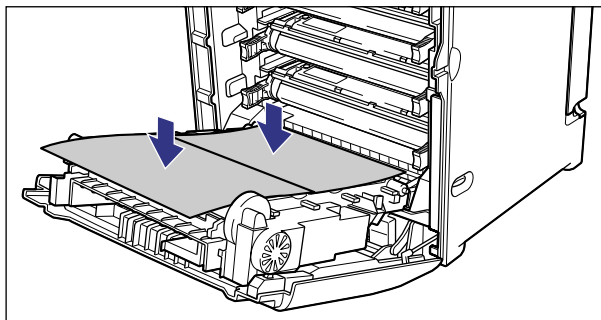
重要　本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（→ P.xii）もお読みください。

プリンタの取り扱いのご注意

つねに最良の状態でプリントできるように、以下の注意事項をお守りください。

重要

- プリンタや給紙トレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、プリントの品質が低下する原因になります。
- プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。

- プリント中は、絶対にプリンタの各カバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 給紙トレイやプリンタの各カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源をオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。

- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。
- ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたりしないでください。また、ETB ユニットの搬送ベルトは自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。

- カートリッジを着脱するときは、ETB ユニットの搬送ベルトを保護するため、必ずご使用の用紙を搬送ベルトの上に置いて作業を行ってください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないときは、以下の環境で保管してください。

- 温度が 0 〜 35 ℃の範囲内の場所
- 湿度が 35 〜 85%（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

5

CHAPTER

困ったときには

この章では、紙づまりが起こったときやエラーメッセージが表示されたときの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ

プリント
できない
はい
いいえ
文字の内容が
おかしい
はい
動作モードが合っていない
→第2章「動作モードについて」(P.2-19)
いいえ
用紙設定が合っていない
→LIPSソフトウェアガイド／本編
はい
レイアウトが
ずれてしまう
フォントが置き換わっている
→LIPSソフトウェアガイド／本編
いいえ
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトの取扱説明書
メモリ不足のため、処理が変更されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-17)
はい
印字品質が悪い
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→第3章「用紙について」(P.3-2)
いいえ
トナーの寿命が近づいてきている
→第4章「カートリッジを交換する」(P.4-2)
その他のトラブル
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-17)
→第5章「サービスコール表示」(P.5-33)
→第5章「正しいプリント結果が得られないときには」(P.5-36)

NetSpot Job Monitor
またはプリントモニタに
メッセージが表示
されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド／本編
はい
プリンタの電源が入っていない
→第2章「電源のオン、オフ」(P.2-6)
はい
“プリンタの準備が
できていません”が
表示されている
プリンタがオフラインになっている
→第2章「オンラインとオフライン」(P.2-9)
ケーブルが正しく接続されていない
→設置ガイド「第2章 プリンタの設置」
いいえ
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→第3章「給紙カセットからプリントする」(P.3-14)
→第3章「給紙トレイからプリントする」(P.3-35)
はい
エラーメッセージ
またはサービスコールが
表示されている
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→第5章「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」(P.5-4)
“トナー　コウカン”が表示されている
→第4章「カートリッジを交換する」(P.4-2)
いいえ
“テイチャクキ　ヨコク”が表示されている
→第4章「定着器を交換する」(P.4-18)
“ETBユニット　ヨコク / コウカン”が表示されている
→第4章「ETBユニットを交換する」(P.4-29)
サービスコールが表示されている
→第5章「サービスコール表示」(P.5-33)
その他のエラーメッセージが表示されている
→第5章「メッセージ一覧」(P.5-17)
プリンタのオンライン
ランプが点滅したまま
になっている
はい
いいえ
プリントデータを処理中です
しばらくお待ちください
前のジョブが残っていてプリントできない
→第2章「プリントを中止したいときは」(P.2-22)

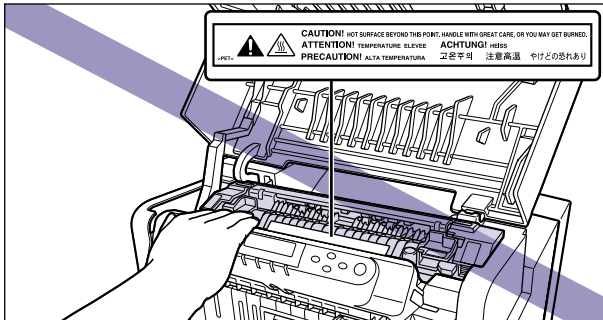
紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）

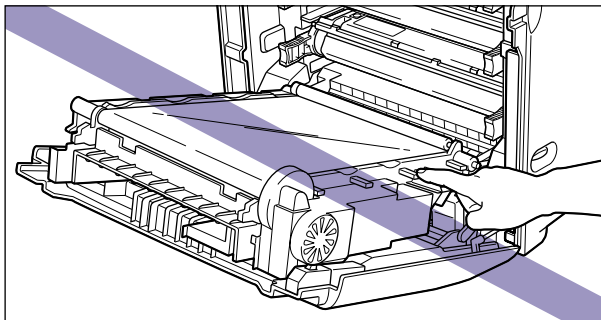
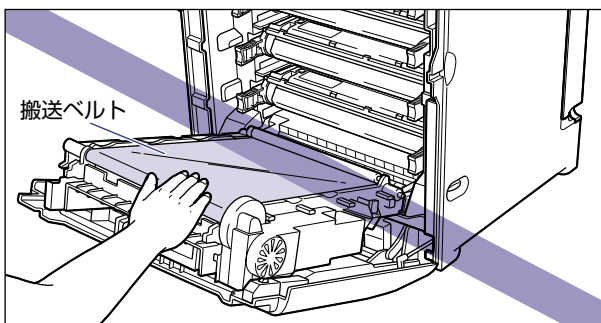
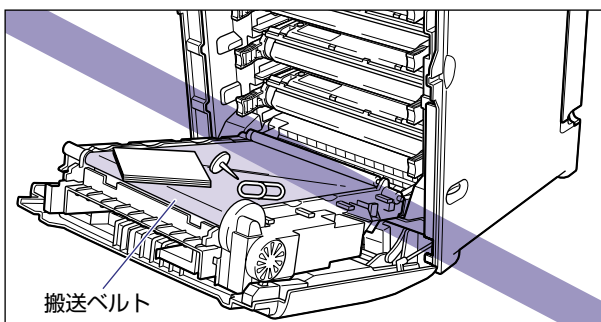
プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイ上段に「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」、下段に「キュウシ　エリア」や「ハイシ　エリア」など、紙づまりの位置を表すメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときはメッセージを確認し、次の手順でつまった用紙を取り除きます。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

紙づまりの除去手順

用紙がつまったときは、最初にメッセージを確認してから、手順にしたがって用紙を取り除きます。

警告　機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

- ETBユニットの高圧接点部やギヤなど指定以外の部分には絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

- ETB ユニットの上に物を置いたり、ETB ユニットの搬送ベルトに触れたりしないでください。また、ETB ユニットの搬送ベルトは自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。ETB ユニットが破損したり搬送ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。

- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源はオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。

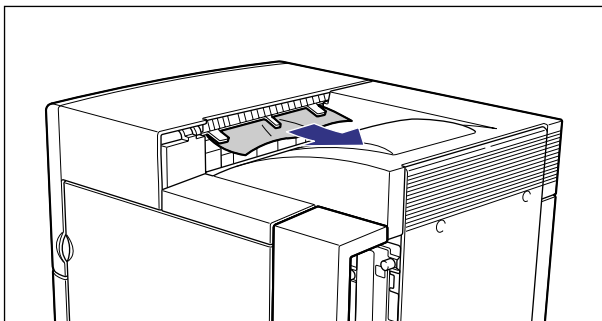
1 ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

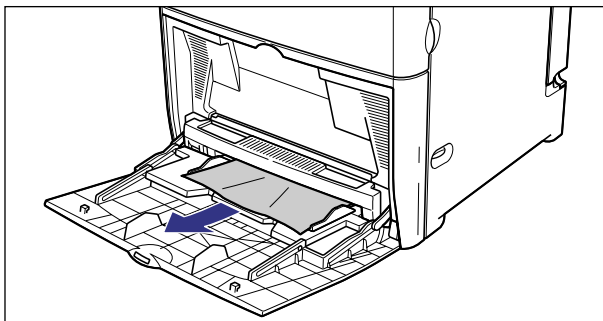
```
13 ヨウシガ ツマリマシタ
キュウシ エリア
```

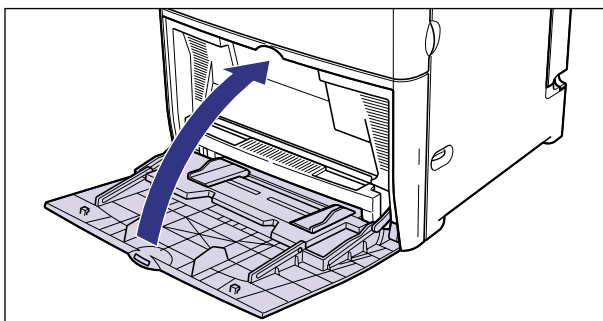
メッセージは紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

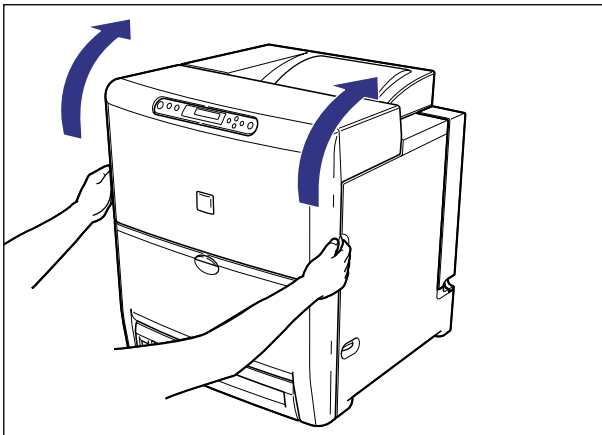
ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
「キュウシ　エリア」	給紙トレイ、給紙カセット
「ハイシ　エリア」	排紙トレイ、定着器
「マエカバー　エリア」	前カバー内部
「ETBユニット　エリア」	ETBユニット（両面部）

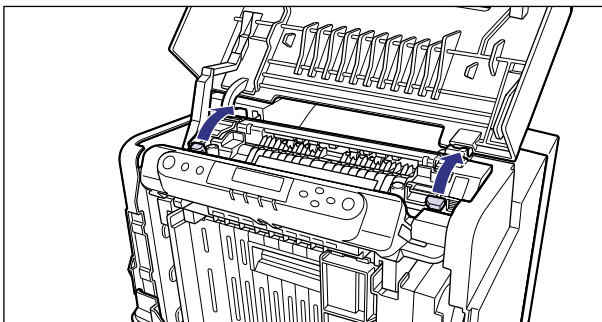
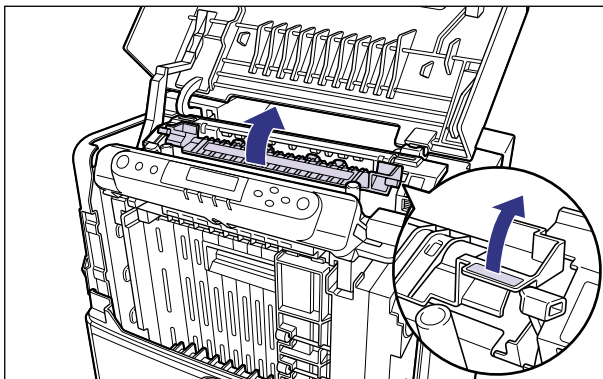
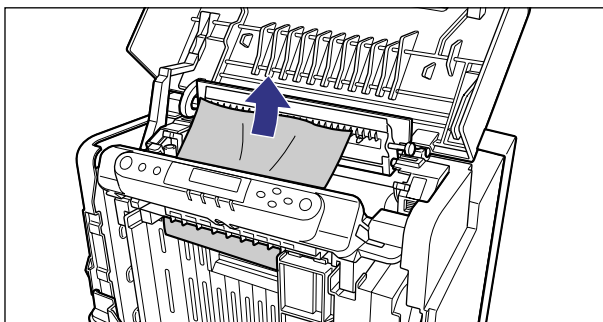
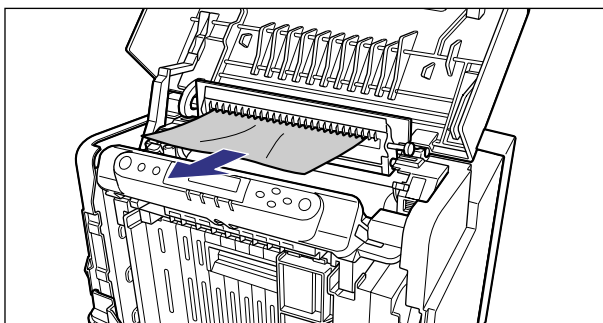
2 排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除きます。

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

メモ　取り除いた用紙に定着していないトナーが付着している場合、次にプリントする用紙にトナーの汚れが付くことがあります。

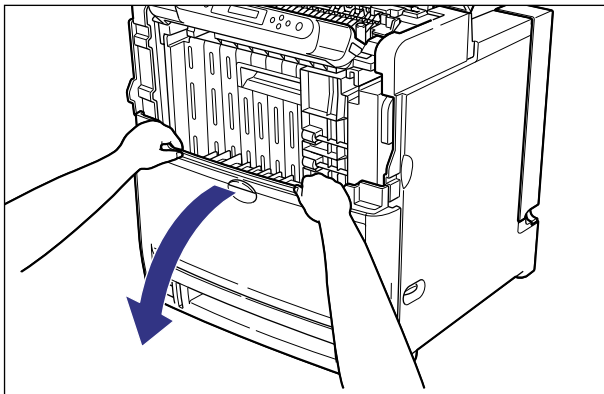
3 給紙トレイを使用している場合は、給紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

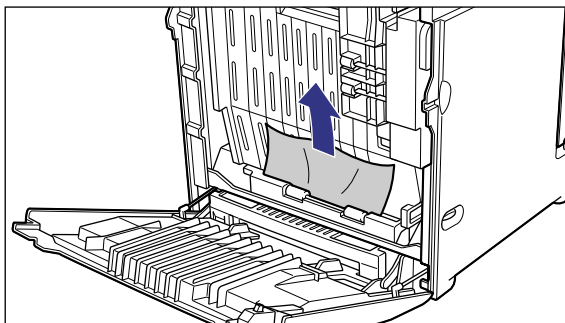
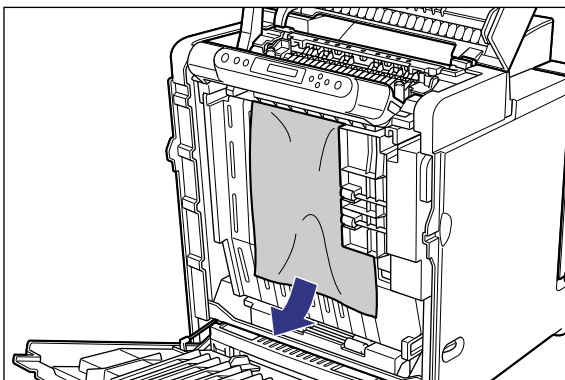
4 給紙トレイを閉めます。

5 前上カバーを開けます。

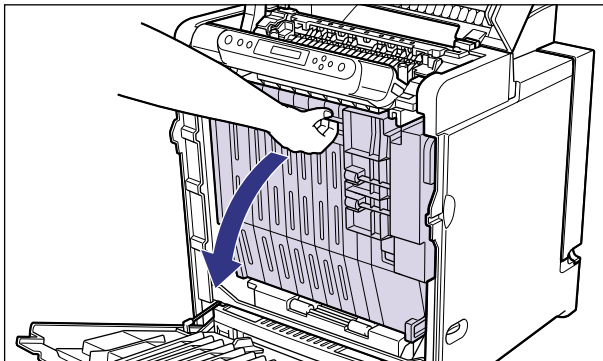
前上カバーは左右の取っ手を両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要　以降の作業は前上カバーを開けた状態で行います。不用意に前上カバーに触れて前上カバーが閉まらないように気を付けてください。

6 緑色の加圧解除レバーを左右ともに奥に倒し、定着器の圧力を解除します。

7 緑色のラベルが貼られているレバーを持って、定着器のカバーを開けます。

8 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

メモ　取り除いた用紙に定着していないトナーが付着している場合、次にプリントする用紙にトナーの汚れが付くことがあります。

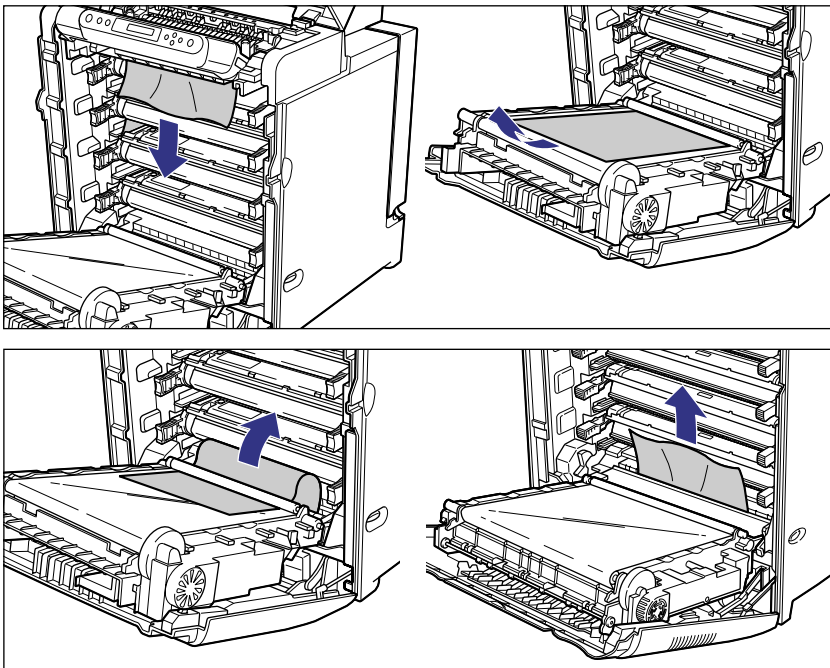
9 前下カバーを開けます。

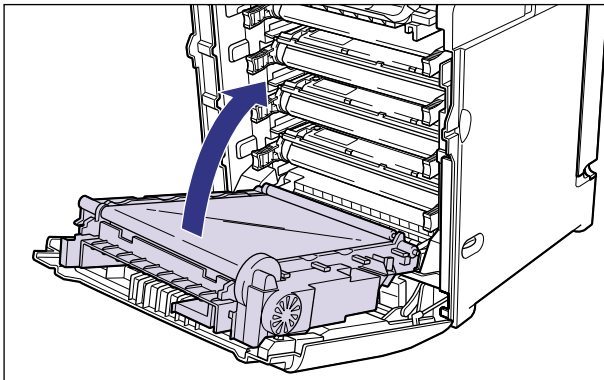
前下カバーは、両手で持って止まるまでいっぱいに開けます。

重要　前下カバーを開けるとき、プリンタの前に障害物がないことを確認してください。

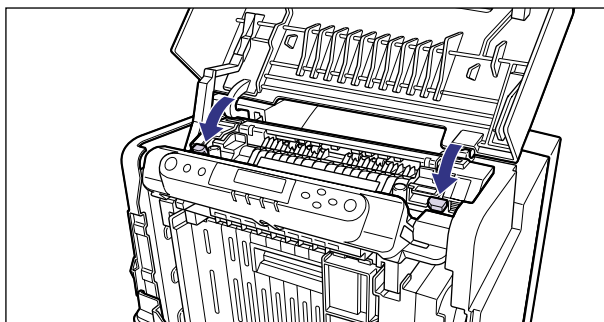
10 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

11 ETBユニット中央部の緑色の取っ手を持って、ETBユニットを開けます。

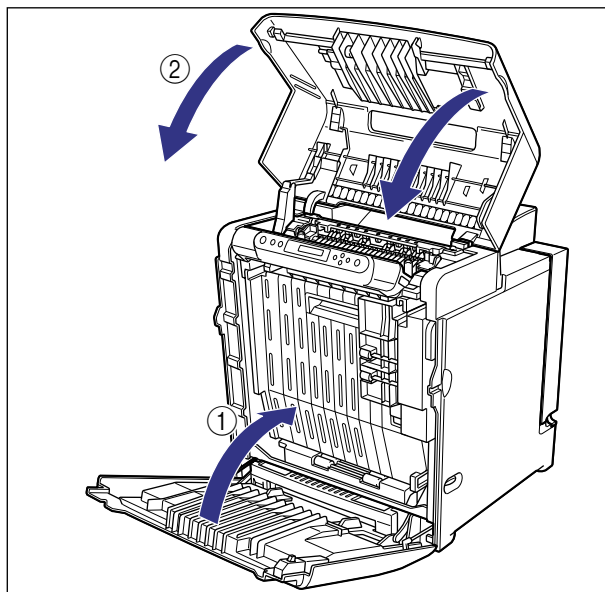
ETB ユニットはゆっくりと強く引いて、止まるまでいっぱいに開けます。

重要　ETB ユニットは完全に下まで開けてください。

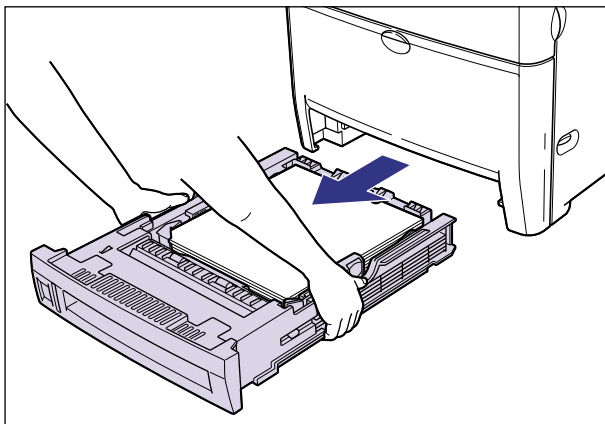
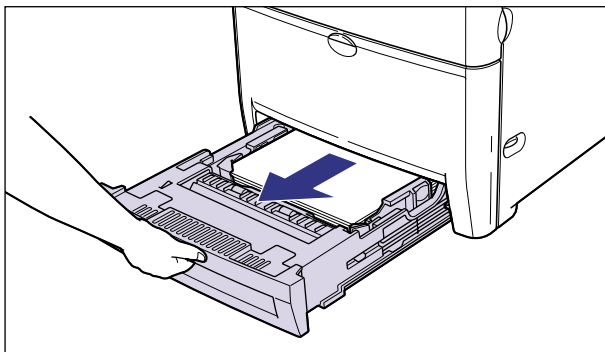
12 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

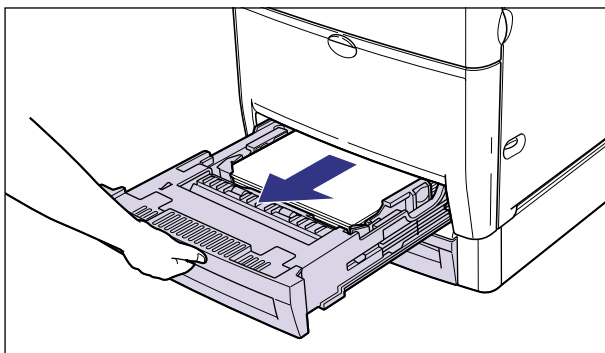
ETB ユニット上の用紙には定着していないトナーが付着していますので、気を付けて用紙を取り除いてください

13 ETB ユニットを閉めます。

ETB ユニットは、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

重要　ETB ユニットは必ず取っ手を持って閉めてください。

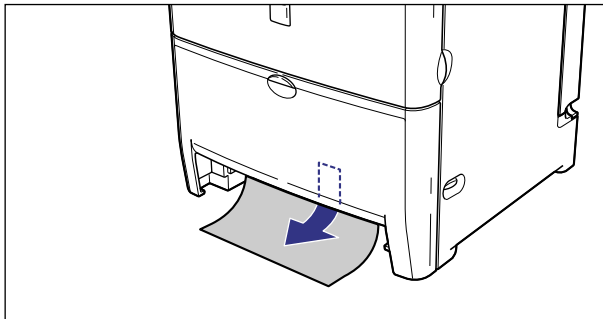
14 定着器の緑色の加圧解除レバーを元の位置に戻します。

15 前下カバーを閉め ①、前上カバーを閉めます ②。

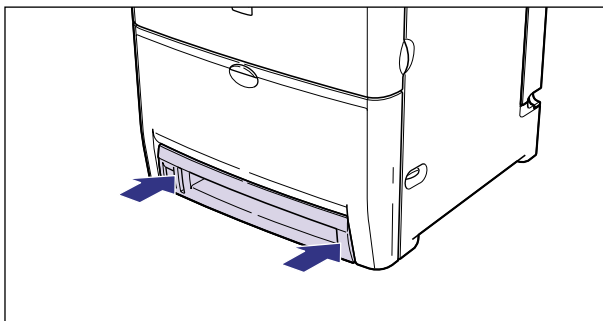
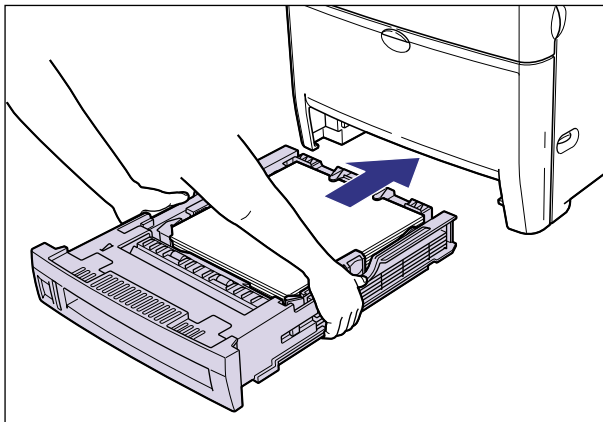
前上カバーは左右の取っ手を両手で持ってゆっくりと確実に閉めます。

16 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットは途中まで前面の取っ手を持って引き出してから、図のように両手で持って引き出します。

ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットも引き出します。

重要

- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。

- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

17 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

18 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットを両手でしっかり持って、給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、ゆっくりとしっかり奥まで押し込みます。

注意 給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、指を挟まないように注意してください。

給紙カセットがプリンタ本体に入りにくいときは、無理に押し込まずに、一度給紙カセットを取り外し、まっすぐにしてからセットしなおしてください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイの下段に警告メッセージを表示します。
これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

メモ
- 複数の警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージを交互に表示します。
- エラー状態と警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- （警告メッセージ）の付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「警告表示」を「シナイ」に設定すると警告状態が発生している場合でも、メッセージは表示されません。
- <エラースキップ可>のマークが付いているメッセージは、[オンライン] を押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、[オンライン] を押して再度プリントしなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「ツカウ」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

nn-nn　サービス　コール（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリンタの内部機構にトラブルが発生した

処　置　「サービスコール表示」（→ P.5-33）の指示にしたがって、処置してください。

11　XXX　ヨウシガ　アリマセン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因　給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「自動」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

処置 1　用紙を補給またはセットしてください。

処置 2　[給紙選択] で、同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの他の給紙元を選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-10）

5

困ったときには

12　カバーガ　アイテイマス

原　因　前上カバーまたは前下カバーが開いている

処　置　前上カバーと前下カバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因　内部で紙づまりを起こしている

処　置　紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.5-4）

重要
- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイ下段に紙づまりの位置を交互に表示します。
- どのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず本体のいずれかのカバーを一度開閉してから、［オンライン］を押してください。

14　X　カートリッジ　ナシ（X は Y または M、C、K）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない

処　置　表示された色のカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。前上カバーを閉じたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

16　X　トナー　チェック（X は Y または M、C、K）　（警告メッセージ）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のカートリッジの寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のカートリッジを取り出し、新しいカートリッジに交換します。前上カバーを閉じたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

16　X　トナー　コウカン（X は Y または M、C、K）　<エラースキップ可>

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のカートリッジの寿命がきた

処　置　［オンライン］を押します。少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のカートリッジを取り出し、新しいカートリッジに交換します。前上カバーを閉じたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押します。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

メモ　カートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

17　カセット 1　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因　カセット 1 の用紙がなくなった

処　置　カセット 1（プリンタ本体の給紙カセット）に用紙を補給してください。カセット 1 を元に戻したあと、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14）

17　カセット 2　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因　ペーパーフィーダを装着時に、カセット 2 の用紙がなくなった

処　置　カセット 2（オプションのペーパーフィーダ）に用紙を補給してください。カセット 2 を元に戻したあと、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14）

18　カセット　キュウシ　フカ

原　因　給紙カセットから給紙できない用紙タイプが指定されている

処置 1　［給紙選択］を押して、給紙トレイを選択し、指定した用紙タイプの用紙をセットしてください。（→給紙トレイからプリントする：P.3-35）

処置 2　セットアップメニューの給紙グループで「デフォルト用紙タイプ」を「フツウシ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

18　カセット 1　ナシ

原　因　カセット 1 がセットされていない

処　置　カセット 1 をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14）

1C　ソウシンチュウ：セントロ／ USB ／ EXP　（警告メッセージ）

原因 1　双方向通信に対応していないパソコンとセントロニクスで接続している場合に、セットアップメニューのインタフェースグループの「双方向」が「ECP」または「ニブル」になっている

処　置　「双方向」を「ツカワナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因 2　双方向通信機能を使ってプリンタからパソコンへデータを送信したときに、パソコン側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった

処　置　一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。

1F　ハイシトレイ　チェック　（警告メッセージ）

原　因　排紙トレイが満載になってきている

処　置　排紙トレイの用紙を取り除いてください。

1F　ハイシトレイ　フル　<エラースキップ可>

原　因　排紙トレイが満載になった

処　置　排紙トレイの用紙を取り除いてください。

1G　X　トナー　コウカン（X は Y または M、C、K）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のカートリッジの寿命がきた

処　置　表示された色のカートリッジを取り出し、新しいカートリッジと交換します。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

メモ　カートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

1H　X カートリッジ　コショウ（X は Y または M、C、K）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のカートリッジに障害が発生した

処　置　表示された色のカートリッジを取り出し、新しいカートリッジと交換します。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

23　ダウンロードメモリフル　<エラースキップ可>

原　因　オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「トウロク　ユウセン」に設定してからハードリセットする。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
- オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

26　システムメモリ　フル　<エラースキップ可>

原　因　システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　処置 2 を行っても必要なワークメモリが確保できないときは、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

27　ジョブカイシ　フカノウ　<エラースキップ可>

原　因　指定したエミュレーションが存在しない

処置 1　［オンライン］を押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータはプリントされません。

処置 2 本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定するか、オプションのバージョンアップ ROM を取り付けてエミュレーションを追加します。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

28　ビョウガメモリ　フル　＜エラースキップ可＞

原　因 描画メモリが不足して処理ができなかった

処置 1 ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

処置 2 リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3 処置　2　を行っても必要な描画メモリが確保できないときは、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

30　メモリ　フル　＜エラースキップ可＞

原因 1 システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

処　置 ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

原因 2 （電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張 RAM が取り外された）ために NVRAM に設定されているメモリの容量を確保できなかった

処置 1 ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。

重要 「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAM のメモリの構成が確保可能な値 * に書き換えられます。（*：印字動作は工場出荷時の値に戻ります。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」））

処置 2 電源をオフにしたあと、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外した RAM を取り付けて）プリントしなおします。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

32　リョウメン　フカノウ　<エラースキップ可>

原因 1　両面プリントできない用紙を指定した

処　置　本プリンタの給紙元選択とパソコンのプリント用紙サイズの選択を定形サイズに設定して、プリントしなおします。

原因 2　両面プリントするためのメモリが確保できない

処置 1　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 2　次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

- 登録されているデータを削除する。
- オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

原因 3　自動両面プリントできない用紙サイズの両面データを受信した

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ 2 ページに分けてプリントします。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、両面プリント可能な用紙サイズに変更して、プリントしなおします。

33　ワークメモリ　フル　<エラースキップ可>

原　因　各動作モード専用のワークメモリが確保できない

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

重要　［オンライン］を押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますので、気を付けてください。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットする。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
- オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

36　カイチョウ　テイカ　<エラースキップ可>

原　因　データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、カラー時、600dpi 多値から 600dpi 2 値に階調処理を低下してプリントします。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

37　ヨウシタイプ　フカノウ

原　因　使用できない用紙タイプを指定した

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。普通紙としてプリントが継続されます。普通紙でない場合は、正しいプリント結果が得られません。

処置 2　セットアップメニューで適切な用紙タイプに設定し、プリントしなおします。

38　ガシツテイカ　<エラースキップ可>

原　因　データが複雑すぎて高画質の出力ができない

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、画質を下げてプリントします。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 3　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を次のように設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

- 「コウカイチョウ 2」に設定されているときは、「コウカイチョウ 1」に設定する。
- 「コウカイチョウ 1」に設定されているときは、「ヒョウジュン」に設定する。

処置 4 高画質でプリントしたいときは、リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。
- オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を取り付ける（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

39 G-RAM フル

原因 1 グラフィックメモリが不足したため、プリントできない

処置 1 ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページはプリントされません。

処置 2 リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を次のように設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

- 「コウカイチョウ 2」に設定されているときは、「コウカイチョウ 1」に設定する。
- 「コウカイチョウ 1」に設定されているときは、「ヒョウジュン」に設定する。

処置 3 セットアップメニューの給紙グループで「両面印刷」が「スル」に設定してある場合は「シナイ」に設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 4 セットアップメニューの印字調整グループで「モノクロ中間調」「カラー中間調」の設定を変更してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 5 オプションの拡張 RAM（グラフィックメモリ）を取り付けてプリントしなおします。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

原因 2 （電源オン時に本エラーが発生した場合）何らかの原因でグラフィックメモリが不足した

処 置 ［オンライン］を押しディスプレイに「00 LIPS」が表示されたら、パネル設定初期化を実行してからハードリセットを行います。

重要 ［オンライン］を押したあと、ディスプレイに「02 キャリブレーションチュウ」と表示されたときは、上記処置を行った後に、ユーティリティメニューで「キャリブレーション」を実行してください。

40　ツウシン　エラー　　<エラースキップ可>

原　因　LAN に接続しているときに、本プリンタとパソコンのデータのやりとりでエラーが発生した

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、本プリンタとパソコン間の　LAN ケーブルの接続を確認し、プリントしなおします。

処置 3　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューのインタフェースグループの各設定値と、パソコンの設定値を合わせてプリントしなおします。

41　プリント　チェック　　<エラースキップ可>

原因 1　実際に給紙トレイにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定した「トレイ用紙サイズ」の設定が違っている

処　置　「トレイ用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2　給紙カセットにセットしたユーザペーパーの用紙ガイドの位置が合っていない

処　置　紙カセットの用紙ガイドを用紙に合わせて正しくセットします。(→給紙カセットからプリントする：P.3-14)

原因 3　給紙カセットにセットしたユーザペーパーと、パソコンから設定した用紙サイズの設定が違っている

処　置　パソコンで設定したサイズの用紙を給紙カセットにセットして［オンライン］を押してください。(→給紙カセットからプリントする：P.3-14)

原因 4　セットアップメニューの拡張機能グループの「特殊モード　J」が「ツカワナイ」に設定されている

処　置　「特殊モード J」の設定を「ツカウ」に設定して再度プリントしなおします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

42　インタフェース　エラー

原　因　拡張ボードスロットのインタフェースに重度の障害が発生した

処　置　電源をオフにしたあと、拡張ボードスロットのインタフェースの取り付けをチェックし、電源をオンにしなおします。(→拡張ボードスロットに取り付けたインタフェースの取扱説明書)

重要　上記の操作をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

43　インタフェース　エラー　　<エラースキップ可>

原因 1　拡張ボードスロットのインタフェースに軽度の障害が発生した

処　置　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

原因 2　リセット処理により、拡張ボードスロットのインタフェースの通信が切断された

処　置　［オンライン］を押します。

52　イメージモード　フカ

原　因　イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

処置 1　［オンライン］を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

処置 2　イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントしなおします。

52　ヌリツブシメイレイ　フカ　　<エラースキップ可>

原　因　モノクロモードの高階調 1 または高階調 2 でプリント中に、塗り潰し命令を受信した

処置 1　［オンライン］を押すと、プリントを継続します。正しくプリントされないことがあります。

処置 2　リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「ヒョウジュン」に設定し、プリントしなおします。

53　セキュア　フカノウ

原　因　本プリンタ専用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたプリントデータが送られてきた

処　置　リセットメニューでソフトリセットをしてプリントデータを削除します。

53　パケットエラー　　<エラースキップ可>

原　因　プリントデータ受信中にデータを認識できなくなった

処置 1　［オンライン］を押すと、そのプリントデータを無視して、次のプリントを開始します。

処置 2 本プリンタをネットワークに接続しているときは、ネットワーク上のすべてのパソコンをチェックし、プリンタドライバを本プリンタ対応にアップデートします。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

処置 3 Canon Driver Information Assist Service がインストールされていることを確認します。インストールされていないときは、インストールします。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第 2 章 Windows から印刷するには」）

9A　カセット n ガイドフセイ（n は 1、2）

原因 1 表示されている給紙カセット（カセット 1、カセット 2）の用紙ガイドがずれている

処置 1 用紙ガイドをセットしてある用紙サイズに合わせてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14）

処置 2 ［給紙選択］を押して、他の給紙元を選択してください。

原因 2 表示されている給紙カセット（カセット 1、カセット 2）の定形／不定形切り替えスイッチが“CUSTOM”側になっている状態で、定形サイズの用紙にプリントしようとした

処置 1 定形／不定形切り替えスイッチを“STANDARD”側に合わせてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14）

処置 2 ［給紙選択］を押して、他の給紙元を選択してください。

9B　ヨウシ　フセイ　＜エラースキップ可＞

原　因 給紙された用紙と、指定した用紙サイズや用紙タイプが合っていない

処　置 用紙サイズや用紙タイプの設定を正しくするか、指定した用紙サイズや用紙タイプの用紙をセットして、［オンライン］を押します。

9E　カートリッジ　ミスマッチ

原　因 カートリッジが異なる位置にセットされた

処　置 ディスプレイの下段に表示されている色のカートリッジを正しい位置にセットしなおします。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

9G　X カートリッジ　チェック（X は Y または M、C、K）

原　因　品質保証できないカートリッジが装着されている

処　置　［オンライン］を押すとプリント可能な状態になりますが、装着されたカートリッジに起因する印字不良やプリンタ本体の故障等の問題につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。キヤノン純正カートリッジへの交換をおすすめします。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

9H　X カートリッジ　チェック（X は Y または M、C、K）

原　因　品質保証できないカートリッジが装着されている可能性がある

処置 1　メッセージが表示された状態から、「1G　X　トナー　コウカン」でプリンタが停止した場合は、電源を入れなおしてください。そのまま使用できる場合があります。

処置 2　処置 1 を行っても「1G　X　トナー　コウカン」が表示された場合は、表示された色のカートリッジを取り出し、新しいカートリッジと交換します。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

メモ　カートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

BT　トケイ　コショウ　（警告メッセージ）

原　因　本プリンタに内蔵されている時計が故障した

処　置　そのままでもプリントは可能ですが、印刷履歴などが正しく取れなくなります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

E5　テイチャクキ　ヨコク

原　因　定着器のカウンタが規定値に達した

処　置　新しい定着器に交換することをおすすめします。（→定着器を交換する：P.4-18）

EE　センサチェック nn（nn は 2 桁の英数字）　　（警告メッセージ）

原　因　カートリッジが正しくセットされていない、またはトナーの残量が少ない（メッセージの末尾が“C、M、Y、K”のいずれかの場合）

処置 1　表示された色（C= シアン、M= マゼンタ、Y= イエロー、K= ブラック）のカートリッジを取り出し、セットしなおしてください。前上カバーを閉じたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押します。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

処置 2　表示された色（C= シアン、M= マゼンタ、Y= イエロー、K= ブラック）のカートリッジを取り出し、新しいカートリッジに交換してください。前上カバーを閉じたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押します。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

重要　上記の操作をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

EH　ETB ユニット　ヨコク

原　因　ETB ユニットの寿命が近づいている

処　置　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しい ETB ユニットを準備してください。

EH　ETB ユニット　コウカン

原　因　ETB ユニットの寿命がきた

処　置　新しい ETB ユニットに交換します。交換後、［オンライン］を押して、ETB ユニットのカウンタのリセットとキャリブレーションをしてください。（→ ETB ユニットを交換する：P. 4-29）

ER　ETB ユニット　コウカン

原　因　ディスプレイに「EH　ETB ユニット　コウカン」が表示されている状態で［オンライン］を押した

処置 1　ETB ユニットを交換した場合は、ETB ユニットのカウンタのリセットとキャリブレーションをします。（→ ETB ユニットを交換する：P.4-29）

処置 2　ETB ユニットを交換していない場合は、新品の ETB ユニットに交換します。（→ ETB ユニットを交換する：P.4-29）

F2　フォント　ミジッソウ　<エラースキップ可>

原　因　オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた

処置 1　［オンライン］を押すと、間引き描画でプリントを継続します。

処置 2　メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントしなおします。

F3　コントロール ROM　フセイ

原　因　本プリンタ用ではないコントロール ROM がセットされた

処　置　電源をオフにし、セットしたコントロール ROM を抜き取り、電源をオンにしなおします。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

F9-nn　チェック　プリンタ（nn は 2 桁の英数字）

原　因　プリントデータ処理中にトラブルが発生した

処　置　電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってからオンにしてプリントしなおします。

重要　上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイに表示されている 4 桁の英数字を書きとめたあと、電源をオフにして電源プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

FF　フォント　フル　<エラースキップ可>

原　因　登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

処置 1　［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

処置 2　LIPS のコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントしなおします。（→プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」）

0F　オプション　ゴソウサ　<エラースキップ可>

原因 1　本プリンタの電源がオンになっているときに、オプションのペーパーフィーダが脱着された

処　置　電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを脱着してから電源をオンにしなおしてください。

原因2　オプションのペーパーフィーダが正しく取り付けられていない

処　置　電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。

原因3　オプションのペーパーフィーダ接続部の接触不良が起きている

処　置　電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください

PC　XXX ヨウシ ニ コウカン（XXX は用紙サイズ略号）<エラースキップ可>

原因1　アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや給紙トレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている

処置1　選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14）

処置2　給紙トレイの場合はトレイ用紙サイズを確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。（→給紙トレイからプリントする：P.3-35）

処置3　[給紙選択] で、サイズの合った用紙がセットされている給紙カセットを選択してください。（→給紙元を選択する：P.3-10）

処置4　[オンライン] を押し、セットされている用紙に強制的にプリントしてください。給紙トレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

重要　「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されているときに前上カバーを開けると、メッセージの表示が消えることがありますが、必ず表示されていたメッセージにしたがって用紙を交換してください。

原因2　給紙カセットにセットしたユーザペーパーと用紙ガイドの位置がずれている

処　置　用紙ガイドをセットしてある用紙にぴったりと合わせてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14）

W0　マーク　タイム　（警告メッセージ）

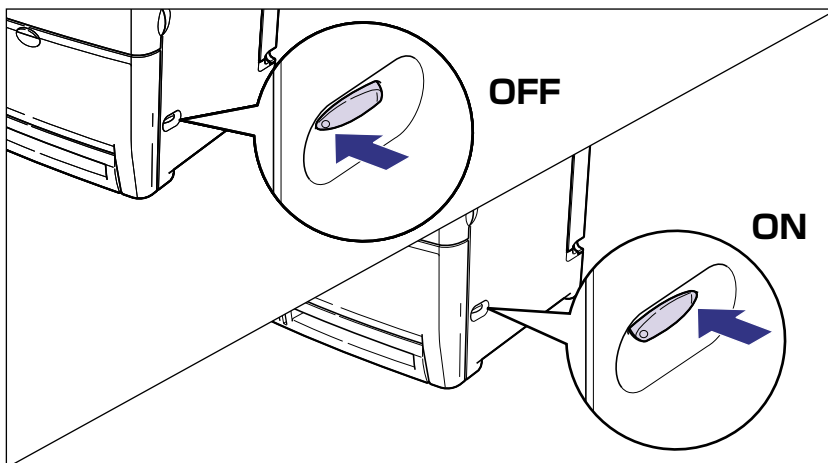
原　因　描画データが複雑で、描画処理に 10 分以上かかっている

処　置　そのまましばらくお待ちください。

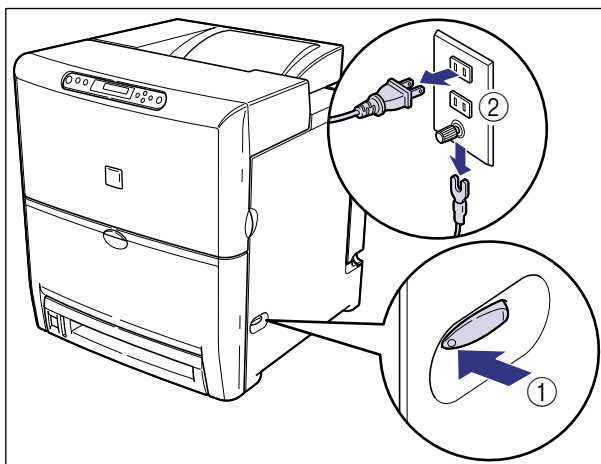
サービスコール表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
nn-nn ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ （nnは2桁の英数字）	プリンタ内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。
5F-50 ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ	定着器にトラブルが発生した。	次の手順2以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5F-54 ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ	プリンタのモーターにトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。
5F-nn ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ （nnは2桁の英数字）	プリンタの内部に結露が発生した可能性がある。	本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、プリンタを設置してある環境に1時間以上放置してからプリントしてください。結露が発生したままの状態でプリントすると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、印字不良となることがあります。 この処置を行ってもメッセージが消えないときは、次の手順2以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾀ （nnは2桁の英数字）	プリントデータ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている４ 桁の英数字とメッセージを書きとめます。

3 電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します ②。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状およびメモしたコードナンバー(4 桁の英数字)をお知らせください。

正しいプリント結果が得られないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要
- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」（→ P.5-17）、「サービスコール表示」（→ P.5-33）を参照してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因 1　電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置　電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因 2　ブレーカが落ちている

処　置　配電盤のブレーカをオンにします。

原因 3　電源コード内部で断線している

処　置　同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。

プリンタが動かない

原因 1　オフラインになっている

処　置　［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（→オンラインとオフライン：P.2-9）

原因 2　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントを中止したいときは：P.2-22）

原因３　インタフェースケーブルが外れている

処　置　インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（→設置ガイド「第 2 章 プリンタの設置」）

原因４　本プリンタやオプション品に故障がある

処　置　ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（→メッセージ一覧：P.5-17、サービスコール表示：P.5-33）

プリントが途中で止まってしまった

原　因　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントを中止したいときは：P.2-22）

操作パネルのランプがつかない

原因１　電源がオフになっていない

処　置　電源をオンにしてください。

原因２　スリープモードになっている

処　置　プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。

操作パネルのキーが機能しない

原因１　オンラインになっている

処　置　［オンライン］を押し、オフライン状態にします。（→オンラインとオフライン：P.2-9）

原因２　メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置　［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（→プリントを中止したいときは：P.2-22）

原因３　キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）

処　置　プリンタの管理者にご連絡ください。

プリントするたびに紙づまりが起こる

原因１ 給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙が積載制限マークを超えている

処　置 用紙を積載制限マークの範囲内まで減らし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14、給紙トレイからプリントする：P.3-35）

原因２ 給紙カセットや給紙トレイに用紙が正しくセットされていない

処　置 用紙を正しくセットしなおし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14、給紙トレイからプリントする：P.3-35）

原因３ 給紙カセットや給紙トレイに使用できない用紙がセットされている

処　置 使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因４ 紙づまりが不完全である

処　置 紙づまりを除去し、プリントしなおしてください。（→紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）：P.5-4）

プリント結果のトラブル

意味不明の半角文字がプリントされる

原因１ LIPS 専用セットアップメニューの「漢字コード」の設定が違っている

処　置 LIPS 専用セットアップメニューの「漢字コード」の設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせてください。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因２ 付属のWindows用プリンタドライバを組み込まずにWindowsからプリントした

処　置 付属の Windows 用プリンタドライバを組み込み、プリントしなおしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第２章 Windows から印刷するには」）

原因３ DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

処　置 DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第４章 DOS から印刷するには」）

原因４ 動作モードの自動切り替えができなかった

処　置 動作モードを目的のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、パソコンと接続しているインタフェースに固定してプリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

指定した書体と違う書体で印字される

原　因　オプションのバージョンアップ ROM が取り付けられていて、Windows 用プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている

処　置　Windows 用プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、プリントしなおしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）

白紙のページがプリントされない

原　因　LIPS セットアップメニューの「白紙節約」が「ツカウ」になっている

処　置　白紙のページをプリントするときは、LIPS セットアップメニューの「白紙節約」を「ツカワナイ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

最後のページがプリントできない

原　因　パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）

処　置　[オンライン] を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが１ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→プリントを中止したいときは：P.2-22）

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因１　データのサイズより小さな用紙をセットした

処　置　データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小プリントをしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）

原因２　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14、給紙トレイからプリントする：P.3-35）

原因３　余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした

処　置　データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってプリントしなおしてください（用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲にはプリントできません）。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因４　ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない

処　置　ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第５章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）

印字位置がずれてしまう

原因１　セットアップメニューのレイアウトグループの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」が設定されている

処　置　セットアップメニューのレイアウトグループの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」の設定を「0」に設定し、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因２　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」が設定されている

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」設定を「52」に設定し、プリントしなおします。ただし、「52」に設定されていても、何らかの原因で印字位置がずれるときは、値を変更して印字位置を調整することができます。（→LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

原因３　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因４　ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない

処　置　ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第５章 ESC/P専用セットアップメニューの設定項目」）

印字位置がだんだんずれていく

原　因　ESC/P　モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない

処　置　アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせてプリントしなおします。（→動作モードについて：P.2-19）

ページの途中から次ページに分かれてプリントされる

原因 1 アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置 1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してからプリントしなおします。(→アプリケーションソフトの取扱説明書)

原因 2 セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる

処　置 セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

縮小されてプリントされる

原因 1 縮小プリントの設定がされている

処置 1 プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。(→ LIPS ソフトウェアガイド／本編)

処置 2 オプションのバージョンアップ ROM を装着しているときは、LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)

原因 2 ESC/P モードで使用しているときに、「ページフォーマット」が「B4 → A4 タテ」「B4 → A4 ヨコ」に設定されている

処　置 ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」)

用紙にしわがよる

原因 1 給紙カセットに用紙を正しくセットされていない

処　置 給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。(→給紙カセットからプリントする：P.3-14)

原因 2 給紙トレイに用紙を斜めにセットした

処　置 給紙トレイにまっすぐに用紙をセットしてください。(→給紙トレイからプリントする：P.3-35)

原因 3 用紙が吸湿している

処　置 未開封の新しい用紙と交換してください。

原因４　定着器の寿命が近づいてきている

処　置　新品の定着器と交換してください。（→定着器を交換する：P.4-18）

用紙が真っ白で何もプリントされない

原因１　シーリングテープを引き抜かずにカートリッジをセットした

処　置　カートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

原因２　用紙が重なって送られた

処　置　給紙カセットや給紙トレイの用紙を、よく揃えてセットしなおしてください。OHP フィルムやラベル紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットからプリントする： P.3-14、給紙トレイからプリントする：P.3-35）

原因３　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置１　ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置２　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

用紙が真っ黒で何もプリントされない

原因１　カートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　カートリッジを新品に交換してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

原因２　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置１　ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置２　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

プリントした OHP フィルムをプロジェクタに置いたとき、OHP フィルムが反ってしまう

原　因　OHP フィルムがカールしている

処置１　アプリケーションソフトで上下の余白を十分にとって、プリントしなおしてください。

処置 2　投影時に OHP フィルムを「OHP フィルムホルダー」にはさんでください。

処置 3　セットアップメニューのユーザーメンテナンスグループの「OHP フィルム鏡像」の設定を「スル」に設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

プリントした OHP フィルムに白い粉がつく

原　因　OHP フィルム以外の用紙を連続プリントしたあとに OHP フィルムをプリントした

処　置　OHP フィルム以外の用紙を連続してプリントしたあとに、OHP フィルムをプリントすると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。

印字品質のトラブル

白いすじが入る

原因 1　白い縦すじが入る場合は、カートリッジ内のドラムが劣化、あるいは損傷している

処　置　新しいカートリッジに交換してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

原因 2　複数の細かな白い横すじが入る場合は、温度、湿度が低いところに設置されているプリンタで、両面プリントを行った

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「画質調整 A」を「モード 1」にし、プリントしなおしてください。「モード 1」に設定してもプリント結果が改善されない場合は、「モード 2」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

部分的に白く抜ける

原因 1　用紙が適切でない

処　置　使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因 3　カートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいカートリッジに交換してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

用紙の白紙部分全体に薄くトナーがのる

原　因　蒸し暑いところに設置しているプリンタを数日間使用しなかった

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで「トナー濃度 C」、「トナー濃度 M」、「トナー濃度 Y」、「トナー濃度 K」をすべて「16」に設定し、プリントしなおしてください。問題が軽減されることがあります。ただし、色味が変わってプリントされます。(→LIPS機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」)

重要　「トナー濃度」を「16」に設定した状態で数十枚プリントすると、問題が解決することがありますので、数十枚プリントしたら「トナー濃度」を元の設定（工場出荷時の設定は8）に戻してプリントしてみてください。

プリントしない部分に残像が現れる

原因 1　プリントする用紙が適切でない

処　置　用紙や OHP フィルムを取り替えてプリントしてください。（→用紙について：P.3-2）

原因 2　カートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいカートリッジに交換してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

印字が全体的にうすい、濃い

原因 1　トナー濃度の設定が適当でない

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2　セットアップメニューの「トナー節約」が「ツカウ」に設定されている

処　置　セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー節約」を「ツカワナイ」に設定してください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

部分的に印字が薄くなる

原因 1　温度や湿度が低いところに設置されているプリンタで両面プリントを行った

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「定着特殊処理」を「スル」に設定し、プリントしなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

原因 2　蒸し暑いところに保管されていた OHP フィルムを使用した

処置 1　開封直後または涼しいところに保管されていた OHP フィルムを使用してください。

処置 2　OHP フィルムを使用する場合は、セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「OHP フィルム特殊処理」を「スル」に設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

印字ムラが出る

原因 1　カートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置　新しいカートリッジに交換してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

原因 2　用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置　適切な用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.3-2）

定着性が悪い

原　因　用紙の種類により、定着性が悪い場合がある

処　置　プリンタドライバで［グレー補償］を以下のいずれかに設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

- イメージのみ
- テキストとイメージ
- グラフィックスとイメージ
- すべて

同時に使用している他の LBP5500 と色が合わない

原　因　工場出荷時の Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナー濃度に若干のバラツキがある

処置 1　CC-100 を使ってキャリブレーションを行ってください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第 5 章 プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには」）

処置 2　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナー濃度を微調整します。（→カラーバランスを調整したいときには：P.5-50）

重要　トナー濃度を変更すると、すべてのカラープリントに影響を与えます。通常は、工場出荷時の設定（8）のままでご使用ください。

色ズレにより正しい色（指定した色）でプリントされない、カラーの文字がぼけて見える

原因 1　カートリッジが正しくセットされていない

処　置　カートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

原因 2　4 色のカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはカートリッジが劣化している

処置 1　キャリブレーションを行ってください。（→ LIPS 機能ガイド「第 2 章メニューの機能と操作」）

処置 2　「トナー　チェック」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のカートリッジを新品に交換します。（→カートリッジを交換する：P.4-2）

原因 3　用紙が適切でない

処　置　使用できる用紙に交換し、プリントしなおします。（→用紙について：P.3-2）

原因 4　電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った

処　置　ディスプレイに「00　LIPS」と表示されていることを確認して、プリントしなおします。

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色でプリントされない、または消えてしまう

原因 1　色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある

処置 1　アプリケーションソフトで色を調整して、プリントしなおします。

処置 2　アプリケーションソフトでパターンを変更して、プリントしなおします。

原因 2　網点のパターンにより、色が違って見える

処　置　濃い色に変更して、プリントしなおします。

網かけパターンが正しい色（指定した色）でプリントされない

原　因　プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

処置 1　アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、プリントしなおします。

処置２ プリンタドライバで［カラー中間調］の設定を［階調］や［色調］に変更します。
［カラー中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

処置３ プリンタドライバで［特殊中間調］にチェックマークを付けます。
［特殊中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン、［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因 画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある

処置１ プリンタドライバで［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

処置２ プリンタドライバで［ガンマ補正］を調整します。
［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

グラデーションのかかった図形をプリントした場合に、グラデーションにすじが入る

原　因 図形の「すじ」のグレイの色の部分に、グレイ補償が効いている

処　置 プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン、［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

中間色にモアレ（模様）が出る

原　因 プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

処　置 プリンタドライバで［特殊中間調］にチェックマークを付けます。
［特殊中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン、［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

Windows からの出力で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形がプリントされる、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色でプリントされない

原　因　拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、あるいはアプリケーションで複雑な重ね合わせを指定した

処　置　プリンタドライバで以下の設定を行います。
［印刷品質］ページで［お気に入り］から［ビットマップ展開］を選択し、［印刷品質］の［設定］ボタンをクリックして、［モード詳細］を［高品質］に設定します。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

カラープリントした OHP フィルムを投影すると黒っぽくみえる

原　因　光量の少ないオーバーヘッドプロジェクタ（反射型 OHP）の場合、カラートナーがきちんと定着されていないと、投影光量が足りなくなる場合がある

処置 1　反射型プロジェクタを使用する場合は、操作パネルで印字調整メニューの「OHP　タイプ」を「ハンシャガタ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

処置 2　プリンタドライバで［使用する OHP の種類］を［反射型］に設定します。
［使用する OHP の種類］の設定は［給紙］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

処置 1　細めのフォントを使用して、プリントしなおします。

処置 2　プリンタドライバで［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

V 字状の印字むらが出る

原　因　温度、湿度が低いところに設置されているプリンタで、プリントを行った

処　置　セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「画質調整 B」を「スル」に設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

細い線の印字が薄くなる

原　因　蒸し暑いところに設置されているプリンタでプリントを行った

処　置　プリンタドライバで［特殊濃度調整を行う］で濃度を調整します。
［特殊濃度調整を行う］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン、［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）

カラーバランスを調整したいときには

プリント結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが適切でないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1 ～ 16 の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（8）に設定されています。
操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

トナー濃度を調節するときは、少しずつ調節し、パソコンからサンプルをプリントして結果を確認してください。どうしてもうまく調節できないときは、工場出荷時の値（8）に戻し、お買い求めの販売店へご相談ください。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［セットアップ］を押します。

```
セットアップ゜
カクチョウ キノウ →
```

3 ［◀］、［▶］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［実行］を押します。

```
セットアップ゜
インシ゛ チョウセイ →
```

```
インシ゛ チョウセイ
テ゛ータショリ →
```

印字調整グループの設定項目が表示されます。

4 ［◀］、［▶］で目的の色の「トナー　ノウド」を選択し、［実行］を押します。

```
インシ゛ チョウセイ
トナー ノウト゛ C →
```

```
トナー ノウト゛ C
=8 →
```

トナー濃度の設定値が表示されます。

5 ［◀］、［▶］で濃度を選択し、［実行］を押します。

1 にすると一番薄い濃度、16 にすると一番濃い濃度になります。

設定値の左に「=」が表示され、濃度が設定されます。

プリンタの機能を確認したいときには

本プリンタは、メニューの設定値などを確認できるステータスプリント、搭載されているフォントの名称とサンプルを一覧でプリントするフォントリスト（オプションのバージョンアップ ROM 装着時のみ）の機能を備えています。
プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

ステータスプリント

ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ

- ステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 ［ユーティリティ］を押します。

```
ユーティリティ
ステータス プリント      →
```

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

3 ［実行］を押します。

```
ユーティリティ
ステータス プリント      →
```

```
01 ステータス プリント
```

ディスプレイに「01　ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントがプリントされます。

4 ステータスプリントのプリント内容を確認します。

ステータスプリントを行うと、下図のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

重要　ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは、一部内容が異なる場合があります。

フォントリスト

フォントリストは、オプションのバージョンアップ ROM 装着時にのみプリントできます。

フォントリストは、プリンタに搭載されているフォントの名称とサンプルが印字されます。フォントリストのプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ
- フォントリストは、A4 より小さいサイズで出力した場合には、縮小されずに画像がカットされてプリントされます。
- フォントリストは、A4 より大きいサイズで出力した場合には、余白が大きく空いてプリントされます。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、フォントリストにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、フォントリストも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。

1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

2 [ユーティリティ] を押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

3 [◄]、[►] で「フォント　リスト」を選択し、[実行] を押します。

ディスプレイに「01　フォント　リスト」と表示され、フォントリストがプリントされます。

4 フォントリストのプリント内容を確認します。

フォントリストをプリントすると、下図のようにプリントされます。フォントリストでは、プリンタに搭載されている日本語フォントと欧文フォントの名称、フォント ID、フォントのサンプルが確認できます。

重要 ここに掲載されているフォントリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したフォントリストとは、一部内容が異なる場合があります。

Canon **FONT LISTS** LBP5500

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
RoundGothic-Light	006	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
ALP10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
RoundGothic-Light-H	005	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ

Page Count : 00002

6
CHAPTER

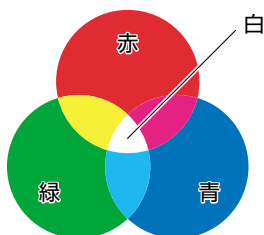
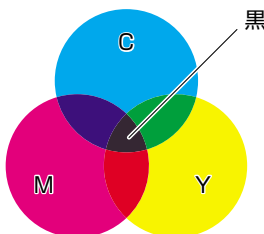
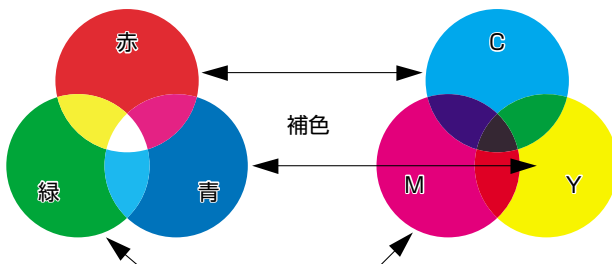
付録

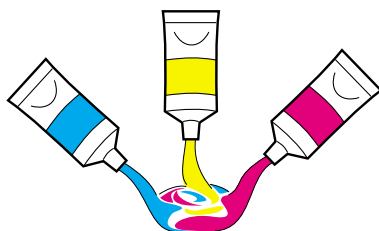
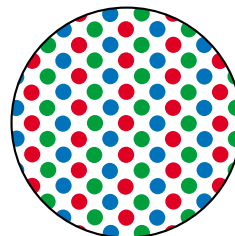
この章では、カラープリントのしくみ、おもな仕様、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを記載しています。

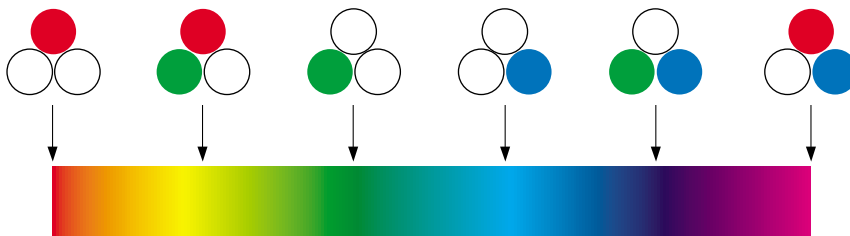
カラープリントのしくみ

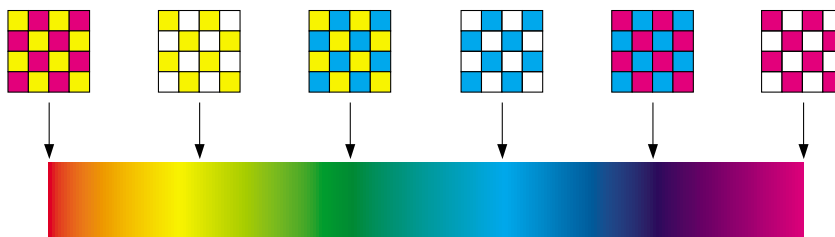
ここでは、色についての基礎知識や、本プリンタのカラープリントのしかたなどを説明します。

光の３原色と色の３原色

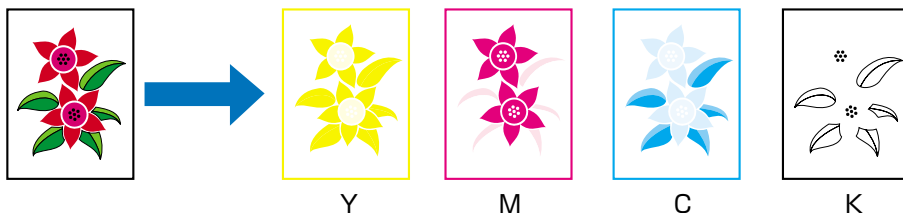
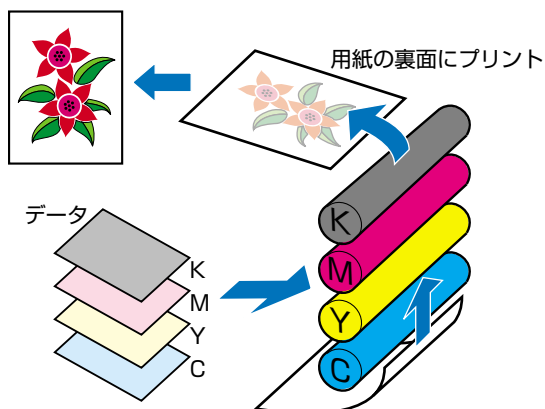
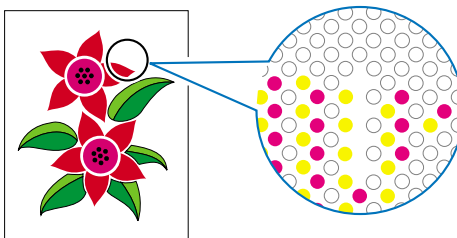
パソコンのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の ３ 原色で表現されます。光の３原色は、赤と緑と青の３色をすべて混合すると白になります（加法混色）。

カラープリンタは、光の３原色ではなく、絵の具などと同じ色の３原色で色を表現します。色の３原色は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）で、３色をすべて混合すると黒になります（減法混色）。

そして、光の３原色と色の３原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。

色を表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

絵の具　　ディスプレイやプリンタ

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。

カラーバー

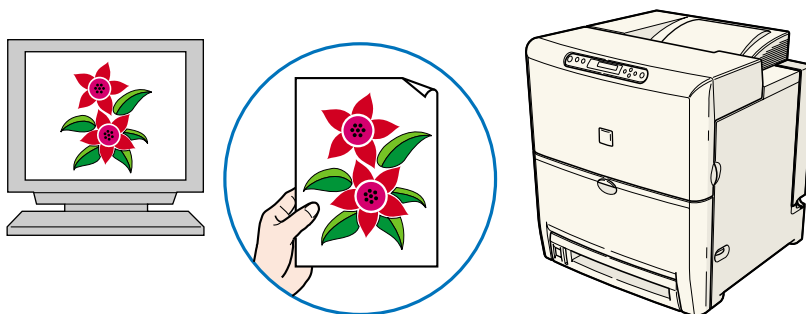
プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）に K（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。

カラーバー

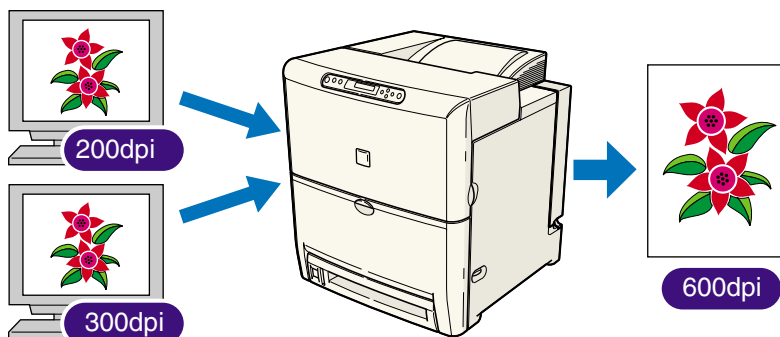
カラープリントのしくみ

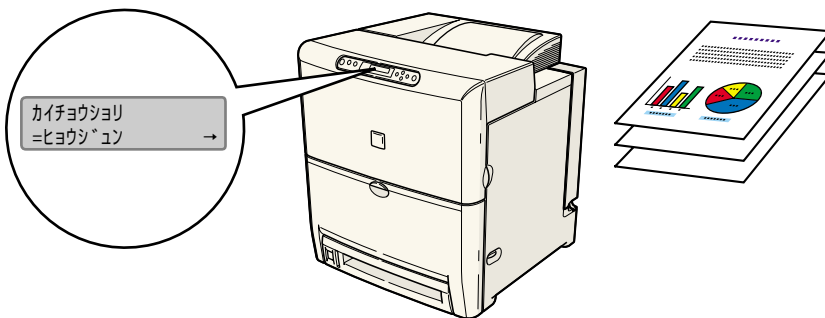
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、K の４色に分解されます。

そして、これらのデータをそれぞれの別のカートリッジで現像して、トナーが用紙に次々に転写されます。

４色すべてのデータが用紙に転写されると、定着器を通り、排紙されます。

より美しく快適にカラープリントするために

カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を 100% 活用しましょう。

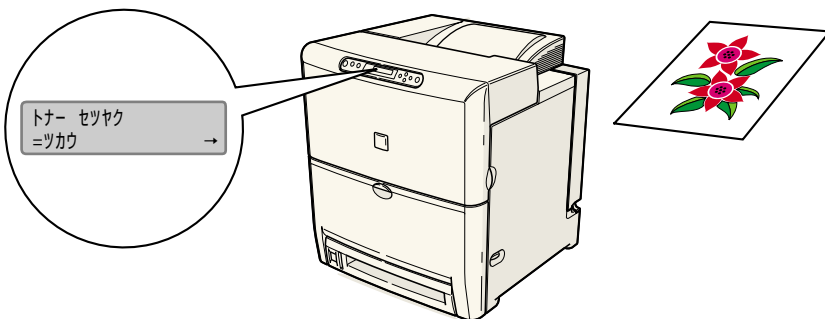
■ ディスプレイの色補正をする

ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。
アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が近づくように補正します。

■ 解像度を合わせる

プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。プリントするサイズで 600dpi あれば十分です。データの解像度が高すぎると、プリント処理に時間がかかるばかりでなく、データの容量も大きくなります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。
画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、300 または 200dpi 解像度にしておきます。

■ プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、標準階調でプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、高階調でプリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。

メモ　階調の設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

■ 文字やレイアウトの確認は省トナーモードを利用する

原稿の内容やレイアウトのチェックをするとき、プリントの文字や配置だけわかればよい場合は、「トナー節約」モードでプリントします。「トナー節約」モードでプリントすることで、トナーの消費を大幅に節約できます。

メモ　トナー節約の設定方法については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

おもな仕様

■ ハードウェアの仕様

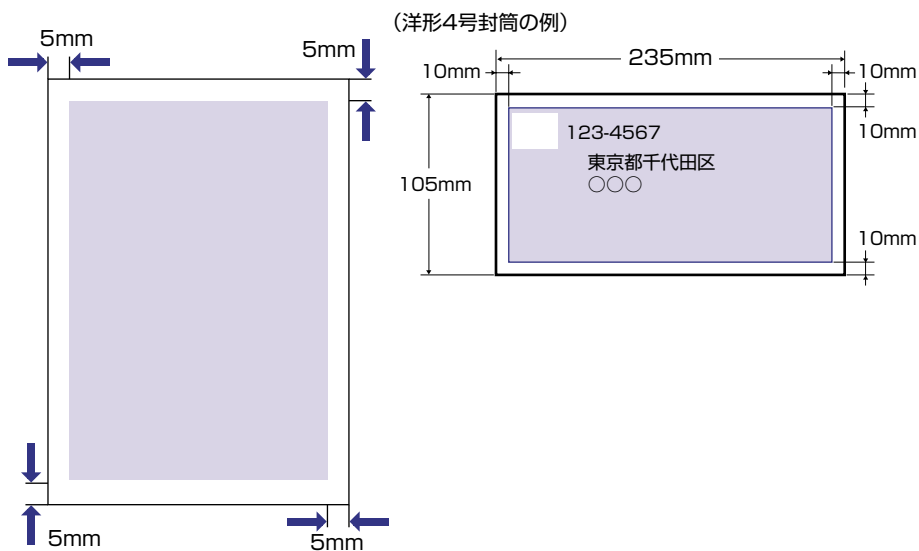
形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式
解像度		600dpi
プリント速度 **普通紙 (64 ～ 105g/m²)**		A4 片面連続プリント時 17 ページ／分
		* プリント速度は、用紙の向きや用紙サイズ、用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップ時間		約 16 秒（電源投入時約 29 秒） * プリンタの使用条件によっては、約 90 秒かかることがあります。なお、新品のカートリッジに交換した直後の電源投入時やその他設置環境によっては、最大約 197 秒かかることがあります。
ファーストプリント時間		約 17.5 秒以下
用紙サイズ	**カセット 1**	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、ユーザペーパー（幅：148.5mm または 182.0 ～ 216.0mm、長さ：210.0 ～ 356.0mm） 最大積載枚数　約 500 枚（64g/m²） * A5 サイズまたは幅が 148.5mm のユーザペーパーは、最大積載枚数（約 500 枚）の約半分（積載制限マークから 16mm 下）までセットすることができます。
	ペーパーフィーダ **カセット 2** **（オプション）**	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、ユーザペーパー（幅：148.5mm または 182.0 ～ 216.0mm、長さ：210.0 ～ 356.0mm） 最大積載枚数　約 500 枚（64g/m²） * A5 サイズまたは幅が 148.5mm のユーザペーパーは、最大積載枚数（約 500 枚）の約半分（積載制限マークから 16mm 下）までセットすることができます。
	給紙トレイ	幅 76.2 ～ 216.0mm 長さ 127.0 ～ 356.0mm 最大積載枚数　約 100 枚（64g/m²）
	自動両面プリント	A4、B5、リーガル、レター、エグゼクティブ
排紙方式		フェースダウン
排紙積載枚数		排紙トレイ　約 250 枚（64g/m²）

項目		仕様
稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）		スタンバイ時最大　35.0dB[A] 動作時最大　50.6dB[A]
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 10 ～ 80%RH（結露しないこと）
保管環境（プリンタ本体のみ）		保管環境温度 0 ～ 35 ℃ 湿度 35 ～ 85%RH（結露しないこと）
電源		100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20 ℃時）		動作時（カラープリント）：平均約 289W*1 スタンバイ時：平均約 32W*1 スリープモード時（ファン停止時）：平均約 28W*1 最大 1115W*2 以下 *1 本体標準状態での値です。 *2 フルオプション装着時（ネットワークスキャナを除く）は1272W以下です。ただしこの値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。
消耗品	**カートリッジ**	キヤノン純正品 EP-85 カートリッジ（ブラック） プリント可能ページ数　約 9,000 ページ *1 *2 *3 キヤノン純正品 EP-85 カートリッジ（シアン、イエロー、マゼンタ） プリント可能ページ数　約 8,000 ページ *1 *2 *3 *1 この枚数は次の条件での枚数です。間欠プリント（間隔をおいたプリント）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面プリントなど、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。 印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、連続／片面プリント *2 印字比率が低くトナーの消費量が少ない場合、カートリッジの寿命が短くなることがあります。また、カラープリントの場合は、複数色のカートリッジが同時に寿命になることもあります。 *3 モノクロプリントした場合でも、プリンタの構造上、マゼンタ、イエロー、シアンのカートリッジの寿命に影響することがあります。
	定着器	FUSER KIT UM-85F プリント可能ページ数　約 150,000* ページ *A4 片面プリントの場合
	ETB ユニット	ETB KIT UM-85E プリント可能ページ数　約 150,000* ページ *A4 片面プリントの場合（ただし、印刷条件によっては少なくなる場合があります）
質量		プリンタ本体（カートリッジは除く）................約 35.0kg カートリッジ（キヤノン純正品 EP-85 カートリッジ ....約 1.4kg 定着器 ....約 2.4kg ETB ユニット ....約 2.2kg ペーパーフィーダユニット PF-85*...................約 7.8kg * 印の製品は、別売のオプションです。

■ コントローラの仕様

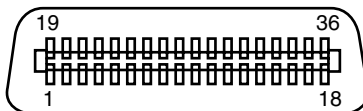
CPU	PowerPC 603ei(300MHz)
メモリ（RAM）容量	メインメモリ：標準 32MB グラフィックメモリ：標準 32MB オプションの拡張 RAMにより、それぞれ最大256MBまで拡張可能
ホストインタフェースコネクタ	パラレルコネクタ（IEEE1284 準拠／双方向）× 1 個 USB コネクタ（V1.0 ｽﾚｰﾌﾞ のみ）× 1 個
ユーザインタフェース	LCD　16 桁× 2 段
	LED ランプ　6 個
	操作キー　8 個
RAM スロット	2（メインメモリ× 1、グラフィックメモリ× 1）
ROM スロット	1
拡張ボードスロット	1

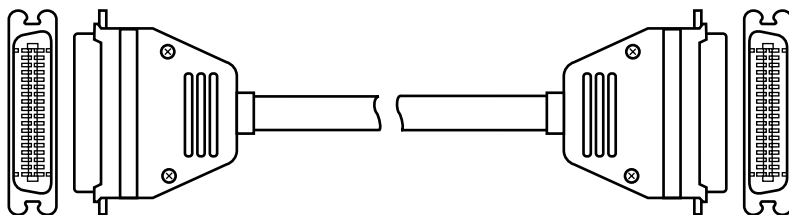
■ ソフトウェアの仕様

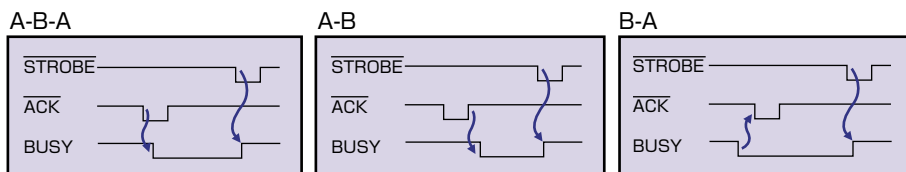
コントロールコマンド	標準 LIPS IVs
	オプション LIPS II+ ／ LIPS III ／ LIPS IV、ESC/P 商品名：VR-L4
有効印字領域	上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。

インタフェース仕様

パラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）

■ 信号線とピン配置

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	STROBE	19	GND(STROBE)
2	DATA0	20	GND(DATA0)
3	DATA1	21	GND(DATA1)
4	DATA2	22	GND(DATA2)
5	DATA3	23	GND(DATA3)
6	DATA4	24	GND(DATA4)
7	DATA5	25	GND(DATA5)
8	DATA6	26	GND(DATA6)
9	DATA7	27	GND(DATA7)
10	ACK	28	GND(PERROR, SELECT, ACK)
11	BUSY	29	GND(BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND(AUTOFD, SELECT IN, INIT)
13	SELECT	31	INIT
14	AUTOFD	32	FAULT
15	AUXOUT1	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	AUXOUT4
18	Peripheral Logic High	36	SELECT IN

メモ　「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

■ コネクタおよびケーブル

コネクタ：第一電子工業　57FE-30360 または相当品。
ケーブル：シールドケーブル（最長 3m）。

■ タイミングチャート

メモ　タイミングはメニュー機能の「拡張機能／インタフェースグループ」で変更します。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）

■ 結線図

6
付録

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

設置サービスのご案内

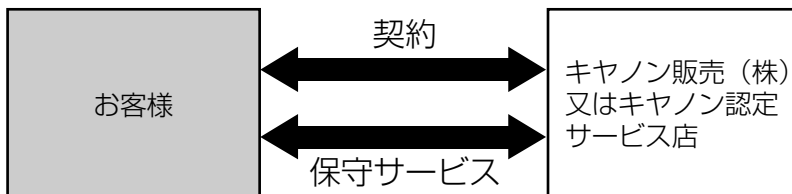
本プリンタの設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。

保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはキヤノンレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくキヤノンレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)

キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。(無償修理保証期間を含みます)

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、「定期交換部品のご案内」（→ P.6-20）を参照してください。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

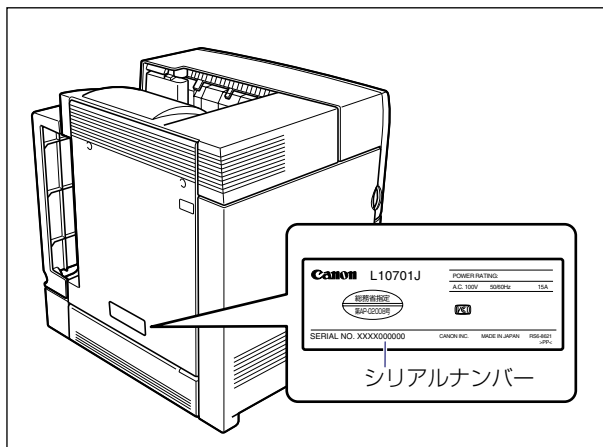
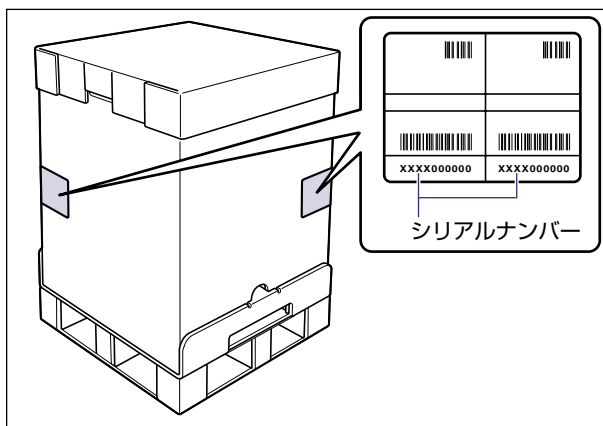
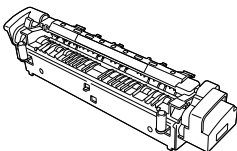
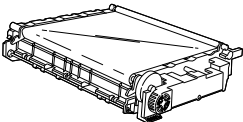
シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要　シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

■ 梱包箱外側

6 付録

定期交換部品のご案内

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。給紙ローラは専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。定着器や ETB ユニットにつきましては、お客様での交換も可能です。本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。

メモ　定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境やプリントする用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
定着器 （FUSER KIT UM-85F）	150,000ページ （A4片面）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命をすぎると、画像不良や用紙のしわの原因になります。
ETBユニット （ETB KIT UM-85E）	150,000ページ （A4片面）	給紙した用紙を搬送させ、4色のトナーを用紙に転写させるためのユニットです。寿命になるとプリンタが停止します。
給紙ローラ（給紙トレイ用）	100,000ページ （A4片面）	給紙トレイから用紙を給紙するためのローラです。

6 付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ **CD-ROM の代引き配送サービス**

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター　（全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

PUB.　R-IJ-1234AA